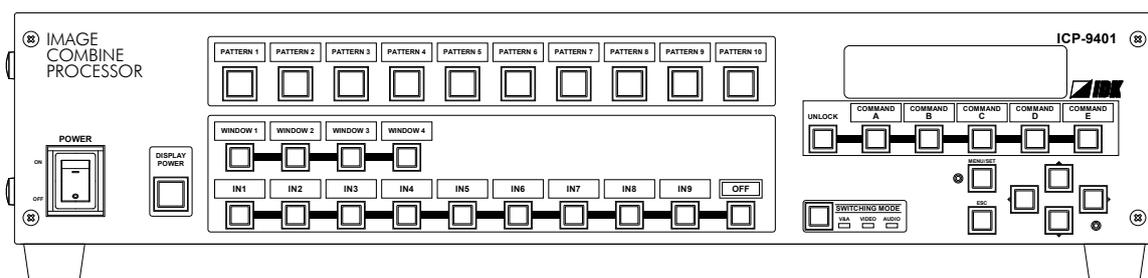


## 4画面合成プロセッサ ICP-9401

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.3.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- Microsoft、Windows、Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft® .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

# この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。  
<http://www.idk.co.jp/>

## 取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

### ■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・簡単な操作方法を知る。
- ・設置し、他の機器と接続する。
- ・入出力調整や設定などをする。

### ■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

## 目次

1	通信仕様	5
1.1	シリアル通信仕様	5
1.2	LAN 通信仕様	6
1.2.1	TCP-IP コネクション数の制限と解決策	6
2	ASCII コード表	10
3	コマンド	12
3.1	コマンド概要	12
3.2	コマンド一覧	13
3.3	コマンド詳細	21
3.3.1	エラーステータス	21
3.3.2	電源スイッチ	22
3.3.3	入力チャネル選択	23
3.3.4	画角設定	25
3.3.5	画面合成設定	37
3.3.6	画質設定	46
3.3.7	入力設定	51
3.3.8	入力タイミング設定	55
3.3.9	出力設定	62
3.3.10	音声設定	70
3.3.11	EDID 設定	76
3.3.12	シリアルコネクタ設定	80
3.3.13	LAN 設定	82
3.3.14	制御コマンド送信機能	87
3.3.15	パターンメモリ	107
3.3.16	ビットマップ設定	115
3.3.17	その他設定	122

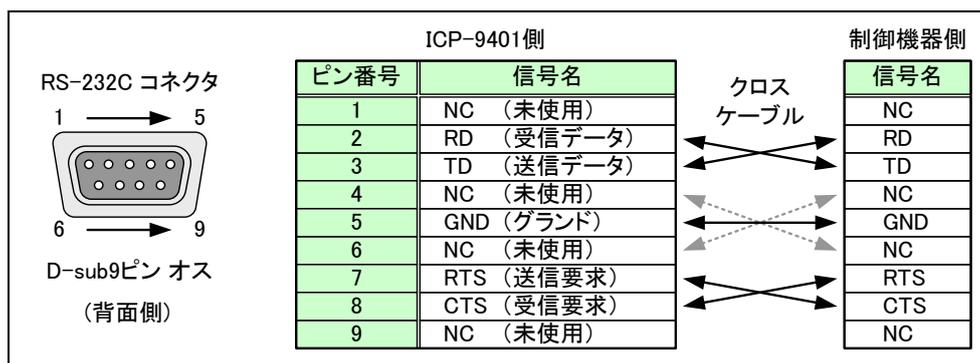
## 1 通信仕様

### 1.1 シリアル通信仕様

本機は、RS-232C コネクタを使ったシリアル通信による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機をシリアル通信ケーブルで接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記は ASCII コード表(P.10)に従います。シリアル端子の通信設定は「7.11 シリアルコネクタ」(参照：ユーザーズガイド)をご覧ください。

[表 1.1a] シリアル通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800, 9600, 19200, 38400[bps]
データビット長	8, 7[bit]
パリティチェック	なし, 偶数, 奇数
ストップビット	1, 2[bit]
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF (復帰+改行, 16進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重



[図 1.1a] RS-232C コネクタ・ケーブル仕様

## 1.2 LAN 通信仕様

本機は LAN による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機を LAN で接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行って下さい。コマンドの文字表記は ASCII コード表(P.10)に従います。コマンドによる制御を行う場合はポート 6000~6999 番、1100 番、23 番を使用してください。コネクション接続後、30 秒以上通信が無い場合、コネクションは切断されます。LAN の設定は「7.12 LAN」(参照：ユーザズガイド)をご覧ください。

[表 1.2a] LAN 通信仕様

物理層	10BASE-T(IEEE802.3i)/100Base-TX(IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP コマンド制御使用ポート：23, 1100, 6000~6999 WEB ブラウザ制御(HTTP)使用ポート：80, 5000~5999
アプリケーション層	HTTP, TELNET



[図 1.2a] LAN コネクタ仕様

### 1.2.1 TCP-IP コネクション数の制限と解決策

本機が同時に接続できるのは、最大 8 コネクション(8 ポート)です。したがって、9 台以上のパソコンから制御を行う場合に、本機とのコネクションできなくなることがあります。

9 コネクション以上の接続を行う場合は、お客様側のソフトで、通信コマンド送受信毎に TCP-IP のコネクションとクローズを行うことにより、本機側でポートの占有と解放が行われ、常時ポートが占有されなくなるため、論理的に 8 コネクション(8 ポート)以上の接続を行うことが可能です。

お客様側 PC ソフト		ICP-9401
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有→空き 7 ポート)
コマンド送信(@xxx)	→	
	←	コマンド返信(@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート開放→空き 8 ポート)

[図 1.2.1a] 接続数を増やす手法

※注意：パソコン側から本機へ30秒間コマンドの送信が行われなかった場合、本機はコネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理を行います。そのためパソコン側からは再度コネクションを確立しないと通信ができなくなります。再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいたパソコン側のコネクションの切断処理をした後に再度コネクションの確立処理を行ってください。(本機のポート数は8ポートのため、コネクションが繋がったままPC側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されてしまうため、PC側から通信コマンドが来ない場合、コネクションの切断処理を行っています)

以下に、Microsoft Visual Basic.NET 2008 でのプログラミング例を示します。

105 行目の Button1\_Click で、TextBox1 の「送信する通信コマンド」、TextBox2 の「通信先ホスト」、TextBox3 の「ポート番号」を取得し、本機へ通信コマンドを送信します。

本例では、コネクションとクローズを繰り返した場合に、データ送受信の遅延が問題になったときのために、以下のプログラミングを行っています。プログラミング例の、4、5、14、15、16 行目に相当します。

```
' クライアントをオープンします。
Private stClient As TcpClient          ' クライアントクラス
Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリームクラス
Private portNum As Integer            ' ポート番号
Private hostName As String           ' ホスト名

    stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(hostName, portNum)
    stClient.NoDelay = True           ' 遅延を無効にします
    stns = stClient.GetStream()      ' ストリーム オープン
```

#### ※ TcpClient.NoDelay

送信バッファまたは受信バッファが設定されているサイズを超えていない場合に遅延を無効にします。既定値は False です。NoDelay プロパティの変更により、送受信による遅延時間の軽減が可能です。

#### Microsoft Visual Basic.NET 2008 でのプログラミング例

```
1: Imports System
2: Imports System.Net.Sockets
3: Public Class Form1
4: Private stClient As TcpClient          ' クライアント
5: Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream ' ストリーム

6: Public Function mOpen(ByVal pHostName As String, ByVal pPortNum As Integer) As Boolean
7:     ' *****
8:     '   オープン
9:     '   戻り値 成功:True 失敗:False
10:    ' *****
11:    mOpen = False                       ' 初期値
12:    Try
13:        ' クライアントをオープンします。
14:        stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(pHostName, pPortNum)
15:        stClient.NoDelay = True         ' 送信/受信遅延を無効にします。
16:        stns = stClient.GetStream()    ' ストリーム オープン
17:        If stns.CanTimeout Then
18:            stns.ReadTimeout = 1000    ' タイムアウト時間(1000ms)
19:        End If
```

```

20:     mOpen = True                                     ' 成功
21:     Catch ex As Exception
22:         Console.WriteLine(ex.Message)               ' 例外処理の表示
23:     End Try
24:
25: End Function
26: Private Function mSendMessage(ByVal pMsg As String) As String
27:     '*****
28:     '   メッセージ送信
29:     '   pMsg   送信メッセージ
30:     '   戻り値  返答文字列
31:     '*****
32:     Dim dtBirth As DateTime                           ' タイムアウト時間
33:     Dim wNow As DateTime                             ' 現在時間
34:     Dim pRecvMsg As String                          ' 返信メッセージ
35:     Dim bytes2(1024) As Byte                        ' 返信メッセージ一時格納エリア (Byte 型)
36:     Dim bytesRead2 As Integer                      ' 返信メッセージ一時格納エリア (Integer 型)
37:     Dim word As Byte()                             ' システム出力時の書き出し一時データ格納エリア
38:
39:     mSendMessage = ""                               ' 返信値 クリア
40:     pRecvMsg = ""                                  ' ワークエリアクリア
41:
42:     Try
43:         '----送信チェック----
44:         If stns.CanWrite Then                       ' 書き込み可能?
45:             ' 文字エンコード
46:             word = System.Text.Encoding.Default.GetBytes(pMsg + vbCrLf)
47:             ' ソケットに出力
48:             stns.Write(word, 0, word.Length)
49:         Else
50:             Exit Function
51:         End If
52:
53:         '----受信----
54:         dtBirth = DateTime.Now
55:         dtBirth = dtBirth.AddSeconds(3)             ' 3秒でタイムアウト
56:         Do
57:             wNow = DateTime.Now                     ' 現在時間と比較
58:             If (wNow > dtBirth) Then
59:                 Exit Do                             ' オーバーした場合処理を中断
60:             End If
61:
62:             If stns.CanRead Then                    ' 読み込み可能状態の場合
63:                 ' データの読み込み
64:                 bytesRead2 = stns.Read(bytes2, 0, bytes2.Length)
65:                 ' エンコード
66:                 pRecvMsg = pRecvMsg & _
67:                 System.Text.Encoding.Default.GetString(bytes2, 0, bytesRead2)
68:                 If pRecvMsg <> "" Then
69:                     ' @から CRLF までを抽出
70:                     If ((InStr(pRecvMsg, vbCrLf) <> 0) And (InStr(pRecvMsg, "@") <> 0)) Then
71:                         pRecvMsg = Mid(pRecvMsg, _
72:                             InStr(pRecvMsg, "@"), _
73:                             InStr(pRecvMsg, vbCrLf) _
74:                             - InStr(pRecvMsg, "@"))
75:                     End Do
76:                 End If
77:             End If
78:         End Do
79:         Loop
80:         mSendMessage = pRecvMsg                    ' 受信データを返答
81:
82:     Catch ex As Exception
83:         Console.WriteLine(ex.Message)               ' 例外処理の表示
84:     End Try
85:
86: End Function

```

```

87: Public Sub mClose()
88:     '*****
89:     '   クローズ
90:     '*****
91:     Try
92:         If Not stns Is Nothing Then           ' ストリームの存在有無
93:             stns.Close()                     ' ストリームクローズ
94:         End If
95:
96:         If Not stClient Is Nothing Then      ' クライアントの存在有無
97:             stClient.Close()                ' クライアントクローズ
98:         End If
99:
100:    Catch ex As Exception
101:        Console.WriteLine(ex.Message)       ' 例外処理の表示
102:    End Try
103:
104: End Sub

105: Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
106:     Dim wRecvMsg As String                   ' 受信文字列格納場所
107:     Dim i As Integer
108:     Dim wHostName As String
109:     Dim wPortNum As Integer
110:
111:     If (TextBox2.Text = "") Then            ' ホスト名チェック
112:         MsgBox("ホスト名が設定されてません。")
113:         Exit Sub
114:     End If
115:
116:     wHostName = TextBox2.Text
117:
118:     If (TextBox3.Text = "") Then            ' ポート番号チェック
119:         MsgBox("ポート番号が設定されてません。")
120:         Exit Sub
121:     End If
122:     wPortNum = Val(TextBox3.Text)
123:
124:     If TextBox1.Text = "" Then              ' 送信文字列チェック
125:         MsgBox("送信文字が設定されてません。")
126:         Exit Sub
127:     End If
128:
129:     Label6.Text = ""
130:
131:     For i = 0 To 2                          ' 3回リトライを繰り返します (万が一、他のクライアントにより MSD-4402/MSD-4403 側のポート
                                                ' が全て
                                                ' 使われた場合の処理)
132:         If Not mOpen(wHostName, wPortNum) Then
133:             MsgBox("通信オープンエラー")
134:             GoTo Exit_Step
135:         End If
136:
137:         ' オープンします
138:         wRecvMsg = mSendMessage(TextBox1.Text) ' 送信します
139:         Console.WriteLine("wRecvMsg:" & wRecvMsg & Now)
140:         mClose()                               ' クローズします
141:
142:         If wRecvMsg <> "" Then
143:             Label6.Text = wRecvMsg
144:             GoTo Exit_Step
145:         End If
146:
147:     Next i
148:
149:     MsgBox("送信エラー")
150:
151: Exit_Step:
152:
153: End Sub

```

## 2 ASCII コード表

[表 2a] ASCII コード表(1/2)

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

[表 2b] ASCII コード表(2/2)

文字	16 進	コントロールコード詳細
<i>NUL</i>	00	NULI (ヌル)
<i>SOH</i>	01	Start Of Heading (ヘッダ開始)
<i>STX</i>	02	Start of TeXt (テキスト開始)
<i>ETX</i>	03	End of TeXt (テキスト終了)
<i>EOT</i>	04	End Of Transmission (転送終了)
<i>ENQ</i>	05	ENQuiry (問合せ)
<i>ACK</i>	06	ACKnowledge (肯定応答)
<i>BEL</i>	07	BELI (ベル)
<i>BS</i>	08	Back Space (後退)
<i>HT</i>	09	Horizontal Tabulation (水平タブ)
<i>LF</i>	0A	Line Feed (改行)
<i>VT</i>	0B	Vertical Tabulation (垂直タブ)
<i>FF</i>	0C	Form Feed (改ページ)
<i>CR</i>	0D	Carriage Return (復帰)
<i>SO</i>	0E	Shift Out (シフトアウト)
<i>SI</i>	0F	Shift In (シフトイン)
<i>DLE</i>	10	Data Link Escape (伝送制御拡張)
<i>DC1</i>	11	Device Control 1 (装置制御 1)
<i>DC2</i>	12	Device Control 2 (装置制御 2)
<i>DC3</i>	13	Device Control 3 (装置制御 3)
<i>DC4</i>	14	Device Control 4 (装置制御 4)
<i>NAK</i>	15	Negative AcKnowledge (否定応答)
<i>SYN</i>	16	SYNchronous idle (同期信号)
<i>ETB</i>	17	End of Transmission Block (転送ブロック終了)
<i>CAN</i>	18	CANcel (取消)
<i>EM</i>	19	End of Medium (媒体終端)
<i>SUB</i>	1A	SUBstitute (置換)
<i>ESC</i>	1B	ESCape (拡張)
<i>FS</i>	1C	File Separator (ファイル分離)
<i>GS</i>	1D	Group Separator (グループ分離)
<i>RS</i>	1E	Record Separator (レコード分離)
<i>US</i>	1F	Unit Separator (ユニット分離)
<i>SP</i>	20	SPace (空白)
<i>DEL</i>	7F	DELelete (削除)

### 3 コマンド

#### 3.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@(16進表記の40)+3文字の半角英字(大文字小文字)とそれに続くパラメータ(半角数字\*)からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例： @SSW,1,1☐

☐ は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字でカンマ(16進表記の2C)を表します。

☐ は、デリミタ(CR+LFで16進表記の0D+0A)を表します。

※一部のコマンドにはASCIIコードを指定するパラメータがあります。

##### ① 本機の設定を変更するコマンド

コマンドとパラメータをカンマで区切って送信します。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドをそのまま送り返します。

例： @SSW,1,1☐ ←送信コマンド  
@SSW,1,1☐ ←本機からのアンサー

##### ② 本機の設定を受信するコマンド

コマンドを送信します。(コマンドによってはパラメータの必要なものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドに続き現在の設定を送り返します。(コマンドによっては複数のパラメータを返すものがあります)

例： @GSW☐ ←送信コマンド  
@GSW,1,1,1,0,1,0,1,0☐ ←本機からのアンサー

##### ③ エラーコマンド

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合などは、エラーコマンドとエラーの詳細(半角数字)を送り返します。

例： @SSW,1,5☐ ←送信コマンド(この例ではパラメータに誤りがあります)  
@ERR,1☐ ←本機からのエラーコマンド

##### ④ ヘルプ

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、コマンドの一覧を送り返します。(14分割で送り返しますので、全コマンドの一覧を受信したい場合はデリミタを14回送信してください)

例： ☐ ←デリミタの送信  
----- HELP (1/14) -----☐ ←以下はコマンドの一覧  
(CHANNEL SELECT Command) ☐  
@SSW / @GSW : Set/Get Input Channel☐  
@SSV / @GSV : Set/Get Video Input Channel☐  
@SSA / @GSA : Set/Get Audio Input Channel☐

## 3.2 コマンド一覧

## エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	21

## 電源スイッチ

コマンド	機能	詳細ページ
@SDS	表示機器電源スイッチ設定	22
@GDS	表示機器電源スイッチ取得	22

## 入力チャンネル選択

コマンド	機能	詳細ページ
@SSW	映像・音声チャンネル同時切換	23
@GSW	入力チャンネル取得	23
@SSV	映像チャンネル切換	23
@GSV	映像チャンネル取得	24
@SSA	音声チャンネル切換	24
@GSA	音声チャンネル取得	24

## 画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SOT	出力解像度設定	25
@GOT	出力解像度取得	26
@GTD	実際の出力解像度取得	27
@SUM	表示機器 アスペクト比設定	28
@GUM	表示機器 アスペクト比取得	28
@SAP	アスペクト比設定	28
@GAP	アスペクト比取得	28
@SAR	アスペクト比復元処理設定	29
@GAR	アスペクト比復元処理取得	29
@SOV	オーバースキャン設定	29
@GOV	オーバースキャン取得	29
@SNP	入力表示位置設定	30
@GNP	入力表示位置取得	30
@SNS	入力表示サイズ設定	30
@GNS	入力表示サイズ取得	31
@SNM	入カマスキング設定	31
@GNM	入カマスキング取得	32
@IAS	入力オートサイジング	32
@SOP	出力表示位置設定	32
@GOP	出力表示位置取得	33
@SOS	出力表示サイズ設定	33
@GOS	出力表示サイズ取得	33
@SOM	出カマスキング設定	34
@GOM	出カマスキング取得	34
@OAS	出力オートサイジング	35
@SBC	バックカラー設定	35
@GBC	バックカラー取得	35
@STP	テストパターン設定	36
@GTP	テストパターン取得	36

## 画面合成設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SFO	フレーム表示設定	37
@GFO	フレーム表示取得	37
@SFC	フレームカラー設定	37
@GFC	フレームカラー取得	38
@SFW	フレームサイズ設定	38
@GFW	フレームサイズ取得	38
@STO	テロップ表示設定	38
@GTO	テロップ表示取得	39
@STB	テロップ背景色設定	39
@GTB	テロップ背景色取得	39
@STC	テロップ文字色設定	40
@GTC	テロップ文字色取得	40
@SFS	テロップ文字サイズ設定	40
@GFS	テロップ文字サイズ取得	41
@STA	テロップ表示位置設定	41
@GTA	テロップ表示位置取得	41
@STN	テロップ表示内容設定	41
@GTN	テロップ表示内容取得	42
@STV	テロップ表示時間設定	42
@GTV	テロップ表示時間取得	42
@SQP	ウインドウ内表示位置設定	42
@GQP	ウインドウ内表示位置取得	43
@SQS	ウインドウ内表示サイズ設定	43
@GQS	ウインドウ内表示サイズ取得	43
@SOI	出力反転設定	44
@GOI	出力反転設定取得	44
@SPR	ウインドウ優先順位設定	44
@GPR	ウインドウ優先順位取得	44
@SWV	ウインドウ非表示設定	45
@GWV	ウインドウ非表示取得	45
@SEB	パターン背景色設定	45
@GEB	パターン背景色取得	45

## 画質設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SBR	入力ブライトネス設定	46
@GBR	入力ブライトネス取得	46
@SCO	入力コントラスト設定	46
@GCO	入力コントラスト取得	47
@SHU	色相 (HUE) 設定	47
@GHU	色相 (HUE) 取得	47
@SST	サチレーション (彩度) 設定	47
@GST	サチレーション (彩度) 取得	48
@SSU	セットアップレベル設定	48
@GSU	セットアップレベル取得	48
@IDC	入力デフォルトカラー	48
@SOB	出力ブライトネス設定	49
@GOB	出力ブライトネス取得	49
@SOC	出力コントラスト設定	49
@GOC	出力コントラスト取得	49
@ODC	出力デフォルトカラー	50

## 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SDT	デジタル信号の無入力監視設定	51
@GDT	デジタル信号の無入力監視取得	51
@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	51
@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	51
@SIQ	入カイコライザ設定	52
@GIQ	入カイコライザ取得	52
@SAI	アナログ入力 信号種別設定	52
@GAI	アナログ入力 信号種別取得	52
@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	53
@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	53
@SFX	入力信号ごと設定の固定設定	53
@GFX	入力信号ごと設定の固定取得	54

## 入力タイミング設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SHT	水平総ドット数設定	55
@GHT	水平総ドット数取得	55
@SHS	水平取り込み開始位置設定	56
@GHS	水平取り込み開始位置取得	56
@SHD	水平表示期間設定	56
@GHD	水平表示期間取得	57
@SVS	垂直取り込み開始位置設定	57
@GVS	垂直取り込み開始位置取得	57
@SVD	垂直表示期間設定	58
@GVD	垂直表示期間取得	58
@AIS	自動計測	58
@AIT	アスペクト比を考慮した自動計測	59
@SIS	取り込み開始位置の自動計測設定	59
@GIS	取り込み開始位置の自動計測取得	59
@SSM	未登録信号入力時の自動計測設定	60
@GSM	未登録信号入力時の自動計測取得	60
@RTT	機種データの読み出し	60
@STT	機種データの登録	61
@STK	トラッキング設定	61
@GTK	トラッキング取得	61

## 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SEQ	出カイクライザ設定	62
@GEQ	出カイクライザ取得	62
@SDM	出力モード設定	62
@GDM	出力モード取得	62
@SUY	映像信号無入力時の同期信号出力設定	63
@GUY	映像信号無入力時の同期信号出力取得	63
@SBO	映像信号無入力時の出力映像設定	63
@GBO	映像信号無入力時の出力映像取得	63
@SFF	映像入力チャンネル切り換え効果設定	64
@GFF	映像入力チャンネル切り換え効果取得	64
@SFT	映像入力チャンネル切り換え時間設定	65
@GFT	映像入力チャンネル切り換え時間取得	65
@SWC	ワイプカラー設定	65
@GWC	ワイプカラー取得	66
@SWS	パターン切り換え効果設定	66
@GWS	パターン切り換え効果取得	66
@SWT	パターン切り換え時間設定	66
@GWT	パターン切り換え時間取得	67
@SEN	HDCP 出力設定	67
@GEN	HDCP 出力取得	67
@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	67
@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	68
@SDC	Deep Color 出力設定	68
@GDC	Deep Color 出力取得	68
@SCE	CEC 接続設定	68
@GCE	CEC 接続取得	69
@HAU	HDCP 再認証	69
@SSE	合成/シームレス動作設定	69
@GSE	合成/シームレス動作取得	69

## 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SSL	音声出力レベル設定	70
@GSL	音声出力レベル取得	70
@SOL	音声出力レベル 相対値設定	70
@GOL	音声出力レベル リミット状態取得	70
@SAM	音声出力ミュート設定	71
@GAM	音声出力ミュート取得	71
@SAS	音声入力選択設定	71
@GAS	音声入力選択取得	71
@GSD	実際の音声入力選択取得	72
@SSO	音声入力レベル設定	72
@GSO	音声入力レベル取得	72
@SIL	音声入力レベル 相対値設定	72
@GIL	音声入力レベル リミット状態取得	73
@SLO	出力リップシンク設定	73
@GLO	出力リップシンク取得	73
@SLY	入力リップシンク設定	73
@GLY	入力リップシンク取得	74
@SSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数設定	74
@GSF	アナログ音声入力のサンプリング周波数取得	74
@GFD	アナログ音声入力の実際のサンプリング周波数取得	74
@SDO	音声出力コネクタ設定	75
@GDO	音声出力コネクタ取得	75
@SAT	テストトーン設定	75
@GAT	テストトーン取得	75

## EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SED	EDID データ設定	76
@GED	EDID データ取得	76
@SVF	EDID パソコン用解像度設定	77
@GVF	EDID パソコン用解像度取得	77
@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	78
@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	78
@SDI	Deep Color 入力設定	78
@GDI	Deep Color 入力取得	78
@SAF	音声フォーマット設定	79
@GAF	音声フォーマット取得	79
@RME	EDID データのコピー	79

## シリアルコネクタ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SCT	シリアル通信コネクタ 通信設定	80
@GCT	シリアル通信コネクタ 通信設定取得	80
@SCF	シリアル通信コネクタ 動作モード設定	81
@GCF	シリアル通信コネクタ 動作モード取得	81

## LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SIP	IP アドレス設定	82
@GIP	IP アドレス取得	82
@SSB	サブネットマスク設定	82
@GSB	サブネットマスク取得	82
@SGW	ゲートウェイアドレス設定	83
@GGW	ゲートウェイアドレス取得	83
@SLF	LAN 動作モード設定	84
@GLF	LAN 動作モード取得	85
@SLP	TCP ポート番号設定	86
@GLP	TCP ポート番号取得	86
@GMC	MAC アドレス取得	86

## 制御コマンド送信機能

コマンド	機能	詳細ページ
@EXC	制御コマンドの実行	87
@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)	88
@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)	90
@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)	92
@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)	94
@SEC	制御コマンド設定(C E C制御)	96
@GEC	制御コマンド取得(C E C制御)	97
@SRC	返信コマンド設定	98
@GRC	返信コマンド取得	99
@SCC	制御コマンド 関連付け設定	100
@GCC	制御コマンド 関連付け取得	100
@STG	制御コマンド 関連付けのトグル動作設定	102
@GTG	制御コマンド 関連付けのトグル動作取得	102
@SUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面設定	102
@GUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面取得	103
@SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間設定	103
@GIT	制御コマンド実行時の操作無効時間取得	103
@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	103
@STL	制御コマンド実行キー 点灯条件設定	105
@GTL	制御コマンド実行キー 点灯条件取得	105
@STF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間設定	105
@GTF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間取得	106

## パターンメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@RCM	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	107
@SCM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を上書き保存する	107
@SEM	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	107
@ECM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定編集	108
@GCM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する	108
@RCV	クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す	108
@SCV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を上書き保存する	109
@SEV	クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を引き継ぎ保存する	109
@ECV	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定編集	109
@GCV	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する	110
@RCA	クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す	110
@SCA	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を上書き保存する	110
@SEA	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	111
@ECA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定編集	111
@GCA	クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する	111
@SCH	クロスポイントの関連付け設定	112
@GCH	クロスポイントの関連付け取得	112
@RPM	パターンメモリを読み出す	112
@SPM	パターンメモリを保存する	113
@GMN	選択中のウインドウパターンを取得する	113
@DPM	パターンメモリの削除	113
@SIN	入力チャンネルの名前設定	114
@GIN	入力チャンネルの名前取得	114
@SMU	電源投入時の状態設定	114
@GMU	電源投入時の状態取得	114

## ビットマップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SBM	ビットマップ画像の出力設定	115
@GBM	ビットマップ画像の出力取得	115
@SBB	ビットマップ バックカラー設定	115
@GBB	ビットマップ バックカラー取得	116
@SBT	ビットマップ アスペクト比設定	116
@GBT	ビットマップ アスペクト比取得	117
@SZP	ビットマップ 表示位置設定	117
@GZP	ビットマップ 表示位置取得	117
@SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力設定	118
@GPB	電源投入時のビットマップ画像の出力取得	118
@SBD	ビットマップ用メモリの分割設定	119
@GBD	ビットマップ用メモリの分割設定取得	119
@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態取得	120
@SBN	登録するビットマップ番号設定	120
@GBN	登録するビットマップ番号取得	120
@SFZ	フリーズ設定	121
@GFZ	フリーズ設定取得	121
@CAP	入力映像のキャプチャ	121

## その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SLS	キーロック設定/解除	122
@GLS	キーロック状態取得	122
@SLM	フロントパネル キーロック対象の設定	122
@GLM	フロントパネル キーロック対象の取得	123
@SBZ	ブザー音設定	123
@GBZ	ブザー音設定取得	123
@GSS	入出力ステータス取得	124
@GES	モニタ EDID 情報取得	128
@GIV	バージョン情報取得	129

### 3.3 コマンド詳細

関連項目に記載される事項は、別冊の『ユーザズガイド』をご参照ください。

#### 3.3.1 エラーステータス

@ERR	エラーステータス		
コマンド書式	返り値のみ		
返り値書式	@ERR, error ☐		
パラメータ	error : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンド／またはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 5 = 制御コマンドが登録されていないため、実行できません。 6 = 制御コマンドを実行中のため、コマンドを処理することができません。 7 = 入力タイミングの自動計測に失敗しました。 8 = 表示機器からの EDID の読み出しに失敗しました。 10 = 制御コマンドが停止条件により停止しました。 11 = 制御コマンドがリトライオーバーにより停止しました。 12 = PJLink の制御コマンドがパスワードの不一致により停止しました。 13 = キャプチャする入力映像のサイズが確保されているメモリのサイズより大きいため、キャプチャすることができません。 14 = 入力映像のキャプチャに失敗しました。		
実行例	送	@SSW,999,1☐	パラメータエラー。
	受	@ERR,1☐	
	送	@XYZ☐	未定義のコマンド。
受	@ERR,2☐		
送	@RPM,3☐	データが登録されていないメモリ番号を指定。	
受	@ERR,3☐		

## 3.3.2 電源スイッチ

@SDS	表示機器電源スイッチ設定		
コマンド書式	@SDS, <i>onoff</i> 		
返り値書式	@SDS, <i>onoff</i> 		
パラメータ	<i>onoff</i> : 表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON		
実行例	送	@SDS,1 	表示機器の電源スイッチを ON にする。 正常終了。
	受	@SDS,1 	
	送	@SDS,0 	表示機器の電源スイッチを OFF にする。 コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスが返されます。
	受	@ERR,10 	
関連項目	6.5 表示機器の電源の ON/OFF		
注意事項	電源の制御が終了してから実行結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。		

@GDS	表示機器電源スイッチ取得		
コマンド書式	@GDS 		
返り値書式	@GDS, <i>onoff</i> 		
パラメータ	<i>onoff</i> : 表示機器の電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON		
実行例	送	@GDS 	表示機器の電源スイッチの状態を取得。 電源スイッチは ON。
	受	@GDS,1 	
関連項目	6.5 表示機器の電源の ON/OFF		

## 3.3.3 入力チャンネル選択

@SSW	映像・音声チャンネル同時切換	
コマンド書式	@SSW, input_1, window_1 (, input_2, window_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSW, input_1, window_1 (, input_2, window_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	input_1-4 : 映像・音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9 <hr/> window_1-4 : 映像・音声出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1, 2 = WINDOW2, 3 = WINDOW3, 4 = WINDOW4	
実行例	送 @SSW,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SSW,1,1 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

@GSW	入力チャンネル取得	
コマンド書式	@GSW <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSW, video_1, audio_1, video_2, audio_2, video_3, audio_3, video_4, audio_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	video_1-4 : 映像入力チャンネル audio_1-4 : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9	
実行例	送 @GSW <input type="checkbox"/> 受 @GSW,3,1,1,0,1,0,1,0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネルの状態を取得。 WINDOW1 の入力チャンネルは映像が IN3、音声が IN1、その他の WINDOW の入力チャンネルは映像が IN1。(WINDOW2 ~ 4 の音声入力チャンネルは必ず“0”が返されます)
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

@SSV	映像チャンネル切換	
コマンド書式	@SSV, input_1, window_1 (, input_2, window_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSV, input_1, window_1 (, input_2, window_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	input_1-4 : 映像入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9 <hr/> window_1-4 : 映像出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1, 2 = WINDOW2, 3 = WINDOW3, 4 = WINDOW4	
実行例	送 @SSV,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SSV,1,1 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

<b>@GSV</b>	<b>映像チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSV [ ]	
返り値書式	@GSV, video_1, video_2, video_3, video_4 [ ]	
パラメータ	video_1-4 : 映像入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9	
実行例	送 @GSV [ ] 受 @GSV,1,1,2,2 [ ]	映像の入力チャンネルの状態を取得。 WINDOW1 および WINDOW2 の入力チャンネルは IN1、 WINDOW3 および WINDOW4 の入力チャンネルは IN2。
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

<b>@SSA</b>	<b>音声チャンネル切換</b>	
コマンド書式	@SSA, input, window [ ]	
返り値書式	@SSA, input, window [ ]	
パラメータ	input : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9 ----- window : 音声出力ウインドウ 音声出力ウインドウには必ず"1"を指定してください。	
実行例	送 @SSA,1,1 [ ] 受 @SSA,1,1 [ ]	WINDOW1 の入力チャンネルに IN1 を選択する。 正常終了。
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

<b>@GSA</b>	<b>音声チャンネル取得</b>	
コマンド書式	@GSA [ ]	
返り値書式	@GSA, audio [ ]	
パラメータ	audio : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7, 8 = IN8, 9 = IN9	
実行例	送 @GSA [ ] 受 @GSA,1 [ ]	音声の入力チャンネルの状態を取得。 入力チャンネルは IN1。
関連項目	6.2 入力チャンネルの選択	

## 3.3.4 画角設定

@SOT	出力解像度設定																															
コマンド書式	@SOT, <i>ch</i> , <i>resolution</i> <input type="checkbox"/>																															
返り値書式	@SOT, <i>ch</i> , <i>resolution</i> <input type="checkbox"/>																															
パラメータ	<p><i>ch</i> : 出力 出力には必ず"1"を指定してください。</p> <hr/> <p><i>resolution</i> : 出力解像度</p> <table> <tr> <td>0 = AUTO ※初期値,</td> <td>1 = VGA@60(640x480),</td> </tr> <tr> <td>2 = SVGA@60(800x600),</td> <td>3 = XGA@60(1024x768),</td> </tr> <tr> <td>4 = WXGA@60(1280x768),</td> <td>5 = WXGA@60(1280x800),</td> </tr> <tr> <td>6 = Quad-VGA@60(1280x960),</td> <td>7 = SXGA@60(1280x1024),</td> </tr> <tr> <td>8 = WXGA@60(1360x768),</td> <td>9 = WXGA@60(1366x768),</td> </tr> <tr> <td>10 = SXGA+@60(1400x1050),</td> <td>11 = WXGA+@60(1440x900),</td> </tr> <tr> <td>12 = WXGA++@60(1600x900),</td> <td>13 = UXGA@60(1600x1200),</td> </tr> <tr> <td>14 = WSXGA+@60(1680x1050),</td> <td>15 = VESAHD@60(1920x1080)</td> </tr> <tr> <td>16 = WUXGA@60(1920x1200),</td> <td>17 = 480i@59.94(720x480),</td> </tr> <tr> <td>18 = 480p@59.94(720x480),</td> <td>19 = 576i@50(720x576),</td> </tr> <tr> <td>20 = 576p@50(720x576),</td> <td>21 = 720p@50(1280x720),</td> </tr> <tr> <td>22 = 720p@59.94(1280x720),</td> <td>23 = 720p@60(1280x720),</td> </tr> <tr> <td>24 = 1080i@50(1920x1080),</td> <td>25 = 1080i@59.94(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>26 = 1080i@60(1920x1080),</td> <td>27 = 1080p@50(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>28 = 1080p@59.94(1920x1080),</td> <td>29 = 1080p@60(1920x1080)</td> </tr> </table>		0 = AUTO ※初期値,	1 = VGA@60(640x480),	2 = SVGA@60(800x600),	3 = XGA@60(1024x768),	4 = WXGA@60(1280x768),	5 = WXGA@60(1280x800),	6 = Quad-VGA@60(1280x960),	7 = SXGA@60(1280x1024),	8 = WXGA@60(1360x768),	9 = WXGA@60(1366x768),	10 = SXGA+@60(1400x1050),	11 = WXGA+@60(1440x900),	12 = WXGA++@60(1600x900),	13 = UXGA@60(1600x1200),	14 = WSXGA+@60(1680x1050),	15 = VESAHD@60(1920x1080)	16 = WUXGA@60(1920x1200),	17 = 480i@59.94(720x480),	18 = 480p@59.94(720x480),	19 = 576i@50(720x576),	20 = 576p@50(720x576),	21 = 720p@50(1280x720),	22 = 720p@59.94(1280x720),	23 = 720p@60(1280x720),	24 = 1080i@50(1920x1080),	25 = 1080i@59.94(1920x1080),	26 = 1080i@60(1920x1080),	27 = 1080p@50(1920x1080),	28 = 1080p@59.94(1920x1080),	29 = 1080p@60(1920x1080)
0 = AUTO ※初期値,	1 = VGA@60(640x480),																															
2 = SVGA@60(800x600),	3 = XGA@60(1024x768),																															
4 = WXGA@60(1280x768),	5 = WXGA@60(1280x800),																															
6 = Quad-VGA@60(1280x960),	7 = SXGA@60(1280x1024),																															
8 = WXGA@60(1360x768),	9 = WXGA@60(1366x768),																															
10 = SXGA+@60(1400x1050),	11 = WXGA+@60(1440x900),																															
12 = WXGA++@60(1600x900),	13 = UXGA@60(1600x1200),																															
14 = WSXGA+@60(1680x1050),	15 = VESAHD@60(1920x1080)																															
16 = WUXGA@60(1920x1200),	17 = 480i@59.94(720x480),																															
18 = 480p@59.94(720x480),	19 = 576i@50(720x576),																															
20 = 576p@50(720x576),	21 = 720p@50(1280x720),																															
22 = 720p@59.94(1280x720),	23 = 720p@60(1280x720),																															
24 = 1080i@50(1920x1080),	25 = 1080i@59.94(1920x1080),																															
26 = 1080i@60(1920x1080),	27 = 1080p@50(1920x1080),																															
28 = 1080p@59.94(1920x1080),	29 = 1080p@60(1920x1080)																															
実行例	送 @SOT,1,10 <input type="checkbox"/> 受 @SOT,1,10 <input type="checkbox"/>	出力解像度を SXGA+@60 に設定する。 正常終了。																														
関連項目	7.3.1 出力解像度																															

@GOT	出力解像度取得																															
コマンド書式	@GOT [ ]																															
返り値書式	@GOT, out [ ]																															
パラメータ	<p>out : 出力解像度</p> <table> <tr> <td>0 = AUTO ※初期値,</td> <td>1 = VGA@60(640x480),</td> </tr> <tr> <td>2 = SVGA@60(800x600),</td> <td>3 = XGA@60(1024x768),</td> </tr> <tr> <td>4 = WXGA@60(1280x768),</td> <td>5 = WXGA@60(1280x800),</td> </tr> <tr> <td>6 = Quad-VGA@60(1280x960),</td> <td>7 = SXGA@60(1280x1024),</td> </tr> <tr> <td>8 = WXGA@60(1360x768),</td> <td>9 = WXGA@60(1366x768),</td> </tr> <tr> <td>10 = SXGA+@60(1400x1050),</td> <td>11 = WXGA+@60(1440x900),</td> </tr> <tr> <td>12 = WXGA++@60(1600x900),</td> <td>13 = UXGA@60(1600x1200),</td> </tr> <tr> <td>14 = WSXGA+@60(1680x1050),</td> <td>15 = VESAHD@60(1920x1080)</td> </tr> <tr> <td>16 = WUXGA@60(1920x1200),</td> <td>17 = 480i@59.94(720x480),</td> </tr> <tr> <td>18 = 480p@59.94(720x480),</td> <td>19 = 576i@50(720x576),</td> </tr> <tr> <td>20 = 576p@50(720x576),</td> <td>21 = 720p@50(1280x720),</td> </tr> <tr> <td>22 = 720p@59.94(1280x720),</td> <td>23 = 720p@60(1280x720),</td> </tr> <tr> <td>24 = 1080i@50(1920x1080),</td> <td>25 = 1080i@59.94(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>26 = 1080i@60(1920x1080),</td> <td>27 = 1080p@50(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>28 = 1080p@59.94(1920x1080),</td> <td>29 = 1080p@60(1920x1080)</td> </tr> </table>		0 = AUTO ※初期値,	1 = VGA@60(640x480),	2 = SVGA@60(800x600),	3 = XGA@60(1024x768),	4 = WXGA@60(1280x768),	5 = WXGA@60(1280x800),	6 = Quad-VGA@60(1280x960),	7 = SXGA@60(1280x1024),	8 = WXGA@60(1360x768),	9 = WXGA@60(1366x768),	10 = SXGA+@60(1400x1050),	11 = WXGA+@60(1440x900),	12 = WXGA++@60(1600x900),	13 = UXGA@60(1600x1200),	14 = WSXGA+@60(1680x1050),	15 = VESAHD@60(1920x1080)	16 = WUXGA@60(1920x1200),	17 = 480i@59.94(720x480),	18 = 480p@59.94(720x480),	19 = 576i@50(720x576),	20 = 576p@50(720x576),	21 = 720p@50(1280x720),	22 = 720p@59.94(1280x720),	23 = 720p@60(1280x720),	24 = 1080i@50(1920x1080),	25 = 1080i@59.94(1920x1080),	26 = 1080i@60(1920x1080),	27 = 1080p@50(1920x1080),	28 = 1080p@59.94(1920x1080),	29 = 1080p@60(1920x1080)
0 = AUTO ※初期値,	1 = VGA@60(640x480),																															
2 = SVGA@60(800x600),	3 = XGA@60(1024x768),																															
4 = WXGA@60(1280x768),	5 = WXGA@60(1280x800),																															
6 = Quad-VGA@60(1280x960),	7 = SXGA@60(1280x1024),																															
8 = WXGA@60(1360x768),	9 = WXGA@60(1366x768),																															
10 = SXGA+@60(1400x1050),	11 = WXGA+@60(1440x900),																															
12 = WXGA++@60(1600x900),	13 = UXGA@60(1600x1200),																															
14 = WSXGA+@60(1680x1050),	15 = VESAHD@60(1920x1080)																															
16 = WUXGA@60(1920x1200),	17 = 480i@59.94(720x480),																															
18 = 480p@59.94(720x480),	19 = 576i@50(720x576),																															
20 = 576p@50(720x576),	21 = 720p@50(1280x720),																															
22 = 720p@59.94(1280x720),	23 = 720p@60(1280x720),																															
24 = 1080i@50(1920x1080),	25 = 1080i@59.94(1920x1080),																															
26 = 1080i@60(1920x1080),	27 = 1080p@50(1920x1080),																															
28 = 1080p@59.94(1920x1080),	29 = 1080p@60(1920x1080)																															
実行例	<table> <tr> <td>送</td> <td>@GOT [ ]</td> <td>出力解像度を取得。</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@GOT,7 [ ]</td> <td>出力解像度は SXGA@60。</td> </tr> </table>	送	@GOT [ ]	出力解像度を取得。	受	@GOT,7 [ ]	出力解像度は SXGA@60。																									
送	@GOT [ ]	出力解像度を取得。																														
受	@GOT,7 [ ]	出力解像度は SXGA@60。																														
関連項目	7.3.1 出力解像度																															

@GTD	実際の出力解像度取得																															
コマンド書式	@GTD [ ]																															
返り値書式	@GTD, out [ ]																															
パラメータ	<p>out : 実際の出力解像度</p> <table> <tr> <td>1 = VGA@60(640x480),</td> <td>2 = SVGA@60(800x600),</td> </tr> <tr> <td>3 = XGA@60(1024x768),</td> <td>4 = WXGA@60(1280x768),</td> </tr> <tr> <td>5 = WXGA@60(1280x800),</td> <td>6 = Quad-VGA@60(1280x960),</td> </tr> <tr> <td>7 = SXGA@60(1280x1024),</td> <td>8 = WXGA@60(1360x768),</td> </tr> <tr> <td>9 = WXGA@60(1366x768),</td> <td>10 = SXGA+@60(1400x1050),</td> </tr> <tr> <td>11 = WXGA+@60(1440x900),</td> <td>12 = WXGA++@60(1600x900),</td> </tr> <tr> <td>13 = UXGA@60(1600x1200),</td> <td>14 = WSXGA+@60(1680x1050),</td> </tr> <tr> <td>15 = VESAHD@60(1920x1080)</td> <td>16 = WUXGA@60(1920x1200),</td> </tr> <tr> <td>17 = 480i@59.94(720x480),</td> <td>18 = 480p@59.94(720x480),</td> </tr> <tr> <td>19 = 576i@50(720x576),</td> <td>20 = 576p@50(720x576),</td> </tr> <tr> <td>21 = 720p@50(1280x720),</td> <td>22 = 720p@59.94(1280x720),</td> </tr> <tr> <td>23 = 720p@60(1280x720),</td> <td>24 = 1080i@50(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>25 = 1080i@59.94(1920x1080),</td> <td>26 = 1080i@60(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>27 = 1080p@50(1920x1080),</td> <td>28 = 1080p@59.94(1920x1080),</td> </tr> <tr> <td>29 = 1080p@60(1920x1080)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※AUTO に設定されている場合は実際に出力している解像度を返信し、AUTO 以外に設定されている場合は設定した解像度を返信します。</p>		1 = VGA@60(640x480),	2 = SVGA@60(800x600),	3 = XGA@60(1024x768),	4 = WXGA@60(1280x768),	5 = WXGA@60(1280x800),	6 = Quad-VGA@60(1280x960),	7 = SXGA@60(1280x1024),	8 = WXGA@60(1360x768),	9 = WXGA@60(1366x768),	10 = SXGA+@60(1400x1050),	11 = WXGA+@60(1440x900),	12 = WXGA++@60(1600x900),	13 = UXGA@60(1600x1200),	14 = WSXGA+@60(1680x1050),	15 = VESAHD@60(1920x1080)	16 = WUXGA@60(1920x1200),	17 = 480i@59.94(720x480),	18 = 480p@59.94(720x480),	19 = 576i@50(720x576),	20 = 576p@50(720x576),	21 = 720p@50(1280x720),	22 = 720p@59.94(1280x720),	23 = 720p@60(1280x720),	24 = 1080i@50(1920x1080),	25 = 1080i@59.94(1920x1080),	26 = 1080i@60(1920x1080),	27 = 1080p@50(1920x1080),	28 = 1080p@59.94(1920x1080),	29 = 1080p@60(1920x1080)	
1 = VGA@60(640x480),	2 = SVGA@60(800x600),																															
3 = XGA@60(1024x768),	4 = WXGA@60(1280x768),																															
5 = WXGA@60(1280x800),	6 = Quad-VGA@60(1280x960),																															
7 = SXGA@60(1280x1024),	8 = WXGA@60(1360x768),																															
9 = WXGA@60(1366x768),	10 = SXGA+@60(1400x1050),																															
11 = WXGA+@60(1440x900),	12 = WXGA++@60(1600x900),																															
13 = UXGA@60(1600x1200),	14 = WSXGA+@60(1680x1050),																															
15 = VESAHD@60(1920x1080)	16 = WUXGA@60(1920x1200),																															
17 = 480i@59.94(720x480),	18 = 480p@59.94(720x480),																															
19 = 576i@50(720x576),	20 = 576p@50(720x576),																															
21 = 720p@50(1280x720),	22 = 720p@59.94(1280x720),																															
23 = 720p@60(1280x720),	24 = 1080i@50(1920x1080),																															
25 = 1080i@59.94(1920x1080),	26 = 1080i@60(1920x1080),																															
27 = 1080p@50(1920x1080),	28 = 1080p@59.94(1920x1080),																															
29 = 1080p@60(1920x1080)																																
実行例	送 @GTD [ ]	実際の出力解像度を取得。																														
	受 @GTD,29 [ ]	実際の出力解像度は 1080p@60 で出力している。																														
関連項目	7.3.1 出力解像度																															

@SUM	表示機器 アスペクト比設定	
コマンド書式	@SUM, <i>ch</i> , <i>aspect</i> ☐	
返り値書式	@SUM, <i>ch</i> , <i>aspect</i> ☐	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず"1"を指定してください。 ----- <i>aspect</i> : 表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @SUM,1,4☐	16:9 の表示機器を接続する。
	受 @SUM,1,4☐	正常終了。
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	

@GUM	表示機器 アスペクト比取得	
コマンド書式	@GUM ☐	
返り値書式	@GUM, <i>out</i> ☐	
パラメータ	<i>out</i> : 表示機器のアスペクト比 0 = RESOLUTION ※初期値, 1 = 4:3, 2 = 5:4, 3 = 5:3, 4 = 16:9, 5 = 16:10	
実行例	送 @GUM☐	接続されている表示機器のアスペクト比を取得。
	受 @GUM,4☐	アスペクト比は 16:9
関連項目	7.3.2 表示機器 アスペクト比	

@SAP	アスペクト比設定	
コマンド書式	@SAP, <i>ch_1</i> , <i>aspect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>aspect_2</i> ...) ☐	
返り値書式	@SAP, <i>ch_1</i> , <i>aspect_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>aspect_2</i> ...) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>aspect_1-9</i> : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @SAP,7,2☐	IN7 のアスペクト比を 4:3 に設定する。
	受 @SAP,7,2☐	正常終了。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

@GAP	アスペクト比取得	
コマンド書式	@GAP ☐	
返り値書式	@GAP, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> , <i>in_9</i> ☐	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比設定 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
実行例	送 @GAP☐	各入力のアスペクト比を取得。
	受 @GAP,0,0,2,0,0,0,0,0,0☐	IN3 は 4:3、その他の入力は AUTO-1。
関連項目	7.3.3 アスペクト比	

@SAR	アスペクト比復元処理設定	
コマンド書式	@SAR, <i>ch_1</i> , <i>mode_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAR, <i>ch_1</i> , <i>mode_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>mode_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>mode_1-9</i> : アスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @SAR,5,1 <input type="checkbox"/> 受 @SAR,5,1 <input type="checkbox"/>	IN5 をサイドカット/トップボトムカットに設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

@GAR	アスペクト比復元処理取得	
コマンド書式	@GAR <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAR, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> , <i>in_9</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのアスペクト比復元処理設定 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
実行例	送 @GAR <input type="checkbox"/> 受 @GAR,0,0,1,0,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	各入力のアスペクト比の復元処理を取得する。 IN3 は サイドカット/トップボトムカット、その他の入力はレターボックス/サイドパネル。
関連項目	7.3.4 アスペクト比復元処理	

@SOV	オーバースキャン設定	
コマンド書式	@SOV, <i>ch_1</i> , <i>overscan_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SOV, <i>ch_1</i> , <i>overscan_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>overscan_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>overscan_1-9</i> : オーバースキャン 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号(NTSC/PAL/SDTV)の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号(HDTV)またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @SOV,7,105 <input type="checkbox"/> 受 @SOV,7,105 <input type="checkbox"/>	IN7 のオーバースキャンを 105%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

@GOV	オーバースキャン取得	
コマンド書式	@GOV <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GOV, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> , <i>in_9</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのオーバースキャン設定 100% ~ 115% ※初期値 通常のテレビ信号(NTSC/PAL/SDTV)の場合 105%, ハイビジョンのテレビ信号(HDTV)またはパソコン信号の場合 100%	
実行例	送 @GOV <input type="checkbox"/> 受 @GOV,100,100,105,100, 100,100,100,100,100 <input type="checkbox"/>	各入力のオーバースキャンを取得。 IN3 は 105%、その他の入力は 100%。
関連項目	7.3.5 オーバースキャン	

@SNP	入力表示位置設定	
コマンド書式	@SNP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) [↵]	
返り値書式	@SNP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- h_position_1-9 : 水平表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0 ----- v_position_1-9 : 垂直表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @SNP,1,-50,20 [↵] 受 @SNP,1,-50,20 [↵]	IN1 の水平表示位置を-50、垂直表示位置を+20 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@GNP	入力表示位置取得	
コマンド書式	@GNP [↵]	
返り値書式	@GNP, h_in_1, v_in_1, h_in_2, v_in_2, h_in_3, v_in_3, h_in_4, v_in_4, h_in_5, v_in_5, h_in_6, v_in_6, h_in_7, v_in_7, h_in_8, v_in_8, h_in_9, v_in_9 [↵]	
パラメータ	h_in1-9 : 各入力チャンネルの水平表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0 ----- v_in1-9 : 各入力チャンネルの垂直表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @GNP [↵] 受 @GNP,-50,20,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0 [↵]	入力表示位置を取得。 IN1 の水平表示位置は-50、垂直表示位置は 20、その他の入力の水平と垂直表示位置は全て 0。
関連項目	7.3.6 入力表示位置	

@SNS	入力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SNS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
返り値書式	@SNS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- h_size_1-9 : 水平表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度 ----- v_size_1-9 : 垂直表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @SNS,1,1925,1084 [↵] 受 @SNS,1,1925,1084 [↵]	IN1 の水平表示サイズを 1925、垂直表示サイズを 1084 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@GNS	入力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GNS [↵]	
返り値書式	@GNS, <i>h_in_1</i> , <i>v_in_1</i> , <i>h_in_2</i> , <i>v_in_2</i> , <i>h_in_3</i> , <i>v_in_3</i> , <i>h_in_4</i> , <i>v_in_4</i> , <i>h_in_5</i> , <i>v_in_5</i> , <i>h_in_6</i> , <i>v_in_6</i> , <i>h_in_7</i> , <i>v_in_7</i> , <i>h_in_8</i> , <i>v_in_8</i> , <i>h_in_9</i> , <i>v_in_9</i> [↵]	
パラメータ	<i>h_in_1-9</i> : 各入力チャンネルの水平表示サイズ 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 ※初期値 水平出力解像度 <hr/> <i>v_in_1-9</i> : 各入力チャンネルの垂直表示サイズ 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @GNS [↵] 受 @GNS,1925,1084,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080,1920,1080 [↵]	入力表示サイズを取得。 IN1 の水平表示サイズは 1925、垂直表示サイズは 1084、その他の入力の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
関連項目	7.3.7 入力表示サイズ	

@SNM	入力マスキング設定	
コマンド書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> [↵]	
返り値書式	@SNM, <i>ch</i> , <i>left</i> , <i>right</i> , <i>top</i> , <i>bottom</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9 <hr/> <i>left</i> : 左側マスキング 水平入力表示位置 ~ 右側マスキング ※初期値 0 <hr/> <i>right</i> : 右側マスキング 左側マスキング ~ 水平入力表示位置+水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ <hr/> <i>top</i> : 上側マスキング 垂直入力表示位置 ~ 下側マスキング ※初期値 0 <hr/> <i>bottom</i> : 下側マスキング 上側マスキング ~ 垂直入力表示位置+垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	送 @SNM,1,0,1920,0,1080 [↵] 受 @SNM,1,0,1920,0,1080 [↵]	IN1 のマスキングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.8 入力マスキング	

@GNM	入カマスク取得	
コマンド書式	@GNM, ch [↵]	
返り値書式	@GNM, ch, left, right, top, bottom [↵]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
	left : 左側マスク 水平入力表示位置 ~ 右側マスク ※初期値 0	
	right : 右側マスク 左側マスク ~ 水平入力表示位置 + 水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ	
	top : 上側マスク 垂直入力表示位置 ~ 下側マスク ※初期値 0	
実行例	送 @GNM,1 [↵]	IN1 のマスクを取得。
	受 @GNM,1,0,1920,0,1080 [↵]	左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7.3.8 入カマスク	

@IAS	入力オートサイジング	
コマンド書式	@IAS, ch_1 (, ch_2...) [↵]	
返り値書式	@IAS, ch_1 (, ch_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
実行例	送 @IAS,1 [↵]	IN1 から入力された映像がウィンドウいっぱいに表示されるよう、@SAP アスペクト比設定(P.28)、@SOV オーバースキャン設定(P.29)、@SNP 入力表示位置設定(P.30)、@SNS 入力表示サイズ設定(P.30)、@SNM 入カマスク設定(P.31)を初期化する。
	受 @IAS,1 [↵]	正常終了。
関連項目	7.3.9 入力オートサイジング	

@SOP	出力表示位置設定	
コマンド書式	@SOP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) [↵]	
返り値書式	@SOP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-4 : 映像出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4	
	h_position_1-4 : 水平表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	v_position_1-4 : 垂直表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @SOP,1,5,20 [↵]	WINDOW 1 の水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20 に設定する。
	受 @SOP,1,5,20 [↵]	正常終了。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	

@GOP	出力表示位置取得	
コマンド書式	@GOP [↵]	
返り値書式	@GOP, h_window_1, v_window_1, h_window_2, v_window_2, h_window_3, v_window_3, h_window_4, v_window_4 [↵]	
パラメータ	h_window_1-4 : 各ウインドウの水平表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	v_window_1-4 : 各ウインドウの垂直表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
実行例	送 @GOP[↵] 受 @GOP,5,20,0,0,0,0,0,0[↵]	出力表示位置を取得。 WINDOW 1 の水平表示位置は+5、垂直表示位置は+20、その他のウインドウの表示位置は水平、垂直ともに0。
関連項目	7.3.10 出力表示位置	

@SOS	出力表示サイズ設定	
コマンド書式	@SOS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
返り値書式	@SOS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4	
	h_size_1-4 : 水平表示サイズ 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 ※初期値 水平出力解像度	
	v_size_1-4 : 垂直表示サイズ 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @SOS,1,1920,1080[↵] 受 @SOS,1,1920,1080[↵]	WINDOW1 の水平表示サイズを 1920、垂直表示サイズを 1080 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	

@GOS	出力表示サイズ取得	
コマンド書式	@GOS [↵]	
返り値書式	@GOS, h_window_1, v_window_1, h_window_2, v_window_2, h_window_3, v_window_3, h_window_4, v_window_4 [↵]	
パラメータ	h_window_1-4 : 各ウインドウの水平表示サイズ 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 ※初期値 水平出力解像度	
	v_window_1-4 : 各ウインドウの垂直表示サイズ 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	送 @GOS[↵] 受 @GOS,1920,1035,1920,1080,1920,1080,1920,1080[↵]	出力表示サイズを取得。 WINDOW1 の水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1035、その他のウインドウの水平表示サイズは 1920、垂直表示サイズは 1080。
関連項目	7.3.11 出力表示サイズ	

@SOM	出カマスキング設定	
コマンド書式	@SOM, ch, left, right, top, bottom ↵	
返り値書式	@SOM, ch, left, right, top, bottom ↵	
パラメータ	<p>ch : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4</p> <hr/> <p>left : 左側マスキング 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスキング ※初期値 0</p> <hr/> <p>right : 右側マスキング 出力左側マスキング ~ 水平出力表示位置+水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度</p> <hr/> <p>top : 上側マスキング 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスキング ※初期値 0</p> <hr/> <p>bottom : 下側マスキング 出力上側マスキング ~ 垂直出力表示位置+垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度</p>	
実行例	送 @SOM,1,0,1920,0,1080 ↵	WINDOW1 のマスキングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定する。
	受 @SOM,1,0,1920,0,1080 ↵	正常終了。
関連項目	7.3.12 出カマスキング	

@GOM	出カマスキング取得	
コマンド書式	@GOM, ch ↵	
返り値書式	@GOM, ch, left, right, top, bottom ↵	
パラメータ	<p>ch : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4</p> <hr/> <p>left : 左側マスキング 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスキング ※初期値 0</p> <hr/> <p>right : 右側マスキング 出力左側マスキング ~ 水平出力表示位置+水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度</p> <hr/> <p>top : 上側マスキング 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスキング ※初期値 0</p> <hr/> <p>bottom : 下側マスキング 出力上側マスキング ~ 垂直出力表示位置+垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度</p>	
実行例	送 @GOM,1 ↵	WINDOW1 の出カマスキングを取得。
	受 @GOM,1,0,1920,0,1080 ↵	左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
関連項目	7.3.12 出カマスキング	

<b>@OAS</b>	<b>出力オートサイジング</b>	
コマンド書式	@OAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@OAS, <i>ch_1</i> (, <i>ch_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4	
実行例	送 @OAS,1 [↵] 受 @OAS,1 [↵]	WINDOW1 の出力映像が表示機器いっぱいに表示されるよう、@SOP 出力表示位置設定(P.32)、@SOS 出力表示サイズ設定(P.33)、@SOM 出力マスキング設定(P.34)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.3.13 出力オートサイジング	

<b>@SBC</b>	<b>バックカラー設定</b>	
コマンド書式	@SBC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SBC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>red_1-4</i> : バックカラー(赤) <i>green_1-4</i> : バックカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SBC,1,128,128,128 [↵] 受 @SBC,1,128,128,128 [↵]	WINDOW1 のバックカラーを RGB とともに 128(灰色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.3.14 バックカラー	

<b>@GBC</b>	<b>バックカラー取得</b>	
コマンド書式	@GBC, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GBC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>red</i> : バックカラー(赤) <i>green</i> : バックカラー(緑) <i>blue</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GBC,1 [↵] 受 @GBC,1,128,128,128 [↵]	WINDOW1 のバックカラーを取得。 RGB とともに 128(灰色)。
関連項目	7.3.14 バックカラー	

@STP	テストパターン設定																			
コマンド書式	@STP, <i>ch</i> , <i>pattern</i> [↵]																			
返り値書式	@STP, <i>ch</i> , <i>pattern</i> [↵]																			
パラメータ	<p><i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。</p> <hr/> <p><i>pattern</i> : テストパターン</p> <table> <tr> <td>0 = OFF ※ 初期値,</td> <td>1 = V-COLOR BAR,</td> </tr> <tr> <td>2 = H-COLOR BAR,</td> <td>3 = V-GRAY SCALE,</td> </tr> <tr> <td>4 = CALE H-GRAY SCALE,</td> <td>5 = VERTICAL LAMP,</td> </tr> <tr> <td>6 = HORIZONTAL LAMP,</td> <td>7 = 100% WHITE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>8 = 50% WHITE RASTER,</td> <td>9 = RED RASTER,</td> </tr> <tr> <td>10 = GREEN RASTER,</td> <td>11 = BLUE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>12 = CROSS HATCH,</td> <td>13 = OUTPUT FRAME,</td> </tr> <tr> <td>14 = VERTICAL STRIPE,</td> <td>15 = HORIZONTAL STRIPE,</td> </tr> <tr> <td>16 = VERTICAL ZEBRA,</td> <td>17 = HORIZONTAL ZEBRA</td> </tr> </table>		0 = OFF ※ 初期値,	1 = V-COLOR BAR,	2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,	4 = CALE H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL LAMP,	6 = HORIZONTAL LAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,	8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,	10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,	12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,	14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,	16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA
0 = OFF ※ 初期値,	1 = V-COLOR BAR,																			
2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,																			
4 = CALE H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL LAMP,																			
6 = HORIZONTAL LAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,																			
8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,																			
10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,																			
12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,																			
14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,																			
16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA																			
実行例	送 @STP,1,1[↵] 受 @STP,1,1[↵]	V-COLOR BAR を表示する。 正常終了。																		
関連項目	7.3.15 テストパターン																			

@GTP	テストパターン取得																			
コマンド書式	@GTP [↵]																			
返り値書式	@GTP, <i>out</i> [↵]																			
パラメータ	<p><i>out</i> : テストパターン</p> <table> <tr> <td>0 = OFF ※ 初期値,</td> <td>1 = V-COLOR BAR,</td> </tr> <tr> <td>2 = H-COLOR BAR,</td> <td>3 = V-GRAY SCALE,</td> </tr> <tr> <td>4 = CALE H-GRAY SCALE,</td> <td>5 = VERTICAL LAMP,</td> </tr> <tr> <td>6 = HORIZONTAL LAMP,</td> <td>7 = 100% WHITE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>8 = 50% WHITE RASTER,</td> <td>9 = RED RASTER,</td> </tr> <tr> <td>10 = GREEN RASTER,</td> <td>11 = BLUE RASTER,</td> </tr> <tr> <td>12 = CROSS HATCH,</td> <td>13 = OUTPUT FRAME,</td> </tr> <tr> <td>14 = VERTICAL STRIPE,</td> <td>15 = HORIZONTAL STRIPE,</td> </tr> <tr> <td>16 = VERTICAL ZEBRA,</td> <td>17 = HORIZONTAL ZEBRA</td> </tr> </table>		0 = OFF ※ 初期値,	1 = V-COLOR BAR,	2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,	4 = CALE H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL LAMP,	6 = HORIZONTAL LAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,	8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,	10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,	12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,	14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,	16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA
0 = OFF ※ 初期値,	1 = V-COLOR BAR,																			
2 = H-COLOR BAR,	3 = V-GRAY SCALE,																			
4 = CALE H-GRAY SCALE,	5 = VERTICAL LAMP,																			
6 = HORIZONTAL LAMP,	7 = 100% WHITE RASTER,																			
8 = 50% WHITE RASTER,	9 = RED RASTER,																			
10 = GREEN RASTER,	11 = BLUE RASTER,																			
12 = CROSS HATCH,	13 = OUTPUT FRAME,																			
14 = VERTICAL STRIPE,	15 = HORIZONTAL STRIPE,																			
16 = VERTICAL ZEBRA,	17 = HORIZONTAL ZEBRA																			
実行例	送 @GTP[↵] 受 @GTP,3[↵]	テストパターンの出力設定を取得する。 V-GRAY SCALE を出力している。																		
関連項目	7.3.15 テストパターン																			

## 3.3.5 画面合成設定

@SFO	フレーム表示設定	
コマンド書式	@SFO, <i>ch_1, frame_1</i> (, <i>ch_2, frame_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFO, <i>ch_1, frame_1</i> (, <i>ch_2, frame_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>frame_1-4</i> : フレーム表示 0 = 非表示 ※初期値, 1 = 表示	
実行例	送 @SFO,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SFO,1,1 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 のフレームを表示する。 正常終了。
関連項目	7.4.1 フレーム表示	

@GFO	フレーム表示取得	
コマンド書式	@ GFO <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@ GFO, <i>window_1, window_2, window_3, window_4</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウィンドウのフレーム表示 0 = 非表示 ※初期値, 1 = 表示	
実行例	送 @GFO <input type="checkbox"/> 受 @GFO,1,1,0,0 <input type="checkbox"/>	フレーム表示設定を取得。 WINDOW1,WINDOW2 はフレームを表示する、その他のウィンドウはフレームを表示しない。
関連項目	7.4.1 フレーム表示	

@SFC	フレームカラー設定	
コマンド書式	@SFC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFC, <i>ch_1, red_1, green_1, blue_1</i> (, <i>ch_2, red_2, green_2, blue_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>red_1-4</i> : フレームカラー(赤) <i>green_1-4</i> : フレームカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : フレームカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SFC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/> 受 @SFC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 のフレームカラーを RGB とともに 128(灰色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.2 フレームカラー	

@GFC	フレームカラー取得	
コマンド書式	@GFC, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GFC, <i>ch, red, green, blue</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>red</i> : フレームカラー(赤) <i>green</i> : フレームカラー(緑) <i>blue</i> : フレームカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GFC,1[↵] 受 @GFC,1,128,128,128[↵]	WINDOW1 のフレームカラーを取得。 RGB とともに 128(灰色)。
関連項目	7.4.2 フレームカラー	

@SFW	フレームサイズ設定	
コマンド書式	@SFW, <i>ch_1, size_1</i> (, <i>ch_2, size_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SFW, <i>ch_1, size_1</i> (, <i>ch_2, size_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>size_1-4</i> : フレームサイズ 0 ~ 15(ピクセル) ※初期値 3ピクセル	
実行例	送 @SFW,1,10[↵] 受 @SFW,1,10[↵]	WINDOW1 のフレームサイズを 10 ピクセルに設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.3 フレームサイズ	

@GFW	フレームサイズ取得	
コマンド書式	@GFW [↵]	
返り値書式	@GFW, <i>window_1, window_2, window_3, window_4</i> [↵]	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウのフレームサイズ 0 ~ 15(ピクセル) ※初期値 3ピクセル	
実行例	送 @GFW[↵] 受 @GFW,10,10,3,3[↵]	フレームサイズを取得。 WINDOW1,WINDOW2 のフレームサイズは 10 ピクセル、その他のウインドウは 3 ピクセル。
関連項目	7.4.3 フレームサイズ	

@STO	テロップ表示設定	
コマンド書式	@STO, <i>ch_1, telop_1</i> (, <i>ch_2, telop_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@STO, <i>ch_1, telop_1</i> (, <i>ch_2, telop_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>telop_1-4</i> : テロップ表示 0 = 非表示 ※初期値, 1 = 表示	
実行例	送 @STO,1,1[↵] 受 @STO,1,1[↵]	WINDOW1 のテロップを表示する。 正常終了。
関連項目	7.4.4 テロップ表示	

<b>@GTO</b>	<b>テロップ表示取得</b>	
コマンド書式	<b>@GTO</b> [ ]	
返り値書式	<b>@GTO, window_1, window_2, window_3, window_4</b> [ ]	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウのテロップ表示 0 = 非表示 ※初期値, 1 = 表示	
実行例	送 @GTO [ ] 受 @GTO,1,1,0,0 [ ]	テロップの出力設定を取得。 WINDOW1, WINDOW2 はテロップを表示する、その他のウインドウはテロップを表示しない。
関連項目	7.4.4 テロップ表示	

<b>@STB</b>	<b>テロップ背景色設定</b>	
コマンド書式	<b>@STB, ch_1, red_1, green_1, blue_1, transparency_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2, transparency_2...</b> ) [ ]	
返り値書式	<b>@STB, ch_1, red_1, green_1, blue_1, transparency_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2, transparency_2...</b> ) [ ]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4  <i>red_1-4</i> : テロップ背景色(赤) <i>green_1-4</i> : テロップ背景色(緑) <i>blue_1-4</i> : テロップ背景色(青) 0 ~ 255 ※初期値 0  <i>transparency_1-4</i> : 透過設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @STB,1,128,128,128,0 [ ] 受 @STB,1,128,128,128,0 [ ]	WINDOW1 のテロップ背景色を RGB とともに 128(灰色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.5 テロップ背景色	

<b>@GTB</b>	<b>テロップ背景色取得</b>	
コマンド書式	<b>@GTB, ch</b> [ ]	
返り値書式	<b>@GTB, ch, red, green, blue, transparency</b> [ ]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4  <i>red</i> : テロップ背景色(赤) <i>green</i> : テロップ背景色(緑) <i>blue</i> : テロップ背景色(青) 0 ~ 255 ※初期値 0  <i>transparency</i> : 透過設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @GTB,1 [ ] 受 @GTB,1,128,128,128,0 [ ]	WINDOW1 のテロップ背景色を取得。 RGB とともに 128(灰色)。
関連項目	7.4.5 テロップ背景色	

@STC	テロップ文字色設定	
コマンド書式	@STC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@STC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>red_1-4</i> : テロップ文字色(赤) <i>green_1-4</i> : テロップ文字色(緑) <i>blue_1-4</i> : テロップ文字色(青) 0 ~ 255 ※初期値 255	
実行例	送 @STC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 のテロップ文字色を RGB とともに 128(灰色)に設定する。
	受 @STC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.4.6 テロップ文字色	

@GTC	テロップ文字色取得	
コマンド書式	@GTC, <i>ch</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GTC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>red</i> : テロップ文字色(赤) <i>green</i> : テロップ文字色(緑) <i>blue</i> : テロップ文字色(青) 0 ~ 255 ※初期値 255	
実行例	送 @GTC,1 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 のテロップ文字色を取得。
	受 @GTC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	RGB とともに 128(灰色)。
関連項目	7.4.6 テロップ文字色	

@SFS	テロップ文字サイズ設定	
コマンド書式	@SFS, <i>ch_1</i> , <i>size_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>size_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFS, <i>ch_1</i> , <i>size_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>size_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>size_1-4</i> : テロップ文字サイズ 0 = 12x12 ※初期値, 1 = 24x24	
実行例	送 @SFS,1,1 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 のテロップ文字サイズを 24x24 に設定。
	受 @SFS,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.4.7 テロップ文字サイズ	

@GFS	テロップ文字サイズ取得	
コマンド書式	@GFS [ ]	
返り値書式	@GFS, window_1, window_2, window_3, window_4 [ ]	
パラメータ	window_1-4 : 各ウインドウのテロップ文字サイズ 0 = 12x12 ※初期値, 1 = 24x24	
実行例	送 @GFS [ ] 受 @GFS,1,0,1,0 [ ]	テロップ文字サイズを取得。 WINDOW1,3 は 24 x 24、WINDOW2,4 は 12 x 12。
関連項目	7.4.7 テロップ文字サイズ	

@STA	テロップ表示位置設定	
コマンド書式	@STA, ch_1, position_1 (, ch_2, position_2...) [ ]	
返り値書式	@STA, ch_1, position_1 (, ch_2, position_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- position_1-4 : テロップ表示位置 0 = TOP-LEFT ※初期値, 1 = TOP-CENTER, 2 = TOP-RIGHT, 3 = BOTTOM-LEFT, 4 = BOTTOM-CENTER, 5 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	送 @STA,1,1 [ ] 受 @STA,1,1 [ ]	WINDOW1 のテロップ表示位置を TOP-CENTER に設定。 正常終了。
関連項目	7.4.8 テロップ表示位置	

@GTA	テロップ表示位置取得	
コマンド書式	@GTA [ ]	
返り値書式	@GTA, window_1, window_2, window_3, window_4 [ ]	
パラメータ	window_1-4 : 各ウインドウのテロップ表示位置 0 = TOP-LEFT ※初期値, 1 = TOP-CENTER, 2 = TOP-RIGHT, 3 = BOTTOM-LEFT, 4 = BOTTOM-CENTER, 5 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	送 @GTA [ ] 受 @GTA,1,0,0,0 [ ]	テロップ表示位置を取得。 WINDOW1 は TOP-CENTER、その他のウインドウは TOP-LEFT にテロップを表示。
関連項目	7.4.8 テロップ表示位置	

@STN	テロップ表示内容設定	
コマンド書式	@STN, windowno, inputname, videotiming, audiostatus [ ]	
返り値書式	@STN, windowno, inputname, videotiming, audiostatus [ ]	
パラメータ	windowno : ウィンドウ番号 ※初期値 1 inputname : 入力チャンネル名 ※初期値 1 videotiming : 入力映像信号状態 ※初期値 1 audiostatus : 入力音声信号状態 ※初期値 0 0 = 非表示, 1 = 表示	
実行例	送 @STN,0,1,0,0 [ ] 受 @STN,0,1,0,0 [ ]	入力チャンネル名のみ表示する。 正常終了。
関連項目	7.4.9 テロップ表示内容	

@GTN	テロップ表示内容取得	
コマンド書式	@GTN <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GTN, windowno, inputname, videotiming, audiostatus <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>windowno</i> : ウィンドウ番号 ※初期値 1 <i>inputname</i> : 入力チャンネル名 ※初期値 1 <i>videotiming</i> : 入力映像信号状態 ※初期値 1 <i>audiostatus</i> : 入力音声信号状態 ※初期値 0 0 = 非表示, 1 = 表示	
実行例	送 @GTN <input type="checkbox"/> 受 @GTN,0,1,1,0 <input type="checkbox"/>	テロップ表示内容を取得する。 入力チャンネル名と入力映像信号状態を表示。
関連項目	7.4.9 テロップ表示内容	

@STV	テロップ表示時間設定	
コマンド書式	@ STV, time <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@ STV, time <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>time</i> : テロップ表示時間 0 (∞) ~ 300 (秒) ※初期値 3秒	
実行例	送 @STV,10 <input type="checkbox"/> 受 @STV,10 <input type="checkbox"/>	テロップ表示時間を 10 秒に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.10 テロップ表示時間	

@GTV	テロップ表示時間取得	
コマンド書式	@GTV <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GTV, time <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>time</i> : テロップ表示時間 0 (∞) ~ 300 (秒) ※初期値 3秒	
実行例	送 @GTV <input type="checkbox"/> 受 @GTV,10 <input type="checkbox"/>	テロップ表示時間を取得する。 テロップ表示時間は 10 秒。
関連項目	7.4.10 テロップ表示時間	

@SQP	ウィンドウ内表示位置設定	
コマンド書式	@SQP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SQP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>h_position_1-4</i> : 水平表示位置 - 水平表示サイズ設定 ~ + 水平表示サイズ設定 ※初期値 0 ----- <i>v_position_1-4</i> : 垂直表示位置 - 垂直表示サイズ設定 ~ + 垂直表示サイズ設定 ※初期値 0	
実行例	送 @ SQP,1,5,20 <input type="checkbox"/> 受 @ SQP,1,5,20 <input type="checkbox"/>	WINDOW1 の水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.11 ウィンドウ内表示位置	

@GQP	ウインドウ内表示位置取得	
コマンド書式	@GQP [↵]	
返り値書式	@GQP, h_window_1, v_window_1, h_window_2, v_window_2, h_window_3, v_window_3, h_window_4, v_window_4 [↵]	
パラメータ	h_window_1-4 : 各ウインドウの水平表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力表示サイズ設定 ※初期値 0 ----- v_window_1-4 : 各ウインドウの垂直表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力表示サイズ設定 ※初期値 0	
実行例	送 @GQP[↵] 受 @GQP,5,20,0,0,0,0,0,0[↵]	ウインドウ内表示位置を取得。 WINDOW1 の水平表示位置は+5、垂直表示位置は+20、その他のウインドウの表示位置は水平、垂直ともに0。
関連項目	7.4.11 ウインドウ内表示位置	

@SQS	ウインドウ内表示サイズ設定	
コマンド書式	@SQS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
返り値書式	@SQS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- h_size_1-4 : 水平表示サイズ 2000 = 20.00% ~ 50000 = 500.00% (0.05%ステップ) ※初期値 100.00% ----- v_size_1-4 : 垂直表示サイズ 2000 = 20.00% ~ 50000 = 500.00% (0.05%ステップ) ※初期値 100.00% 0.05%単位で設定し、下1桁に5以外を指定した場合は5の倍数に切り捨てられます。(例えば11007と指定すると、11005(110.05%))に設定されます)	
実行例	送 @SQS,1,20000,20000[↵] 受 @SQS,1,20000,20000[↵]	WINDOW1 の水平表示サイズを 200.00%、垂直表示サイズを 200.00%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.4.12 ウインドウ内表示サイズ	

@GQS	ウインドウ内表示サイズ取得	
コマンド書式	@GQS [↵]	
返り値書式	@GQS, h_window_1, v_window_1, h_window_2, v_window_2, h_window_3, v_window_3, h_window_4, v_window_4 [↵]	
パラメータ	h_window_1-4 : 各ウインドウの水平表示サイズ 2000 = 20.00% ~ 50000 = 500.00% (0.05%ステップ) ※初期値 100.00% ----- v_window_1-4 : 各ウインドウの垂直表示サイズ 2000 = 20.00% ~ 50000 = 500.00% (0.05%ステップ) ※初期値 100.00%	
実行例	送 @GQS[↵] 受 @GQS,20000,20000,100,10000,10000,10000,10000,10000,10000[↵]	ウインドウ内表示サイズを取得。 WINDOW 1 の水平表示サイズは 200.00%、垂直表示サイズは 200.00%、その他のウインドウの表示サイズは水平、垂直ともに 100.00%。
関連項目	7.4.12 ウインドウ内表示サイズ	

@SOI	出力反転設定	
コマンド書式	@SOI, ch_1, invert_1 (, ch_2, invert_2...) [↵]	
返り値書式	@SOI, ch_1, invert_1 (, ch_2, invert_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力ウィンドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- invert_1-4 : 反転設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送   @SOI,2,1 [↵]	WINDOW2 の出力を反転する。
	受   @SOI,2,1 [↵]	正常終了。
関連項目	7.4.13 出力反転	

@GOI	出力反転設定取得	
コマンド書式	@GOI	
返り値書式	@GOI, window_1, window_2, window_3, window_4 [↵]	
パラメータ	window_1-4 : 各ウィンドウの反転設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送   @ GOI [↵]	出力反転設定を取得する。
	受   @ GOI,0,1,0,0 [↵]	WINDOW 2 は反転出力、その他のウィンドウは通常出力。
関連項目	7.4.13 出力反転	

@SPR	ウィンドウ優先順位設定	
コマンド書式	@SPR, priority_1, priority_2, priority_3, priority_4 [↵]	
返り値書式	@SPR, priority_1, priority_2, priority_3, priority_4 [↵]	
パラメータ	priority_1-4 : ウィンドウ優先順位 1 ~ 4 ※初期値 1,2,3,4 (WINDOW1>WINDOW2>WINDOW3>WINDOW4) (注) priority_1-4には、それぞれ異なる数値を指定してください。	
実行例	送   @SPR,4,3,2,1 [↵]	ウィンドウ優先順位を WINDOW 4> WINDOW 3> WINDOW 2> WINDOW 1 に設定する。
	受   @SPR,4,3,2,1 [↵]	正常終了。
関連項目	7.4.14 ウィンドウ優先順位	

@GPR	ウィンドウ優先順位取得	
コマンド書式	@GPR [↵]	
返り値書式	@GPR, priority_1, priority_2, priority_3, priority_4 [↵]	
パラメータ	priority_1-4 : ウィンドウ優先順位 1 ~ 4 ※初期値 1,2,3,4 (WINDOW1>WINDOW2>WINDOW3>WINDOW4)	
実行例	送   @GPR [↵]	ウィンドウ優先順位設定を取得する。
	受   @GPR,4,3,2,1 [↵]	ウィンドウ優先順位は WINDOW 4> WINDOW 3> WINDOW 2> WINDOW 1。
関連項目	7.4.14 ウィンドウ優先順位	

@SWV	ウインドウ非表示設定	
コマンド書式	@SWV, <i>ch_1</i> , <i>invisible_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>invisible_2</i> ···) ☐	
返り値書式	@SWV, <i>ch_1</i> , <i>invisible_1</i> ( <i>ch_2</i> , <i>invisible_2</i> ···) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>invisible_1-4</i> : ウインドウ非表示設定 0 = 表示 ※初期値, 1 = 非表示	
実行例	送 @SWV,1,1☐	WINDOW1 を非表示に設定する。
	受 @SWV,1,1☐	正常終了。
関連項目	7.4.15 ウインドウ非表示	

@GWV	ウインドウ非表示取得	
コマンド書式	@GWV ☐	
返り値書式	@GWV, <i>window_1</i> , <i>window_2</i> , <i>window_3</i> , <i>window_4</i> ☐	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウのウインドウ非表示設定 0 = 表示 ※初期値, 1 = 非表示	
実行例	送 @GWV☐	ウインドウ非表示設定を取得する。
	受 @GWV,1,0,0,0☐	WINDOW1 は表示しない、その他ウインドウは表示する。
関連項目	7.4.15 ウインドウ非表示	

@SEB	パターン背景色設定	
コマンド書式	@SEB, <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ☐	
返り値書式	@SEB, <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ☐	
パラメータ	<i>red</i> : パターン背景色(赤) <i>green</i> : パターン背景色(緑) <i>blue</i> : パターン背景色(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SEB,128,128,128☐	パターン背景色を RGB とともに 128(灰色)に設定する。
	受 @SEB,128,128,128☐	正常終了。
関連項目	7.4.16 パターン背景色	

@GEB	パターン背景色取得	
コマンド書式	@GEB ☐	
返り値書式	@GEB, <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ☐	
パラメータ	<i>red</i> : パターン背景色(赤) <i>green</i> : パターン背景色(緑) <i>blue</i> : パターン背景色(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GEB☐	パターン背景色を取得する。
	受 @GEB,255,255,255☐	RGB とともに 255(白)。
関連項目	7.4.16 パターン背景色	

## 3.3.6 画質設定

@SBR	入力ブライトネス設定	
コマンド書式	@SBR, <i>ch_1, bright_1</i> (, <i>ch_2, bright_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBR, <i>ch_1, bright_1</i> (, <i>ch_2, bright_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 <hr/> <i>bright_1-9</i> : ブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SBR,3,110 <input type="checkbox"/> 受 @SBR,3,110 <input type="checkbox"/>	IN3のブライトネスを110%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.1 入力ブライトネス	

@GBR	入力ブライトネス取得	
コマンド書式	@GBR <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBR, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルのブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GBR <input type="checkbox"/> 受 @GBR,110,100,100,100, 100,100,100,100,100 <input type="checkbox"/>	ブライトネス設定を取得。 IN1は110%、その他の入力100%。
関連項目	7.5.1 入力ブライトネス	

@SCO	入力コントラスト設定	
コマンド書式	@SCO, <i>ch_1, r_1, g_1, b_1</i> (, <i>ch_2, r_2, g_2, b_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCO, <i>ch_1, r_1, g_1, b_1</i> (, <i>ch_2, r_2, g_2, b_2</i> ···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 <hr/> <i>r_1-9</i> : コントラスト(赤) <i>g_1-9</i> : コントラスト(緑) <i>b_1-9</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SCO,3,105,100,95 <input type="checkbox"/> 受 @SCO,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>	IN3のコントラストを赤105%、緑100%、青95%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.2 入力コントラスト	

@GCO	入力コントラスト取得	
コマンド書式	@GCO, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GCO, <i>ch, red, green, blue</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>red</i> : コントラスト(赤) <i>green</i> : コントラスト(緑) <i>blue</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GCO,3[↵] 受 @GCO,3,105,100,95[↵]	IN3 のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.5.2 入力コントラスト	

@SHU	色相 (HUE) 設定	
コマンド書式	@SHU, <i>ch_1, hue_1</i> (, <i>ch_2, hue_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SHU, <i>ch_1, hue_1</i> (, <i>ch_2, hue_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>hue_1-9</i> : 色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0	
実行例	送 @SHU,1,60[↵] 受 @SHU,1,60[↵]	IN1 の色相を 60° に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.3 色相 (HUE)	

@GHU	色相 (HUE) 取得	
コマンド書式	@GHU [↵]	
返り値書式	@GHU, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルの色相(HUE) 0 ~ 359 ※初期値 0	
実行例	送 @GHU[↵] 受 @GHU,60,0,0,0,0,0,0,0,0[↵]	色相設定を取得。 IN1 は 60°、その他の入力は 0°。
関連項目	7.5.3 色相 (HUE)	

@SST	サチレーション (彩度) 設定	
コマンド書式	@SST, <i>ch_1, saturation_1</i> (, <i>ch_2, saturation_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SST, <i>ch_1, saturation_1</i> (, <i>ch_2, saturation_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-9</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- <i>saturation_1-9</i> : サチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SST,5,105[↵] 受 @SST,5,105[↵]	IN5 のサチレーションを 105%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.4 彩度 (SATURATION)	

<b>@GST</b>	<b>サチレーション（彩度）取得</b>	
コマンド書式	@GST [ ]	
返り値書式	@GST, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [ ]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルのサチレーション(彩度) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GST [ ] 受 @GST,100,100,100,100 ,105,100,100,100,100 [ ]	サチレーションを取得する。 IN5 は 105%、その他の入力 は 100%。
関連項目	7.5.4 彩度 (SATURATION)	

<b>@SSU</b>	<b>セットアップレベル設定</b>	
コマンド書式	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2···) [ ]	
返り値書式	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2···) [ ]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- setup_1-9 : セットアップレベル -20 = -20×0.5(-10.0%) ~ +20 = +20×0.5(+10.0%) ※初期値 ±0 = ±0.0%	
実行例	送 @SSU,5,15 [ ] 受 @SSU,5,15 [ ]	IN5 のセットアップレベルを+7.5%に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.5 セットアップレベル	

<b>@GSU</b>	<b>セットアップレベル取得</b>	
コマンド書式	@GSU [ ]	
返り値書式	@GSU, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [ ]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルのセットアップレベル -20 = -20×0.5(-10.0%) ~ +20 = +20×0.5(+10.0%) ※初期値 ±0 = ±0.0%	
実行例	送 @GSU [ ] 受 @GSU,0,0,0,0,15,0,0,0,0 [ ]	セットアップレベルを取得する。 IN5 は+7.5%、その他の入力 は 0%。
関連項目	7.5.5 セットアップレベル	

<b>@IDC</b>	<b>入力デフォルトカラー</b>	
コマンド書式	@IDC, ch_1 (, ch_2···) [ ]	
返り値書式	@IDC, ch_1 (, ch_2···) [ ]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
実行例	送 @IDC,1 [ ] 受 @IDC,1 [ ]	IN1 の@SBR 入力ブライトネス設定(P.46)、@SCO 入力コントラスト設定(P.46)、@SHU 色相 (HUE) 設定(P.47)、@SST サチレーション(彩度)設定(P.47)、@SSU セットアップレベル設定(P.48)を初期化する。 正常終了。
関連項目	7.5.6 入力デフォルトカラー	

@SOB	出力ブライツネス設定	
コマンド書式	@SOB, <i>ch_1</i> , <i>bright_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bright_2</i> ···) ☐	
返り値書式	@SOB, <i>ch_1</i> , <i>bright_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bright_2</i> ···) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>bright_1-4</i> : ブライツネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @SOB,1,110☐ 受 @SOB,1,110☐	WINDOW1 のブライツネスを 110% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.7 出力ブライツネス	

@GOB	出力ブライツネス取得	
コマンド書式	@GOB ☐	
返り値書式	@GOB, <i>window_1</i> , <i>window_2</i> , <i>window_3</i> , <i>window_4</i> ☐	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウのブライツネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
実行例	送 @GOB☐ 受 @GOB,110,100,100,100☐	ブライツネス設定を取得。 WINDOW1 は 110%、その他のウインドウは 100%。
関連項目	7.5.7 出力ブライツネス	

@SOC	出力コントラスト設定	
コマンド書式	@SOC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ···) ☐	
返り値書式	@SOC, <i>ch_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ···) ☐	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>red_1-4</i> : コントラスト(赤) <i>green_1-4</i> : コントラスト(緑) <i>blue_1-4</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @SOC,1,105,100,95☐ 受 @SOC,1,105,100,95☐	WINDOW1 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95% に設定する。 正常終了。
関連項目	7.5.8 出力コントラスト	

@GOC	出力コントラスト取得	
コマンド書式	@GOC, <i>ch</i> ☐	
返り値書式	@GOC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> ☐	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>red</i> : コントラスト(赤) <i>green</i> : コントラスト(緑) <i>blue</i> : コントラスト(青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	送 @GOC,1☐ 受 @GOC,1,105,100,95☐	WINDOW1 のコントラスト設定を取得。 赤 105%、緑 100%、青 95%。
関連項目	7.5.8 出力コントラスト	

<b>@ODC</b>	<b>出力デフォルトカラー</b>	
コマンド書式	@ODC, <i>ch_1</i> ( <i>, ch_2...</i> ) 	
返り値書式	@ODC, <i>ch_1</i> ( <i>, ch_2...</i> ) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4	
実行例	送 @ODC,1 	WINDOW1 の@SOB 出力ブライトネス設定 (P.49)、 @SOC 出力コントラスト設定 (P.49) を初期化する。
	受 @ODC,1 	正常終了。
関連項目	7.5.9 出力デフォルトカラー	

## 3.3.7 入力設定

@SDT		デジタル信号の無入力監視設定	
コマンド書式	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<p>ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5</p> <hr/> <p>time_1-5 : 監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 100ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます (例えば 2955 と指定すると、2900ms(2.9 秒)に設定されます)</p>		
実行例	送	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>	IN3 の無入力監視時間を 6000ms(6 秒)に設定する。
	受	@SDT,3,6000 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.6.1 デジタル信号の無入力監視		

@GDT		デジタル信号の無入力監視取得	
コマンド書式	@GDT <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GDT, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<p>in_1-5 : 各入力チャンネルの監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒</p>		
実行例	送	@GDT <input type="checkbox"/>	入力映像信号の無入力監視時間を取得。
	受	@GDT,6000,10000, 10000,4000,4000 <input type="checkbox"/>	IN1 は 6000ms(6 秒)、IN2 と IN3 は 10000ms(10 秒)、 IN4 と IN5 は 4000ms(4 秒)。
関連項目	7.6.1 デジタル信号の無入力監視		

@SHE		HDCP 入力の許可/禁止設定	
コマンド書式	@SHE, ch_1, htcp_1 (, ch_2, htcp_2···) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SHE, ch_1, htcp_1 (, ch_2, htcp_2···) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<p>ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5</p> <hr/> <p>htcp_1-5 : HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE(許可しない), 1 = ENABLE(許可する) ※初期値</p>		
実行例	送	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>	IN1 の HDCP 入力を許可しない。
	受	@SHE,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.6.2 HDCP 入力の許可/禁止		

@GHE		HDCP 入力の許可/禁止設定取得	
コマンド書式	@GHE <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GHE, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<p>in_1-5 : 各入力チャンネルの HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE(許可しない), 1 = ENABLE(許可する) ※初期値</p>		
実行例	送	@GHE <input type="checkbox"/>	HDCP 入力の許可/禁止設定を取得。
	受	@GHE,1,1,0,1,1 <input type="checkbox"/>	IN3 は HDCP 入力を許可しない、その他の入力は HDCP 入力を許可する
関連項目	7.6.2 HDCP 入力の許可/禁止		

@SIQ	入力イコライザ設定	
コマンド書式	@SIQ, ch_1, equalizer_1 (, ch_2, equalizer_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SIQ, ch_1, equalizer_1 (, ch_2, equalizer_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 ----- equalizer_1-5 : 入力イコライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送   @SIQ,3,0 <input type="checkbox"/>	IN3の入力イコライザを OFF に設定する。
	受   @SIQ,3,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.6.3 入力イコライザ	

@GIQ	入力イコライザ取得	
コマンド書式	@GIQ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIQ, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in_1-5 : 各入力チャンネルの入力イコライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送   @GIQ <input type="checkbox"/>	入力イコライザを取得。
	受   @GIQ,0,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	IN1 は入力イコライザ OFF、その他の入力は入力イコライザ ON。
関連項目	7.6.3 入力イコライザ	

@SAI	アナログ入力 信号種別設定	
コマンド書式	@SAI, ch_1, type_1 (, ch_2, type_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAI, ch_1, type_1 (, ch_2, type_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 ~ 9 = IN9 ----- type_1-4 : 信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, 3 = VIDEO AUTO, 4 = VIDEO, 5 = Y/C	
実行例	送   @SAI,0,2 <input type="checkbox"/>	全入力チャンネルの信号種別を YPbPr に設定する。
	受   @SAI,0,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.6.4 アナログ入力 信号種別	

@GAI	アナログ入力 信号種別取得	
コマンド書式	@GAI <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAI, in_6, in_7, in_8, in_9 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in_6-9 : 各入力チャンネルの信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, 3 = VIDEO AUTO, 4 = VIDEO, 5 = Y/C	
実行例	送   @GAI <input type="checkbox"/>	アナログ入力の信号種別を取得。
	受   @GAI,0,0,2,0 <input type="checkbox"/>	IN8 は YPbPr、その他の入力は AUTO。
関連項目	7.6.4 アナログ入力 信号種別	

@SID	入力映像信号 OFF の自動検出設定	
コマンド書式	@SID, ch_1, detect_1 (, ch_2, detect_2····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SID, ch_1, detect_1 (, ch_2, detect_2····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
	detect_1-9 : 自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送	@SID,8,0 <input type="checkbox"/> IN8 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。
	受	@SID,8,0 <input type="checkbox"/> 正常終了。
関連項目	7.6.5 入力映像信号 OFF の自動検出	

@GID	入力映像信号 OFF の自動検出設定取得	
コマンド書式	@GID <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GID, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送	@GID <input type="checkbox"/> 入力映像信号 OFF の自動検出設定を取得。
	受	@GID,1,1,1,1,1,1,1,0,1 <input type="checkbox"/> IN8 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない、その他の入力 は OFF にする。
関連項目	7.6.5 入力映像信号 OFF の自動検出	

@SFX	入力信号ごと設定の固定設定	
コマンド書式	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
	mode : 設定モード 0 = SELECTED, 1 = ALL FIXED	
	設定モードが 0 = SELECTED 時のみ設定可能です。	
	aspect : アスペクト比 0 = OFF※初期値, 1 = ON(FIXED)	
実行例	analog : アナログ入力の信号種別 (デジタル入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値	
	audio : 音声入力レベル (アナログ入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値	
	送	@SFX,2,1 <input type="checkbox"/> IN2 は入力信号ごと設定を現在の設定に固定。
	受	@SFX,2,1 <input type="checkbox"/> 正常終了。
関連項目	7.6.6 入力信号ごと設定の固定	

@GFX	入力信号ごと設定の固定取得	
コマンド書式	@GFX, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GFX, <i>ch, mode</i> (, <i>aspect, analog, audio</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
	<i>mode</i> : 設定モード 0 = SELECTED, 1 = ALL FIXED	
	設定モードが 0 = SELECTED 時のみ。 <i>aspect</i> : アスペクト比 0 = OFF※初期値, 1 = ON(FIXED) <i>analog</i> : アナログ入力の信号種別 (デジタル入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値 <i>audio</i> : 音声入力レベル (アナログ入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値	
実行例	送 @GFX, 6 [↵] 受 @GFX, 6, 0, 1, 0, 0 [↵]	IN6 の入力信号ごと設定の固定を取得。 IN6 のアスペクト比は現在の設定に固定、アナログ入力の信号種別は入力信号ごとの設定を使用する。 音声入力レベルは無効。
関連項目	7.6.6 入力信号ごと設定の固定	

## 3.3.8 入カタイミング設定

@SHT	水平総ドット数設定	
コマンド書式	@SHT, <i>ch</i> , <i>h_total</i> [↵]	
返り値書式	@SHT, <i>ch</i> , <i>h_total</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 ~ 9 = IN9 ----- <i>h_total</i> : 水平総ドット数 400 ~ 4125 (ただしサンプリングクロックが 13MHz~165MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHT,6,1344[↵] 受 @SHT,6,1344[↵] 送 @SHT,6,1344[↵] 受 @ERR,3[↵]	IN6 の水平総ドット数を 1344 に設定する。 正常終了。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.7.1 水平総ドット数	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GHT	水平総ドット数取得	
コマンド書式	@GHT [↵]	
返り値書式	@GHT, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> , <i>in_6</i> , <i>in_7</i> , <i>in_8</i> , <i>in_9</i> [↵]	
パラメータ	<i>in_1-9</i> : 各入力チャンネルの水平総ドット数 400 ~ 4125 (ただしサンプリングクロックが 13MHz~165MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHT[↵] 受 @GHT,2200,2200,0,2640, 1344,1792,0,1792,0[↵]	水平総ドット数を取得。 信号が入力されていないチャンネルは“0”が返されます。
関連項目	7.7.1 水平総ドット数	

@SHS	水平取り込み開始位置設定	
コマンド書式	@SHS, ch, h_start □	
返り値書式	@SHS, ch, h_start □	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- h_start : 水平取り込み開始位置 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHS,5,296□ 受 @SHS,5,296□	IN5の水平取り込み開始位置を296に設定する。 正常終了。
	送 @SHS,6,296□ 受 @ERR,3□	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.7.2 水平取り込み開始位置	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GHS	水平取り込み開始位置取得	
コマンド書式	@GHS □	
返り値書式	@GHS, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 □	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの水平取り込み開始位置 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GHS□ 受 @GHS,192,192,496,0, 296,0,378,378,0□	水平取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは“0”が返されます。
関連項目	7.7.2 水平取り込み開始位置	

@SHD	水平表示期間設定	
コマンド書式	@SHD, ch, h_disp □	
返り値書式	@SHD, ch, h_disp □	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- h_disp : 水平表示期間 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-64以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SHD,5,1024□ 受 @SHD,5,1024□	IN5の水平表示期間を1024に設定する。 正常終了。
	送 @SHD,6,1024□ 受 @ERR,3□	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.7.3 水平表示期間	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@GHD</b>	<b>水平表示期間取得</b>	
コマンド書式	@GHD [↵]	
返り値書式	@GHD, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [↵]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの水平表示期間 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-64 以下) ※初期値 入力された信号により異なります。	
実行例	送 @GHD[↵] 受 @GHD,1920,1920,0,1920 ,1024,1360,0,1360,0[↵]	水平表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは“0”が返されます。
関連項目	7.7.3 水平表示期間	

<b>@SVS</b>	<b>垂直取り込み開始位置設定</b>	
コマンド書式	@SVS, ch, v_start [↵]	
返り値書式	@SVS, ch, v_start [↵]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- v_start : 垂直取り込み開始位置 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @SVS,5,35[↵] 受 @SVS,5,35[↵] 送 @SVS,6,35[↵] 受 @ERR,3[↵]	IN5の垂直取り込み開始位置を35に設定する。 正常終了。 信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.7.4 垂直取り込み開始位置	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

<b>@GVS</b>	<b>垂直取り込み開始位置取得</b>	
コマンド書式	@GVS [↵]	
返り値書式	@GVS, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [↵]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの垂直取り込み開始位置 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GVS[↵] 受 @GVS,40,0,40,40,35,0, 24,24,0[↵]	垂直取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは“0”が返されます。
関連項目	7.7.4 垂直取り込み開始位置	

@SVD	垂直表示期間設定	
コマンド書式	@SVD, ch, v_disp [↵]	
返り値書式	@SVD, ch, v_disp [↵]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- v_disp : 垂直表示期間 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります。	
実行例	送 @SVD,5,768 [↵] 受 @SVD,5,768 [↵]	IN5 の垂直表示期間を 768 に設定する。 正常終了。
	送 @SVD,5,768 [↵] 受 @ERR,3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラーが返されます。
関連項目	7.7.5 垂直表示期間	
注意事項	信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GVD	垂直表示期間取得	
コマンド書式	@GVD [↵]	
返り値書式	@GVD, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [↵]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの垂直表示期間 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります	
実行例	送 @GVD [↵] 受 @GVD,0,1080,1080,900, 768,0,900,0,0 [↵]	垂直表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは“0”が返されます。
関連項目	7.7.5 垂直表示期間	

@AIS	自動計測	
コマンド書式	@AIS, ch [↵]	
返り値書式	@AIS, ch [↵]	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 6 = IN6 ~ 9 = IN9	
実行例	送 @AIS,6 [↵] 受 @AIS,6 [↵]	IN6 の取り込み開始位置設定を自動計測する。 正常終了。
	送 @AIS,6 [↵] 受 @ERR,7 [↵]	自動計測に失敗すると、エラーが返されます。
関連項目	7.7.6 自動計測	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力され、目的の入力チャンネルがいずれかのウインドウに選択されている場合のみ、有効なコマンドです。	

@AIT	アスペクト比を考慮した自動計測		
コマンド書式	@AIT, ch (, mode) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@AIT, ch (, mode) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	ch : 入力チャンネル 6 = IN6 ~ 9 = IN9 ----- mode : 計測モード -1 = NEXT ASPECT, 0 = 4:3, 1 = 5:4, 2 = 5:3, 3 = 16:9, 4 = 16:10 「NEXT ASPECT」を指定した場合は、実行するたびに次のアスペクト比が順番に 選択されます。また計測モードを省略した場合は「NEXT ASPECT」モードで実行 します。		
実行例	送	@AIT,6 <input type="checkbox"/>	IN6 の入力タイミング設定を「NEXT ASPECT」モードで自動計測する。
	受	@AIT,6 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送	@AIT,6,3 <input type="checkbox"/>	IN6 の入力タイミング設定をアスペクト比 16:9 で自動計測する。
	受	@AIT,6,3 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送	@AIT,6 <input type="checkbox"/>	自動計測に失敗すると、エラーが返されます。
	受	@ERR,7 <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.7.6 自動計測		
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力され、目的の入力チャンネルがいずれかのウィンドウに選択されている場合のみ、有効なコマンドです。		

@SIS	取り込み開始位置の自動計測設定		
コマンド書式	@SIS, ch, mode <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SIS, ch, mode <input type="checkbox"/>		
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 ~ 9 = IN9 ----- mode : 自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力は全て自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値		
実行例	送	@SIS,6,1 <input type="checkbox"/>	IN6 から現在入力されている信号は自動計測しない。
	受	@SIS,6,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.7.7 取り込み開始位置の自動計測		

@GIS	取り込み開始位置の自動計測取得		
コマンド書式	@GIS <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GIS, in_6, in_7, in_8, in_9 <input type="checkbox"/>		
パラメータ	in_6-9 : 各入力チャンネルの自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力は全て自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値		
実行例	送	@GIS <input type="checkbox"/>	取り込み開始位置の自動計測設定を取得。
	受	@GIS,0,1,1,1 <input type="checkbox"/>	IN6 は自動計測しない、その他の入力は自動計測する。
関連項目	7.7.7 取り込み開始位置の自動計測		

<b>@SSM</b>	<b>未登録信号入力時の自動計測設定</b>	
コマンド書式	@SSM, mode <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSM, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値	
実行例	送 @SSM,1 <input type="checkbox"/>	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
	受 @SSM,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.7.8 未登録信号入力時の自動計測	

<b>@GSM</b>	<b>未登録信号入力時の自動計測取得</b>	
コマンド書式	@GSM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSM, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値	
実行例	送 @GSM <input type="checkbox"/>	未登録信号が入力された場合の自動計測の実行を取得。
	受 @GSM,1 <input type="checkbox"/>	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
関連項目	7.7.8 未登録信号入力時の自動計測	

<b>@RTT</b>	<b>機種データの読み出し</b>	
コマンド書式	@RTT, ch (, table) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@RTT, ch (, table) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- table : 機種テーブル 1 ~ 99(登録した機種データ), 100 ~ 100+n(本機にあらかじめ登録されている機種データで、nは入力されている信号により異なりますが大半は0です) 機種テーブルはアナログ入力(chが IN6~IN9)の場合のみ指定します。	
実行例	送 @RTT,1 <input type="checkbox"/>	IN1 の入力タイミング設定を本機が自動検出した値に初期化する。
	受 @RTT,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送 @RTT,6,2 <input type="checkbox"/>	IN6の入力タイミング設定を機種テーブル2に保存された内容にする。
	受 @RTT,6,2 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.7.9 機種データの読み出し	
注意事項	入力信号がある場合のみ有効なコマンドです。またアナログ入力の場合は、入力された信号に対する機種データが登録されている場合のみ有効なコマンドです。	

@STT	機種データの登録	
コマンド書式	@STT, ch, table (, name) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@STT, ch, table (, name) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>ch : 入力チャンネル 6 = IN6 ~ 9 = IN9</p> <hr/> <p>table : 機種テーブル 1 ~ 99</p> <hr/> <p>name : 機種テーブル名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大14文字まで 機種テーブル名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入力タイミング設定のみ保存します。ただし現在保存されている名前がなかった場合は、自動的に解像度を機種テーブル名として保存します。</p>	
実行例	現在のIN6の入力タイミング設定を、機種テーブル2に保存する。	
	送 @STT,6,2 <input type="checkbox"/>	[機種テーブル名を省略した場合]
	受 @STT,6,2 <input type="checkbox"/>	
	送 @STT,6,2,XGA 60Hz <input type="checkbox"/>	[機種テーブル名を指定した場合]
	受 @STT,6,2,XGA 60Hz <input type="checkbox"/>	
関連項目	7.7.10 機種データの登録	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@STK	トラッキング設定	
コマンド書式	@STK, ch_1, track_1 (, ch_2, track_2... ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@STK, ch_1, track_1 (, ch_2, track_2... ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>ch_1-4 : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 6 = IN6 ~ 9 = IN9</p> <hr/> <p>track_1-4 : トラッキング 0 ~ 63 ※初期値 0</p>	
実行例	送 @STK,6,4 <input type="checkbox"/>	IN6のトラッキングを4に設定する。
	受 @STK,6,4 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.7.11 トラッキング	
注意事項	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GTK	トラッキング取得	
コマンド書式	@GTK <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GTK, in_6, in_7, in_8, in_9 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in_6-9 : 各入力チャンネルのトラッキング 0 ~ 63 ※初期値 0	
実行例	送 @GTK <input type="checkbox"/>	トラッキングを取得。
	受 @GTK,4,0,5,4 <input type="checkbox"/>	アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は0が返されます。
関連項目	7.7.11 トラッキング	

## 3.3.9 出力設定

@SEQ	出カイクライザ設定	
コマンド書式	@SEQ, <i>ch</i> , <i>level</i> [↵]	
返り値書式	@SEQ, <i>ch</i> , <i>level</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>level</i> : 出カイクライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @SEQ,1,0[↵] 受 @SEQ,1,0[↵]	出カイクライザを OFF に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.1 出カイクライザ	

@GEQ	出カイクライザ取得	
コマンド書式	@GEQ [↵]	
返り値書式	@GEQ, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 出カイクライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @GEQ[↵] 受 @GEQ,1[↵]	出カイクライザを取得。 出カイクライザは LOW。
関連項目	7.8.1 出カイクライザ	

@SDM	出力モード設定	
コマンド書式	@SDM, <i>ch</i> , <i>mode</i> [↵]	
返り値書式	@SDM, <i>ch</i> , <i>mode</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>mode</i> : 出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
実行例	送 @SDM,1,3[↵] 受 @SDM,1,3[↵]	出力モードを HDMI YCbCr4:4:4 MODE に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.2 出力モード	

@GDM	出力モード取得	
コマンド書式	@GDM [↵]	
返り値書式	@GDM, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
実行例	送 @GDM[↵] 受 @GDM,3[↵]	出力モードを取得。 出力モードは HDMI YCbCr4:4:4 MODE。
関連項目	7.8.2 出力モード	

<b>@SUY</b>	<b>映像信号無入力時の同期信号出力設定</b>	
コマンド書式	@SUY, <i>ch</i> , <i>sync</i> [↵]	
返り値書式	@SUY, <i>ch</i> , <i>sync</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>sync</i> : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @SUY,1,1 [↵] 受 @SUY,1,1 [↵]	映像信号が入力されていない場合でも同期信号を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.3 映像信号無入力時の同期信号出力	

<b>@GUY</b>	<b>映像信号無入力時の同期信号出力取得</b>	
コマンド書式	@GUY [↵]	
返り値書式	@GUY, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
実行例	送 @GUY [↵] 受 @GUY,1 [↵]	映像信号無入力時の同期信号出力を取得。 同期信号を出力する。
関連項目	7.8.3 映像信号無入力時の同期信号出力	

<b>@SBO</b>	<b>映像信号無入力時の出力映像設定</b>	
コマンド書式	@SBO, <i>ch_1</i> , <i>video_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>video_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SBO, <i>ch_1</i> , <i>video_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>video_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 ----- <i>video_1-4</i> : 出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送 @SBO,1,1 [↵] 受 @SBO,1,1 [↵]	WINDOW1 は映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.4 映像信号無入力時の出力映像	

<b>@GBO</b>	<b>映像信号無入力時の出力映像取得</b>	
コマンド書式	@GBO [↵]	
返り値書式	@GBO, <i>window_1</i> , <i>window_2</i> , <i>window_3</i> , <i>window_4</i> [↵]	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウの出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面	
実行例	送 @GBO [↵] 受 @GBO,1,0,0,0 [↵]	映像信号無入力時の出力映像を取得。 WINDOW1 はブルー画面を出力する、その他のウインドウはブラック画面を出力する。
関連項目	7.8.4 映像信号無入力時の出力映像	

<b>@SFF</b>	<b>映像入力チャンネル切り換え効果設定</b>	
コマンド書式	@SFF, ch_1, switching_1 (, ch_2, switching_2···) 	
返り値書式	@SFF, ch_1, switching_1 (, ch_2, switching_2···) 	
パラメータ	<p>ch_1-4 : 出力ウインドウ 0 = 全WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4</p> <hr/> <p>switching_1-4 : 切り換え効果 [COMBINED MODE の場合] 0 = カット, 1 = フェードアウト/フェードイン, 2 = フリーズ+フェードアウト/フェードイン ※初期値 [SEAMLESS MODE の場合] 0 = カット, 1 = ディゾルブ, 2 = フリーズ+ディゾルブ ※初期値, 3 = 左→右へワイプ, 4 = 右→左へワイプ, 5 = 上→下へワイプ, 6 = 下→上へワイプ</p>	
実行例	送 @SFF,1,1  受 @SFF,1,1 	WINDOW1 はフェードアウト/フェードインまたはディゾルブにより入力チャンネルを切り換える。 正常終了。
関連項目	7.8.5 映像入力チャンネル切り換え効果	

<b>@GFF</b>	<b>映像入力チャンネル切り換え効果取得</b>	
コマンド書式	@GFF 	
返り値書式	@GFF, window_1, window_2, window_3, window_4 	
パラメータ	<p>window_1-4 : 各ウインドウの切り換え効果 [COMBINED MODE の場合] 0 = カット, 1 = フェードアウト/フェードイン, 2 = フリーズ+フェードアウト/フェードイン ※初期値 [SEAMLESS MODE の場合] 0 = カット, 1 = ディゾルブ, 2 = フリーズ+ディゾルブ ※初期値, 3 = 左→右へワイプ, 4 = 右→左へワイプ, 5 = 上→下へワイプ, 6 = 下→上へワイプ</p>	
実行例	送 @GFF  受 @GFF,1,1,0,1 	入力チャンネル切り換え時の効果を取得。 WINDOW3 はカット、その他のウインドウはフェードアウト/フェードインまたはディゾルブにより入力チャンネルを切り換える。
関連項目	7.8.5 映像入力チャンネル切り換え効果	

@SFT	映像入力チャンネル切り換え時間設定	
コマンド書式	@SFT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ···) 	
返り値書式	@SFT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ···) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウィンドウ 0 = 全WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>time_1-4</i> : 切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒 10ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。(例えば 395 と指定すると、390ms(0.39 秒)に設定されます)	
実行例	送 @SFT,1,400  受 @SFT,1,400 	WINDOW1 の映像入力チャンネルの切り換え時間は 400ms(0.4 秒)。 正常終了。
関連項目	7.8.6 映像入力チャンネル切り換え時間	

@GFT	映像入力チャンネル切り換え時間取得	
コマンド書式	@GFT 	
返り値書式	@GFT, <i>window_1</i> , <i>window_2</i> , <i>window_3</i> , <i>window_4</i> 	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウィンドウの切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒	
実行例	送 @GFT  受 @GFT,400,350,350,350 	映像入力チャンネルの切り換え時間を取得。 WINDOW1 は 400ms(0.4 秒)、その他のウィンドウは 350ms(0.35 秒)。
関連項目	7.8.6 映像入力チャンネル切り換え時間	

@SWC	ワイプカラー設定	
コマンド書式	@SWC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> 	
返り値書式	@SWC, <i>ch</i> , <i>red</i> , <i>green</i> , <i>blue</i> 	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>red</i> : ワイプカラー(赤) <i>green</i> : ワイプカラー(緑) <i>blue</i> : ワイプカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @SWC,1,255,255,255  受 @SWC,1,255,255,255 	ワイプカラーを RGB とともに 255(白)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.7 ワイプカラー	
注意事項	@SFF 映像入力チャンネル切り換え効果設定(P.64)を 3~6(ワイプ切り換え)に設定し、@SSE 合成/シームレス動作設定を 1 (シームレス動作) に設定した場合のみ有効に機能します。	

<b>@GWC</b>	<b>ワイプカラー取得</b>	
コマンド書式	@GWC, <i>ch</i> [ ]	
返り値書式	@GWC, <i>ch, red, green, blue</i> [ ]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>red</i> : ワイプカラー(赤) <i>green</i> : ワイプカラー(緑) <i>blue</i> : ワイプカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 0	
実行例	送 @GWC,1 [ ]	ワイプカラーを取得。
	受 @GWC,1,255,255,255 [ ]	RGB とともに 255(白)。
関連項目	7.8.7 ワイプカラー	

<b>@SWS</b>	<b>パターン切り換え効果設定</b>	
コマンド書式	@SWS, <i>switching</i> [ ]	
返り値書式	@SWS, <i>switching</i> [ ]	
パラメータ	<i>switching</i> : パターン切り換え効果 0 = フェードアウト/フェードイン ※初期値, 1 = カット	
実行例	送 @SWS,1 [ ]	パターン切り換え効果をカットに設定する。
	受 @SWS,1 [ ]	正常終了。
関連項目	7.8.8 パターン切り換え効果	

<b>@GWS</b>	<b>パターン切り換え効果取得</b>	
コマンド書式	@GWS [ ]	
返り値書式	@GWS, <i>switching</i> [ ]	
パラメータ	<i>switching</i> : パターン切り換え効果 0 = フェードアウト/フェードイン ※初期値, 1 = カット	
実行例	送 @GWS [ ]	パターン切り換え効果を取得。
	受 @GWS,1 [ ]	パターン切り換え効果はカット。
関連項目	7.8.8 パターン切り換え効果	

<b>@SWT</b>	<b>パターン切り換え時間設定</b>	
コマンド書式	@SWT, <i>time</i> [ ]	
返り値書式	@SWT, <i>time</i> [ ]	
パラメータ	<i>time</i> : パターン切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒 10ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。(例えば 395 と指定すると、390ms(0.39 秒)に設定されます)	
実行例	送 @SWT,1000 [ ]	パターン切り換え時間を 1000ms(1 秒)に設定する。
	受 @SWT,1000 [ ]	正常終了。
関連項目	7.8.9 パターン切り換え時間	

@GWT	パターン切り換え時間取得	
コマンド書式	@GWT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GWT, time <input type="checkbox"/>	
パラメータ	time : パターン切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒	
実行例	送 @GWT <input type="checkbox"/> 受 @GWT,1000 <input type="checkbox"/>	パターン切り換え時間設定を取得する。 パターン切り換え時間は 1000ms(1 秒)。
関連項目	7.8.9 パターン切り換え時間	

@SEN	HDCP 出力設定	
コマンド書式	@SEN, ch, hdcpc <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SEN, ch, hdcpc <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- hdcpc : HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力, 1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値, 2 = HDCP の認証を行わない	
実行例	送 @SEN,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SEN,1,1 <input type="checkbox"/>	常時 HDCP を出力する。 正常終了。
関連項目	7.8.10 HDCP 出力	

@GEN	HDCP 出力取得	
コマンド書式	@GEN <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GEN, out <input type="checkbox"/>	
パラメータ	out : HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力, 1 = 常時 HDCP 出力 ※初期値, 2 = HDCP の認証を行わない	
実行例	送 @GEN <input type="checkbox"/> 受 @GEN,1 <input type="checkbox"/>	HDCP 出力を取得。 常時 HDCP を出力する。
関連項目	7.8.10 HDCP 出力	

@SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数設定	
コマンド書式	@SHR, ch, retry <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SHR, ch, retry <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- retry : リトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う	
実行例	送 @SHR,1,10 <input type="checkbox"/> 受 @SHR,1,10 <input type="checkbox"/>	10 回までリトライする。 正常終了。
関連項目	7.8.11 HDCP 認証エラー時のリトライ回数	

@GHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数取得	
コマンド書式	@GHR <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GHR, out <input type="checkbox"/>	
パラメータ	out : リトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライを行う	
実行例	送 @GHR <input type="checkbox"/> 受 @GHR,-1 <input type="checkbox"/>	HDCP 認証エラー時のリトライ回数を取得。 成功するまでリトライする。
関連項目	7.8.11 HDCP 認証エラー時のリトライ回数	

@SDC	Deep Color 出力設定	
コマンド書式	@SDC, ch, color <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SDC, ch, color <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 color : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDC,1,0 <input type="checkbox"/> 受 @SDC,1,0 <input type="checkbox"/>	24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.12 Deep Color 出力	

@GDC	Deep Color 出力取得	
コマンド書式	@GDC <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDC, out <input type="checkbox"/>	
パラメータ	out : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDC <input type="checkbox"/> 受 @GDC,1 <input type="checkbox"/>	出力されている色深度を取得。 30-BIT COLOR。
関連項目	7.8.12 Deep Color 出力	

@SCE	CEC 接続設定	
コマンド書式	@SCE, ch, connect <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCE, ch, connect <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 connect : CEC の接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2, 4 = 入力チャンネル 3, 5 = 入力チャンネル 4, 6 = 入力チャンネル 5	
実行例	送 @SCE,1,4 <input type="checkbox"/> 受 @SCE,1,4 <input type="checkbox"/>	CEC は入力チャンネル 3 と接続する。 正常終了。
関連項目	7.8.13 CEC 接続	

@GCE	CEC 接続取得	
コマンド書式	@GCE [↵]	
返り値書式	@GCE, out [↵]	
パラメータ	out : CEC の接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2, 4 = 入力チャンネル 3, 5 = 入力チャンネル 4, 6 = 入力チャンネル 5	
実行例	送 @GCE [↵] 受 @GCE,4 [↵]	CEC の接続を取得。 入力チャンネル 3 と接続する。
関連項目	7.8.13 CEC 接続	

@HAU	HDCP 再認証	
コマンド書式	@HAU, ch [↵]	
返り値書式	@HAU, ch [↵]	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。	
実行例	送 @HAU,1 [↵] 受 @HAU,1 [↵]	接続された表示機器の HDCP の再認証を実行します。 正常終了。
関連項目	7.8.14 HDCP 再認証	

@SSE	合成/シームレス動作設定	
コマンド書式	@SSE, mode [↵]	
返り値書式	@SSE, mode [↵]	
パラメータ	mode : 合成/シームレス動作 0 = 4画面合成動作 ※初期値, 1 = シームレススイッチャ動作	
実行例	送 @SSE,1 [↵] 受 @SSE,1 [↵]	シームレススイッチャ動作に設定する。 正常終了。
関連項目	7.8.15 4 画面合成/シームレス動作	

@GSE	合成/シームレス動作取得	
コマンド書式	@GSE [↵]	
返り値書式	@GSE, mode [↵]	
パラメータ	mode : 合成/シームレス動作 0 = 4画面合成動作 ※初期値, 1 = シームレススイッチャ動作	
実行例	送 @GSE [↵] 受 @GSE,1 [↵]	合成/シームレス動作を取得。 シームレススイッチャ動作。
関連項目	7.8.15 4 画面合成/シームレス動作	

## 3.3.10 音声設定

@SSL	音声出力レベル設定	
コマンド書式	@SSL, <i>ch</i> , <i>level</i> [↵]	
返り値書式	@SSL, <i>ch</i> , <i>level</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>level</i> : 音声出力レベル -60 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送   @SSL,1,-4 [↵] 受   @SSL,1,-4 [↵]	音声出力レベルを-4dB に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.1 音声出力レベル	
注意事項	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GSL	音声出力レベル取得	
コマンド書式	@GSL [↵]	
返り値書式	@GSL, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 音声出力レベル -60 ~ +10 ※初期値 ±0	
実行例	送   @GSL [↵] 受   @GSL,-4 [↵]	音声出力レベルを取得。 音声出力レベルは-4dB。
関連項目	7.9.1 音声出力レベル	

@SOL	音声出力レベル 相対値設定	
コマンド書式	@SOL, <i>ch</i> , <i>updown</i> [↵]	
返り値書式	@SOL, <i>ch</i> , <i>updown</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>updown</i> : 相対設定 -70 ~ +70 現在の音声出力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声出力レベルがリミット値(-60~+10)を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	送   @SOL,1,-1 [↵] 受   @SOL,1,-1 [↵]	音声出力レベルを 1dB 下げる。 正常終了。
関連項目	7.9.1 音声出力レベル	
注意事項	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GOL	音声出力レベル リミット状態取得	
コマンド書式	@GOL [↵]	
返り値書式	@GOL, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 音声出力レベルのリミット状態 -1 = 最小設定値(-60dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値(+10dB)	
実行例	送   @GOL [↵] 受   @GOL,1 [↵]	音声出力レベルのリミット状態を取得。 音声出力レベルは最大設定値。
関連項目	7.9.1 音声出力レベル	

@SAM	音声出力ミュート設定	
コマンド書式	@SAM, ch, mute <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAM, ch, mute <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- mute : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送   @SAM,1,1 <input type="checkbox"/>	音声出力をミュートする。
	受   @SAM,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.9.2 音声出力ミュート	

@GAM	音声出力ミュート取得	
コマンド書式	@GAM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAM, out <input type="checkbox"/>	
パラメータ	out : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON	
実行例	送   @GAM <input type="checkbox"/>	音声出力ミュートを取得。
	受   @GAM,1 <input type="checkbox"/>	ミュート ON。
関連項目	7.9.2 音声出力ミュート	

@SAS	音声入力選択設定	
コマンド書式	@SAS, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAS, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 ----- select_1-5 : 音声入力選択 0 = 自動 ※初期値, 1 = アナログ音声, 2 = デジタル音声	
実行例	送   @SAS,3,1 <input type="checkbox"/>	IN3の音声入力をアナログ音声に設定する。
	受   @SAS,3,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.9.3 音声入力選択	

@GAS	音声入力選択取得	
コマンド書式	@GAS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAS, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in_1-5 : 各入力チャンネルの音声入力選択 0 = 自動 ※初期値, 1 = アナログ音声, 2 = デジタル音声	
実行例	送   @GAS <input type="checkbox"/>	音声入力選択を取得。
	受   @GAS,1,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	IN1 はアナログ音声を使用し、その他の入力は自動に設定。
関連項目	7.9.3 音声入力選択	

<b>@GSD</b>	<b>実際の音声入力選択取得</b>	
コマンド書式	@GSD [ ]	
返り値書式	@GSD, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 [ ]	
パラメータ	in_1-5 : 各入力チャンネルの実際の音声入力選択 1 = アナログ音声 ※初期値, 2 = デジタル音声	
実行例	送 @GSD [ ] 受 @GSD,1,2,2,2,2 [ ]	実際の音声入力選択を取得。 IN1 はアナログ音声、その他の入力はデジタル音声 が有効。
関連項目	7.9.3 音声入力選択	

<b>@SSO</b>	<b>音声入力レベル設定</b>	
コマンド書式	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2...) [ ]	
返り値書式	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- level_1-9 : 音声入力レベル -60 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @SSO,5,-8 [ ] 受 @SSO,5,-8 [ ]	IN5 の音声入力レベルを-8dB に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.4 音声入力レベル	

<b>@GSO</b>	<b>音声入力レベル取得</b>	
コマンド書式	@GSO [ ]	
返り値書式	@GSO, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [ ]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの音声入力レベル -60 ~ ±0 ※初期値 ±0	
実行例	送 @GSO [ ] 受 @GSO,0,0,0,0,-4,0,0,0,0 [ ]	音声入力レベルを取得。 IN5 は-4dB、その他の入力は±0dB。
関連項目	7.9.4 音声入力レベル	

<b>@SIL</b>	<b>音声入力レベル 相対値設定</b>	
コマンド書式	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2...) [ ]	
返り値書式	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- updown_1-9 : 相対設定 -60 ~ +60 現在の音声入力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声入 力レベルがリミット値(-60~±0)を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	送 @SIL,1,-1 [ ] 受 @SIL,1,-1 [ ]	IN1 の音声入力レベルを 1dB 下げる。 正常終了。
関連項目	7.9.4 音声入力レベル	

<b>@GIL</b>	<b>音声入力レベル リミット状態取得</b>	
コマンド書式	@GIL [ ]	
返り値書式	@GIL, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [ ]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルの音声入力レベルのリミット状態 -1 = 最小設定値(-60dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値(±0dB)	
実行例	送 @GIL [ ] 受 @GIL,1,0,0,0,0,0,0,0,0 [ ]	音声入力レベルのリミット状態を取得。 IN1 は最大設定値、その他の入力はリミットではない。
関連項目	7.9.4 音声入力レベル	

<b>@SLO</b>	<b>出力リップシンク設定</b>	
コマンド書式	@SLO, ch, frame [ ]	
返り値書式	@SLO, ch, frame [ ]	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- frame : リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @SLO,1,2 [ ] 受 @SLO,1,2 [ ]	リップシンクを2フレームに設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.5 出力リップシンク	

<b>@GLO</b>	<b>出力リップシンク取得</b>	
コマンド書式	@GLO [ ]	
返り値書式	@GLO, out [ ]	
パラメータ	out : リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @GLO [ ] 受 @GLO,2 [ ]	出力のリップシンクを取得。 出力のリップシンクは2フレーム。
関連項目	7.9.5 出力リップシンク	

<b>@SLY</b>	<b>入力リップシンク設定</b>	
コマンド書式	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
返り値書式	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [ ]	
パラメータ	ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- frame_1-9 : リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @SLY,4,2 [ ] 受 @SLY,4,2 [ ]	IN4 のリップシンクを2フレームに設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.6 入力リップシンク	

<b>@GLY</b>	<b>入力リップシンク取得</b>	
コマンド書式	@GLY [ ]	
返り値書式	@GLY, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 [ ]	
パラメータ	in_1-9 : 各入力チャンネルのリップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
実行例	送 @GLY [ ] 受 @GLY,0,0,0,2,0,0,0,0,0 [ ]	リップシンクを取得。 IN4 は 2 フレーム、その他の入力 は 0 フレーム。
関連項目	7.9.6 入力リップシンク	

<b>@SSF</b>	<b>アナログ音声入力のサンプリング周波数設定</b>	
コマンド書式	@SSF, ch, frequency [ ]	
返り値書式	@SSF, ch, frequency [ ]	
パラメータ	ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- frequency : サンプリング周波数 0 = AUTO ※初期値, 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @SSF,1,3 [ ] 受 @SSF,1,3 [ ]	サンプリング周波数を 48kHz に設定する。 正常終了。
関連項目	7.9.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

<b>@GSF</b>	<b>アナログ音声入力のサンプリング周波数取得</b>	
コマンド書式	@GSF [ ]	
返り値書式	@GSF, out [ ]	
パラメータ	out : サンプリング周波数 0 = AUTO ※初期値, 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @GSF [ ] 受 @GSF,3 [ ]	サンプリング周波数を取得。 サンプリング周波数は 48kHz。
関連項目	7.9.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

<b>@GFD</b>	<b>アナログ音声入力の実際のサンプリング周波数取得</b>	
コマンド書式	@GFD [ ]	
返り値書式	@GFD, out [ ]	
パラメータ	out : 実際のサンプリング周波数 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz ※初期値, 4 = 96kHz, 5 = 192kHz	
実行例	送 @GFD [ ] 受 @GFD,2 [ ]	実際のサンプリング周波数を取得。 実際のサンプリング周波数は 44.1kHz で出力している。
関連項目	7.9.7 アナログ音声入力のサンプリング周波数	

@SDO	音声出力コネクタ設定	
コマンド書式	@SDO, <i>ch</i> , <i>out</i> [↵]	
返り値書式	@SDO, <i>ch</i> , <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>out</i> : 音声出力コネクタ 0 = アナログ音声出力コネクタのみ出力, 1 = HDMI 出力コネクタのみ出力, 2 = アナログ音声出力コネクタおよび HDMI 出力コネクタに出力 ※初期値	
実行例	送 @SDO,1,0[↵] 受 @SDO,1,0[↵]	アナログ音声出力コネクタのみ音声を出力する。 正常終了。
関連項目	7.9.8 音声出力コネクタ	

@GDO	音声出力コネクタ取得	
コマンド書式	@GDO [↵]	
返り値書式	@GDO, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : 音声出力コネクタ 0 = アナログ音声出力コネクタのみ出力, 1 = HDMI 出力コネクタのみ出力, 2 = アナログ音声出力コネクタおよび HDMI 出力コネクタに出力 ※初期値	
実行例	送 @GDO[↵] 受 @GDO,2[↵]	音声を出力するコネクタを取得。 両方に音声を出力する。
関連項目	7.9.8 音声出力コネクタ	

@SAT	テストトーン設定	
コマンド書式	@SAT, <i>ch</i> , <i>tone</i> [↵]	
返り値書式	@SAT, <i>ch</i> , <i>tone</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>tone</i> : テストトーン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 1kHz, 2 = 400Hz	
実行例	送 @SAT,1,1[↵] 受 @SAT,1,1[↵]	1kHz のテストトーンを出力する。 正常終了。
関連項目	7.9.9 テストトーン	

@GAT	テストトーン取得	
コマンド書式	@GAT [↵]	
返り値書式	@GAT, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : テストトーン 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 1kHz, 2 = 400Hz	
実行例	送 @GAT[↵] 受 @GAT,2[↵]	テストトーンの出力設定を取得する。 400Hz のテストトーンを出力している。
関連項目	7.9.9 テストトーン	

## 3.3.11 EDID 設定

@SED	EDID データ設定		
コマンド書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ···) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>ch_1-5</i> : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 <hr/> <i>edid_1-5</i> : EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = HDMI 出力端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8 ※ ※ @RME EDID データのコピー (P. 79) であらかじめ表示機器から EDID データを読み取っておく必要があります。		
実行例	送	@SED,2,1 <input type="checkbox"/>	IN2 を表示機器から読み取った EDID に設定する。
	受	@SED,2,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.10.1 EDID データ		

@GED	EDID データ取得		
コマンド書式	@GED <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GED, <i>in_1</i> , <i>in_2</i> , <i>in_3</i> , <i>in_4</i> , <i>in_5</i> <input type="checkbox"/>		
パラメータ	<i>in_1-5</i> : 各入力チャンネルの EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = HDMI 出力端子に接続された表示機器から読み取った EDID, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8		
実行例	送	@GED <input type="checkbox"/>	EDID データを取得。
	受	@GED,0,0,0,1,0 <input type="checkbox"/>	IN4 は表示機器から読み取った EDID、その他の入力は内蔵 EDID。
関連項目	7.10.1 EDID データ		

@SVF	EDID パソコン用解像度設定	
コマンド書式	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>ch_1-9 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 9 = IN9</p> <hr/> <p>resolution_1-9 : 解像度 0 = SVGA(800x600), 1 = XGA(1024x768), 2 = 720p(1280x720), 3 = WXGA(1280x768), 4 = WXGA(1280x800), 5 = Quad-VGA(1280x960), 6 = SXGA(1280x1024), 7 = WXGA(1360x768), 8 = WXGA(1366x768), 9 = SXGA+(1400x1050), 10 = WXGA+(1440x900), 11 = WXGA++(1600x900), 12 = UXGA(1600x1200), 13 = WSXGA+(1680x1050), 14 = 1080i(1920x1080), 15 = 1080p(1920x1080), 16 = WUXGA(1920x1200), 17 = QWXGA(2048x1152) ※初期値 1080p(1920x1080)</p>	
実行例	送 @SVF,0,12 <input type="checkbox"/> 受 @SVF,0,12 <input type="checkbox"/>	全入力チャンネルの EDID を UXGA(1600x1200) に設定する。 正常終了。
関連項目	7.10.2 パソコン用入力解像度	

@GVF	EDID パソコン用解像度取得	
コマンド書式	@GVF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GVF, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8, in_9 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>in_1-9 : 各入力チャンネルの解像度 0 = SVGA(800x600), 1 = XGA(1024x768), 2 = 720p(1280x720), 3 = WXGA(1280x768), 4 = WXGA(1280x800), 5 = Quad-VGA(1280x960), 6 = SXGA(1280x1024), 7 = WXGA(1360x768), 8 = WXGA(1366x768), 9 = SXGA+(1400x1050), 10 = WXGA+(1440x900), 11 = WXGA++(1600x900), 12 = UXGA(1600x1200), 13 = WSXGA+(1680x1050), 14 = 1080i(1920x1080), 15 = 1080p(1920x1080), 16 = WUXGA(1920x1200), 17 = QWXGA(2048x1152) ※初期値 1080p(1920x1080)</p>	
実行例	送 @GVF <input type="checkbox"/> 受 @GVF,6,6,9,6,6,6,6,6,6 <input type="checkbox"/>	パソコン用の解像度を取得。 IN3 は SXGA+(1400x1050)、その他の入力は SXGA(1280x1024)。
関連項目	7.10.2 パソコン用入力解像度	

@SHF	EDID AV 機器用解像度設定	
コマンド書式	@SHF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2...) [↵]	
返り値書式	@SHF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 ----- resolution_1-5 : 解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @SHF,0,4[↵] 受 @SHF,0,4[↵]	全入力チャンネルの EDID を 1080p に設定する。 正常終了。
関連項目	7.10.3 AV 機器用入力解像度	

@GHF	EDID AV 機器用解像度取得	
コマンド書式	@GHF [↵]	
返り値書式	@GHF, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 [↵]	
パラメータ	in_1-5 : 各入力チャンネルの解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
実行例	送 @GHF[↵] 受 @GHF,5,5,5,4,5[↵]	AV 機器用の解像度を取得。 IN4 は 1080p、その他の入力 は AUTO。
関連項目	7.10.3 AV 機器用入力解像度	

@SDI	Deep Color 入力設定	
コマンド書式	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2...) [↵]	
返り値書式	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 ----- color_1-5 : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDI,4,0[↵] 受 @SDI,4,0[↵]	IN4 の色深度を 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	7.10.4 DeepColor 入力	

@GDI	Deep Color 入力取得	
コマンド書式	@GDI [↵]	
返り値書式	@GDI, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 [↵]	
パラメータ	in_1-5 : 各入力チャンネルの色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDI[↵] 受 @GDI,1,1,1,0,1[↵]	色深度を取得。 IN4 は 24-BIT COLOR、その他の入力 は 30-BIT COLOR。
関連項目	7.10.4 DeepColor 入力	

@SAF	音声フォーマット設定	
コマンド書式	@SAF, <i>ch_1, frequency_1</i> (, <i>ch_2, frequency_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SAF, <i>ch_1, frequency_1</i> (, <i>ch_2, frequency_2</i> ····) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>ch_1-5</i> : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 ----- <i>frequency_1-5</i> : サンプル周波数 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz ※初期値, 4 = 88.2kHz, 5 = 96kHz, 6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz	
実行例	送 @SAF,1,7 <input type="checkbox"/> 受 @SAF,1,7 <input type="checkbox"/>	IN1 は 192kHz までの音声を出力許可する。 正常終了。
関連項目	7.10.5 音声フォーマット	

@GAF	音声フォーマット取得	
コマンド書式	@GAF <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAF, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in_1-5</i> : 各入力チャンネルのサンプル周波数 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz ※初期値, 4 = 88.2kHz, 5 = 96kHz, 6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz	
実行例	送 @GAF <input type="checkbox"/> 受 @GAF,7,1,1,1,1 <input type="checkbox"/>	音声フォーマットを取得。 IN1 は 192kHz まで、それ以外の入力は 32kHz までの音声出力が許可されている。
関連項目	7.10.5 音声フォーマット	

@RME	EDID データのコピー	
コマンド書式	@RME, <i>out, number</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@RME, <i>out, number</i> (, <i>name</i> ) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>out</i> : 読み取り端子 読み取り端子には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>number</i> : 保存先の COPY DATA 番号 1 ~ 8 ----- <i>name</i> : COPY DATA 名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで COPY DATA 名は省略可能で、省略した場合は現在保存されている名前を変更せずに EDID の設定のみ保存します。	
実行例	送 @RME,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @RME,1,1 <input type="checkbox"/> 送 @RME,1,4,800x600 <input type="checkbox"/> 受 @RME,1,4,800x600 <input type="checkbox"/>	接続されている標示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。 正常終了。 接続されている表示機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 4 に「800x600」という名前を付けて保存する。 正常終了。
関連項目	7.10.6 EDID データのコピー	

## 3.3.12 シリアルコネクタ設定

@SCT	シリアル通信コネクタ 通信設定	
コマンド書式	@SCT, port, setting <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCT, port, setting <input type="checkbox"/>	
パラメータ	port : シリアル通信コネクタ 0 = 全コネクタ, 1 = RS-232C CH1 コネクタ, 2 = RS-232C CH2 コネクタ ----- setting : 通信設定 ・通信速度 (4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 ) ・データ長 (8, 7[bit] ※初期値 : 8 ) ・パリティ (なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし ) ・ストップビット (1, 2[bit] ※初期値 : 1 ) 設定値は表 3.3.12a をご覧ください。	
実行例	送 @SCT,1,24 <input type="checkbox"/> 受 @SCT,1,24 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 コネクタを、通信速度=19200[bps]、データ長=8[bit]、パリティ=なし、ストップビット=1[bit]に設定する。正常終了。
関連項目	7.11.1 シリアル通信コネクタ 通信設定	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GCT	シリアル通信コネクタ 通信設定取得	
コマンド書式	@GCT <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCT, rs_232c_1, rs_232c_2 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	rs_232c_1 : RS-232C CH1 コネクタ 通信設定 rs_232c_2 : RS-232C CH2 コネクタ 通信設定 ・通信速度 (4800, 9600, 19200, 38400[bps] ※初期値 : 9600 ) ・データ長 (8, 7[bit] ※初期値 : 8 ) ・パリティ (なし, 偶数, 奇数 ※初期値 : なし ) ・ストップビット (1, 2[bit] ※初期値 : 1 ) 設定値は表 3.3.12a をご覧ください。	
実行例	送 @GCT <input type="checkbox"/> 受 @GCT,24,24 <input type="checkbox"/>	シリアルコネクタの通信設定を取得する。 RS-232C CH1 コネクタ、CH2 コネクタともに通信速度=19200[bps]、データ長=8[bit]、パリティ=なし、ストップビット=1[bit]。
関連項目	7.11.1 シリアル通信コネクタ 通信設定	

[表 3.3.12a] シリアル通信設定パラメータ

値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定			
0	4800	8	なし	1	12	9600	8	なし	1	24	19200	8	なし	1	36	38400	8	なし	1
1	4800	8	なし	2	13	9600	8	なし	2	25	19200	8	なし	2	37	38400	8	なし	2
2	4800	8	奇数	1	14	9600	8	奇数	1	26	19200	8	奇数	1	38	38400	8	奇数	1
3	4800	8	奇数	2	15	9600	8	奇数	2	27	19200	8	奇数	2	39	38400	8	奇数	2
4	4800	8	偶数	1	16	9600	8	偶数	1	28	19200	8	偶数	1	40	38400	8	偶数	1
5	4800	8	偶数	2	17	9600	8	偶数	2	29	19200	8	偶数	2	41	38400	8	偶数	2
6	4800	7	なし	1	18	9600	7	なし	1	30	19200	7	なし	1	42	38400	7	なし	1
7	4800	7	なし	2	19	9600	7	なし	2	31	19200	7	なし	2	43	38400	7	なし	2
8	4800	7	奇数	1	20	9600	7	奇数	1	32	19200	7	奇数	1	44	38400	7	奇数	1
9	4800	7	奇数	2	21	9600	7	奇数	2	33	19200	7	奇数	2	45	38400	7	奇数	2
10	4800	7	偶数	1	22	9600	7	偶数	1	34	19200	7	偶数	1	46	38400	7	偶数	1
11	4800	7	偶数	2	23	9600	7	偶数	2	35	19200	7	偶数	2	47	38400	7	偶数	2

@SCF	シリアル通信コネクタ 動作モード設定		
コマンド書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@SCF, port, mode <input type="checkbox"/>		
パラメータ	port : シリアル通信コネクタ 0 = 全コネクタ, 1 = RS-232C CH1 コネクタ, 2 = RS-232C CH2 コネクタ mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード		
実行例	送 @SCF,1,1 <input type="checkbox"/> 受 @SCF,1,1 <input type="checkbox"/>	RS-232C CH1 コネクタを送信モードに設定する。 正常終了。	
関連項目	7.11.2 シリアル通信コネクタ 動作モード		
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。		

@GCF	シリアル通信コネクタ 動作モード取得		
コマンド書式	@GCF <input type="checkbox"/>		
返り値書式	@GCF, rs_232c_1, rs_232c_2 <input type="checkbox"/>		
パラメータ	rs_232c_1 : RS-232C CH1 コネクタ 動作モード rs_232c_2 : RS-232C CH2 コネクタ 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード		
実行例	送 @GCF <input type="checkbox"/> 受 @GCF,1,0 <input type="checkbox"/>	シリアル通信コネクタの動作モードを取得する。 RS-232C CH1 コネクタは送信モード、RS-232C CH2 コネクタは受信モード。	
関連項目	7.11.2 シリアル通信コネクタ 動作モード		

## 3.3.13 LAN 設定

@SIP	IP アドレス設定	
コマンド書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
返り値書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @SIP,192,168,3,2 ↵ 受 @SIP,192,168,3,2 ↵	本機の IP アドレスを 192.168.3.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.12.1 IP アドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GIP	IP アドレス取得	
コマンド書式	@GIP ↵	
返り値書式	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.199	
実行例	送 @GIP ↵ 受 @GIP,192,168,3,2 ↵	本機の IP アドレスを取得する。 IP アドレスは 192.168.3.2。
関連項目	7.12.1 IP アドレス	

@SSB	サブネットマスク設定	
コマンド書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
返り値書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @SSB,255,255,192,0 ↵ 受 @SSB,255,255,192,0 ↵ 送 @SSB,255,0,0,128 ↵ 受 @ERR,1 ↵	サブネットマスクを 255.255.192.0(=18bit)に設定する。 正常終了。 サブネットマスクとして不正な値を指定するとエラーが返されます。
関連項目	7.12.2 サブネットマスク	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GSB	サブネットマスク取得	
コマンド書式	@GSB ↵	
返り値書式	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 ↵	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 255.255.255.000	
実行例	送 @GSB ↵ 受 @GSB,255,255,192,0 ↵	サブネットマスクを取得。 サブネットマスクは 255.255.192.0(=18bit)。
関連項目	7.12.2 サブネットマスク	

@SGW	ゲートウェイアドレス設定	
コマンド書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
返り値書式	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.200	
実行例	送 @SGW,192,168,1,254[↵] 受 @SGW,192,168,1,254[↵]	ゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.12.3 ゲートウェイアドレス	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GGW	ゲートウェイアドレス取得	
コマンド書式	@GGW [↵]	
返り値書式	@GGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.200	
実行例	送 @GGW[↵] 受 @GGW,192,168,1,254[↵]	ゲートウェイアドレスを取得。 ゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
関連項目	7.12.3 ゲートウェイアドレス	

@SLF	LAN 動作モード設定	
コマンド書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>connection : コネクション番号 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8</p> <p>mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード</p> <p>ip_1 : 接続先 IP アドレス上位 ~ ip_4 : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.198 mode に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p> <p>pjlink : PJLink プロトコルでの接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する mode に送信モードを指定した場合のみ、設定します。</p> <p>tcp : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 mode に送信モードを指定し、かつ、pjlink に使用しないを指定した場合のみ設定 します。</p> <p>password : パスワード ASCII コード(P.10)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大 32 文字まで mode に送信モードを指定し、かつ pjlink に使用するを指定した場合のみ、設定し ます。 PJLink プロトコルで接続する際にパスワードによる認証を行わない場合は、省略 可能です。</p>	
実行例	送 @SLF,1,0 <input type="checkbox"/>	コネクション 1 の動作モード=受信モードに設定 する。
	受 @SLF,1,0 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送 @SLF,2,1,192,168,1,1,0, 1300 <input type="checkbox"/>	コネクション 2 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接 続先ポート番号=1300 に設定する。
	受 @SLF,2,1,192,168,1,1,0, 1300 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送 @SLF,3,1,192,168,1,2,1 ,PROJECTOR1 <input type="checkbox"/>	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パス ワード=「PROJECTOR1」に設定する。
	受 @SLF,3,1,192,168,1,2,1 ,PROJECTOR1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
	送 @SLF,3,1,192,168,1,2,1 <input type="checkbox"/>	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パス ワード=認証を行なわないに設定する。
	受 @SLF,3,1,192,168,1,2,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.12.4 LAN 動作モード	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性 があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GLF	LAN 動作モード取得		
コマンド書式	@GLF, connection [↵]		
返り値書式	@GLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [↵]		
パラメータ	<p>connection : コネクション番号 1 = コネクション1 ~ 8 = コネクション8</p> <p>mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード</p> <p>ip_1 : 接続先 IP アドレス上位 ~ ip_4 : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット(10 進数表記) ※初期値 192.168.001.198 mode が送信モードの場合のみ、返信されます。</p> <p>pjlink : PJLink プロトコルでの接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する mode が送信モードの場合のみ、返信されます。</p> <p>tcp : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 mode が送信モードで、かつ pjlink を使用しない場合のみ、返信されます。</p> <p>password : パスワード ASCII コード(P.10)の、30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字)の中から最大 32 文字まで mode が送信モードで、かつ pjlink を使用し、パスワードが設定されている場合のみ 返信されます。</p>		
実行例	送	@GLF,1[↵]	コネクション1の動作モードを取得する。
	受	@GLF,1,0[↵]	動作モード=受信モード。
	送	@GLF,2[↵]	コネクション2の動作モードを取得する。
	受	@GLF,2,1,192,168,1,1,0,1300[↵]	動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.1, PJLink=使用しない, 接続先ポート番号=1300。
	送	@GLF,3[↵]	コネクション3の動作モードを取得する。
	受	@GLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1[↵]	動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」。
	送	@GLF,3[↵]	コネクション3の動作モードを取得する。
	受	@GLF,3,1,192,168,1,2,1[↵]	動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=未設定。
関連項目	7.12.4 LAN 動作モード		

@SLP	TCP ポート番号設定	
コマンド書式	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2···) ↵	
返り値書式	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2···) ↵	
パラメータ	connection_1-8 : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8 ----- port_1-8 : ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @SLP,8,6000↵ 受 @SLP,8,6000↵	コネクション 8 のポート番号を 6000 に設定する。 正常終了。
関連項目	7.12.5 TCP ポート番号	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

@GLP	TCP ポート番号取得	
コマンド書式	@GLP ↵	
返り値書式	@GLP, connection_1, connection_2, connection_3, connection_4, connection_5, connection_6, connection_7, connection_8 ↵	
パラメータ	connection_1-8 : 各コネクションのポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1~3 = 1100, コネクション 4~6 = 23, コネクション 7~8 = 80	
実行例	送 @GLP↵ 受 @GLP,1100,1100,1100,23, 23,23,80,80↵	ポート番号を取得。 コネクション 1~3 は 1100, コネクション 4~6 は 23, コネクション 7 および 8 は 80。
関連項目	7.12.5 TCP ポート番号	

@GMC	MAC アドレス取得	
コマンド書式	@GMC ↵	
返り値書式	@GMC, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 ↵	
パラメータ	unit_1 : MAC アドレス上位 ~ unit_6 : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット(16 進数表記)	
実行例	送 @GMC↵ 受 @GMC,00,08,E5,55,00,01↵	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスを返信。
関連項目	7.12.6 MAC アドレス表示	

## 3.3.14 制御コマンド送信機能

<b>@EXC</b>	<b>制御コマンドの実行</b>		
コマンド書式	@EXC, command_1 (, command_2...) [ ]		
返り値書式	@EXC, command_1 (, command_2...) [ ]		
パラメータ	command_1-5 : 制御コマンド A ~ I, a ~ i = 汎用コマンド (COMMAND A~I) 1 ~ 32 = 制御コマンド個別 (COMMAND 1~32)		
実行例	送	@EXC,A [ ]	実行条件 COMMAND A に関連付けされているコマンドを実行する。
	受	@EXC,A [ ]	正常終了。
	送	@EXC,1,2,3 [ ]	COMMAND 1→2→3 の順番に実行する。
	受	@EXC,1,2,3 [ ]	正常終了。
	送	@EXC,6 [ ]	COMMAND 6 を実行する。
受	@EXC,6,RECV: POWER OFF [ ]	受信データを表示するコマンドを実行した場合は、受信した結果が返されます。この例ではコマンドを送信した機器から「POWER OFF」と受信しています。	
送	@EXC,A [ ]	実行条件 COMMAND A に関連付けされているコマンドを実行する。	
受	@ERR,10,A [ ]	コマンドが異常終了した場合は、エラーステータスと実行した制御コマンドが返されます。(複数の制御コマンドを実行した場合は、複数のエラーが返されることがあります)	
関連項目	6.6 コマンド制御 7.13 制御コマンド送信機能		
注意事項	制御コマンドの実行が終了してから結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。		

@SEC	制御コマンド設定(通信コマンド制御)																								
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2···) 																								
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2···) 																								
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <hr/> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <hr/> <p>port : 出力コネクタ 1 ~ 2047</p> <table border="1" data-bbox="411 622 1385 763"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232 C CH2</td> <td>RS-232 C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットを 1 にします(bit15-bit11 は未使用なので常に 0 を指定します)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 0000000000000001)を指定し、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2 進数で 0000000000001100)を指定します。</p> <hr/> <p>memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <hr/> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <hr/> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <hr/> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <hr/> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <hr/> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <hr/> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <hr/> <p>display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 を指定します</p> <hr/> <p>recv_1-32 : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号を指定し、複数チェックする場合はカンマで 区切って最大 32 個まで指定可能 チェックする返信コマンド番号のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった返信コマンドについては自動的に全て「チェックしない」に設定されます。 返信コマンドは、@SRC 返信コマンド設定(P.98)で登録します。</p>		bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0														
出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1														

実行例	送	@SEC,1,10,3,POWER ,7,5057204F4E0D0A, 1000,2,500,0,0,1,2☒	制御コマンド番号 1 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 10ms ・出力コネクタ : RS-232C CH1 & RS-232C CH2 ・メモ : POWER ・データサイズ : 7 バイト ・コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード) ・タイムアウト : 1000ms ・リトライ回数 : 2 回 ・リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 停止する ・受信データ : 表示しない ・返信コマンド : 1 と 2 をチェックする
	受	@SEC,1,10,3,POWER ,7,5057204F4E0D0A, 1000,2,500,0,0,1,2☒	
	送	@SEC,2,0,1024, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310 D0A,0,0,0,1,0☒	制御コマンド番号 2 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・出力コネクタ : LOOP BACK ・メモ : IN1 SELECT ・データサイズ : 10 バイト ・コマンドデータ : @SSW,1,1CR LF (ASCII コード) ・タイムアウト : 0ms ・リトライ回数 : 0 回 ・リトライ間隔 : 0ms ・リトライオーバー : 継続する ・受信データ : 表示しない ・返信コマンド : チェックしない
	受	@SEC,2,0,1024, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310 D0A,0,0,0,1,0☒	
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集		

@GEC	制御コマンド取得(通信コマンド制御)																								
コマンド書式	@GEC, no [ ]																								
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, recv_1, recv_2...) [ ]																								
パラメータ	<p><i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p><i>delay</i> : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p><i>port</i> : 出力コネクタ 1 ~ 2047</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232 C CH2</td> <td>RS-232 C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit15-bit11 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 0000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2 進数で 0000000000001100)になります。</p> <p><i>memo</i> : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p><i>length</i> : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p><i>command</i> : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で <i>length</i>×2 桁</p> <p><i>timeout</i> : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p><i>retry</i> : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p><i>interval</i> : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p><i>retryover</i> : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p><i>display</i> : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 になります</p> <p><i>recv_1-32</i> : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32 = チェックする返信コマンド番号をカンマで区切って返信</p>		bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0														
出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1														

実行例	送	@GEC,1☒	制御コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 10ms</li> <li>・ 出力コネクタ : RS-232C CH1 &amp; RS-232C CH2</li> <li>・ メモ : POWER</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : PW ONCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 1000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 500ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : 表示しない</li> <li>・ 返信コマンド : 1 と 2 をチェックする</li> </ul>
	受	@GEC,1,10,3,POWE R,7,5057204F4E0D0A ,1000,2,500,0,0,1,2☒	
	送	@GEC,2☒	制御コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力コネクタ : LOOP BACK</li> <li>・ メモ : IN1 SELECT</li> <li>・ データサイズ : 10 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : @SSW,1,1CR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 0ms</li> <li>・ リトライ回数 : 0 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 0ms</li> <li>・ リトライオーバー : 継続する</li> <li>・ 受信データ : 表示しない</li> <li>・ 返信コマンド : チェックしない</li> </ul>
	受	@GEC,2,0,1024, IN1 SELECT,10, 405353572C312C310 D0A,0,0,0,1,0☒	
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集		

@SEC	制御コマンド設定(受信データの表示)																								
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter 																								
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter 																								
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <hr/> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <hr/> <p>port : 出力コネクタ 1 ~ 2047</p> <table border="1" data-bbox="411 622 1382 763"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232C CH2</td> <td>RS-232C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットを 1 にします(bit15-bit11 は未使用なので常に 0 を指定します)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 0000000000000001)を指定し、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2 進数で 0000000000001100)を指定します。</p> <hr/> <p>memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <hr/> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <hr/> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <hr/> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <hr/> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <hr/> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <hr/> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <hr/> <p>display : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16 進数で表示する</p> <hr/> <p>delimiter : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で 2 桁を指定。100 = デリミタを監視しない</p>		bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C CH2	RS-232C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0														
出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C CH2	RS-232C CH1														

実行例	送	@SEC,3,0,512,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D	制御コマンド番号 3 に以下の内容で登録する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力コネクタ : LAN8</li> <li>・ メモ : POWER STATUS</li> <li>・ データサイズ : 9 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・ デリミタ : 0D=16 進数 (CR=ASCII コード)</li> </ul>
	受	@SEC,3,0,512,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D	
	送	@SEC,4,0,128,INPUT, 7,494E53454C0D0A,25 00,4,100,1,2,100	制御コマンド番号 4 に以下の内容で登録する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力コネクタ : LAN6</li> <li>・ メモ : INPUT</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : INSELCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2500ms</li> <li>・ リトライ回数 : 4 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 継続する</li> <li>・ 受信データ : 16 進数で表示する</li> <li>・ 返信コマンド : デリミタを監視しない</li> </ul>
	受	@SEC,4,0,128,INPUT, 7,494E53454C0D0A,25 00,4,100,1,2,100	
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集		

@GEC	制御コマンド取得(受信データの表示)																								
コマンド書式	@GEC, no [ ]																								
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter [ ]																								
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>delay : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p>port : 出力コネクタ 1 ~ 2047</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>bit10</th> <th>bit9</th> <th>bit8</th> <th>bit7</th> <th>bit6</th> <th>bit5</th> <th>bit4</th> <th>bit3</th> <th>bit2</th> <th>bit1</th> <th>bit0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力コネクタ</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232 C CH2</td> <td>RS-232 C CH1</td> </tr> </tbody> </table> <p>コマンドを送信する出力コネクタに該当するビットが 1 になります(bit15-bit11 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C CH1 にコマンドを送信する場合は 1(2 進数で 0000000000000001)になり、LAN1 と LAN2 にコマンドを送信する場合は 12(2 進数で 0000000000001100)になります。</p> <p>memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ(バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 ~ 99999</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 ~ 99999</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16 進数で表示する</p> <p>delimiter : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で 2 桁。 100 = デリミタを監視しない</p>		bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0	出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1
	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0														
出力コネクタ	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232 C CH2	RS-232 C CH1														

実行例	送	@GEC,3☒	制御コマンド番号 3 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力コネクタ : LAN8</li> <li>・ メモ : POWER STATUS</li> <li>・ データサイズ : 9 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : GET POWCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2000ms</li> <li>・ リトライ回数 : 2 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 200ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 停止する</li> <li>・ 受信データ : ASCII コードで表示する</li> <li>・ デリミタ : 0D=16 進数 (CR=ASCII コード)</li> </ul>
	受	@GEC,3,0,512,POWER STATUS,9,47455420504F570D0A,2000,2,200,0,1,0D☒	
	送	@GEC,4☒	制御コマンド番号 4 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅延時間 : 0ms</li> <li>・ 出力コネクタ : LAN6</li> <li>・ メモ : INPUT</li> <li>・ データサイズ : 7 バイト</li> <li>・ コマンドデータ : INSELCR LF (ASCII コード)</li> <li>・ タイムアウト : 2500ms</li> <li>・ リトライ回数 : 4 回</li> <li>・ リトライ間隔 : 100ms 間隔で再送信する</li> <li>・ リトライオーバー : 継続する</li> <li>・ 受信データ : 16 進数で表示する</li> <li>・ 返信コマンド : デリミタを監視しない</li> </ul>
	受	@GEC,4,0,128,INPUT,7,494E53454C0D0A,2500,4,100,1,2,100☒	
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集		

@SEC	制御コマンド設定(CEC制御)	
コマンド書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch, cec ☐	
返り値書式	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch, cec ☐	
パラメータ	<p><i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p><i>delay</i> : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p><i>port</i> : CEC 制御 4096 = CEC 制御の場合は、4096 を指定します</p> <p><i>memo</i> : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p><i>error</i> : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p><i>ch</i> : 出力 出力には必ず、1 を指定してください</p> <p><i>cec_1-4</i> : 制御コマンド 0 = 制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON</p>	
実行例	送 @SEC,7,0,4096,DISPLAY ON,0,1,2☐ 受 @SEC,7,0,4096,DISPLAY ON,0,1,2☐	制御コマンド番号 7 に以下の内容で登録する。 ・遅延時間 : 0ms ・CEC 制御 : あり ・メモ : DISPLAY ON ・エラー時 : 停止する ・接続された機器の電源を ON する
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集	

@GEC	制御コマンド取得(CEC制御)	
コマンド書式	@GEC, no [ ]	
返り値書式	@GEC, no, delay, port, memo, error, ch, cec [ ]	
パラメータ	<p><i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p><i>delay</i> : 遅延時間 0 ~ 999999</p> <p><i>port</i> : CEC 制御 4096 = CEC 制御の場合は、4096 を指定します</p> <p><i>memo</i> : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p> <p><i>error</i> : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p><i>ch</i> : 出力番号 出力は必ず 1</p> <p><i>cec_1-4</i> : 制御コマンド 0 = 制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON</p> <p>制御する出力の設定のみ送信します。</p>	
実行例	送 @GEC,7[ ] 受 @GEC,7,0,4096,DISPLAY ON,0,1,2[ ]	制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。 ・遅延時間 : 0ms ・CEC 制御 : あり ・メモ : DISPLAY ON ・エラー時 : 停止する ・接続された機器の電源を ON する
関連項目	7.13.1 制御コマンド 作成・編集	

@SRC	返信コマンド設定		
コマンド書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐		
返り値書式	@SRC, no, process, length, command, mask, memo ☐		
パラメータ	<p>no : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p>process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する</p> <p>length : 返信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <p>mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で length×2 桁を指定</p> <p>memo : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p>		
実行例	送	@SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF, OK☐	返信コマンド番号 1 に以下の内容で登録する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 継続する</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ: RECV OKCR LF (ASCII コード)</li> <li>・マスクデータ : 全て FF (全ビットチェック)</li> <li>・メモ : OK</li> </ul>
	受	@SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF, OK☐	
	送	@SRC,2,0,1,40,40,NG☐	返信コマンド番号 2 に以下の内容で登録する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 停止する</li> <li>・データサイズ : 1 バイト</li> <li>・コマンドデータ: 40 (16 進数)</li> <li>・マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目を チェック)</li> <li>・メモ : NG</li> </ul>
	受	@SRC,2,0,1,40,40,NG☐	
関連項目	7.13.2 返信コマンド 作成・編集		

@GRC	返信コマンド取得	
コマンド書式	@GRC, no [ ]	
返り値書式	@GRC, no, process, length, command, mask, memo [ ]	
パラメータ	<p><i>no</i> : 制御コマンド番号 1 ~ 32</p> <p><i>process</i> : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する</p> <p><i>length</i> : 返信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30</p> <p><i>command</i> : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で <i>length</i>×2 桁</p> <p><i>mask</i> : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁(16 進数表記)で <i>length</i>×2 桁</p> <p><i>memo</i> : メモ ASCII コード(P.10)の 20 ~ 7D で 2C(カンマ)以外の中から最大 14 文字まで</p>	
実行例	送	@GRC,1 [ ]
	受	@GRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF, OK [ ]
		返信コマンド番号 1 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 継続する</li> <li>・データサイズ : 9 バイト</li> <li>・コマンドデータ: RECV OKCR LF (ASCII コード)</li> <li>・マスクデータ : 全て FF (全ビットチェック)</li> <li>・メモ : OK</li> </ul>
	送	@GRC,2 [ ]
	受	@GRC,2,0,1,40,40,NG [ ]
		返信コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理判定 : 停止する</li> <li>・データサイズ : 1 バイト</li> <li>・コマンドデータ: 40 (16 進数)</li> <li>・マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目をチェック)</li> <li>・メモ : NG</li> </ul>
関連項目	7.13.2 返信コマンド 作成・編集	

@SCC	制御コマンド 関連付け設定		
コマンド書式	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) [ ]		
返り値書式	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) [ ]		
パラメータ	event : コマンド実行条件 設定値は表 3.3.14a(P.101)をご覧ください。		
	c_1-10 : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32 @SEC 制御コマンド設定(通信コマンド制御)(P.88)、@SEC 制御コマンド設定(受信データの表示)(P.92)、@SEC 制御コマンド設定(C E C 制御)(P.96)いずれかで登録した制御コマンドを関連付けます		
実行例	送	@SCC,19,5,2,1 [ ]	電源投入時に制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
	受	@SCC,19,5,2,1 [ ]	正常終了。
	送	@SCC,9,10,20 [ ]	COMMAND E の PLANE A は、制御コマンド 10、制御コマンド 20 の順で実行する。
	受	@SCC,9,10,20 [ ]	正常終了。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け		

@GCC	制御コマンド 関連付け取得		
コマンド書式	@GCC, event [ ]		
返り値書式	@GCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) [ ]		
パラメータ	event : コマンド実行条件 設定値は表 3.3.14a (P.101)をご覧ください。		
	c_1-10 : 送信コマンド順序 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1~32		
実行例	送	@GCC,19 [ ]	電源投入時に関連付けられている制御コマンドを取得。
	受	@GCC,19,5,2,1 [ ]	制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
	送	@GCC,9 [ ]	COMMAND E の PLANE A に関連付けられている制御コマンドを取得。
	受	@GCC,9,10,20 [ ]	制御コマンド 10、制御コマンド 20 の順で実行する。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け		

[表 3.3.14a] 制御コマンド実行条件パラメータ

no	実行条件	no	実行条件	no	実行条件
1	COMMAND A-PLANE A	32	AUDIO:WINDOW1-IN1	62	VIDEO:WINDOW4-IN1
2	COMMAND A-PLANE B	33	AUDIO:WINDOW1-IN2	63	VIDEO:WINDOW4-IN2
3	COMMAND B-PLANE A	34	AUDIO:WINDOW1-IN3	64	VIDEO:WINDOW4-IN3
4	COMMAND B-PLANE B	35	AUDIO:WINDOW1-IN4	65	VIDEO:WINDOW4-IN4
5	COMMAND C-PLANE A	36	AUDIO:WINDOW1-IN5	66	VIDEO:WINDOW4-IN5
6	COMMAND C-PLANE B	37	AUDIO:WINDOW1-IN6	67	VIDEO:WINDOW4-IN6
7	COMMAND D-PLANE A	38	AUDIO:WINDOW1-IN7	68	VIDEO:WINDOW4-IN7
8	COMMAND D-PLANE B	39	AUDIO:WINDOW1-IN8	69	VIDEO:WINDOW4-IN8
9	COMMAND E-PLANE A	40	AUDIO:WINDOW1-IN9	70	VIDEO:WINDOW4-IN9
10	COMMAND E-PLANE B	41	AUDIO:WINDOW1-OFF	71	VIDEO:WINDOW4-OFF
11	COMMAND F-PLANE A	42	VIDEO:WINDOW2-IN1	72	PATTERN 1
12	COMMAND F-PLANE B	43	VIDEO:WINDOW2-IN2	73	PATTERN 2
13	COMMAND G-PLANE A	44	VIDEO:WINDOW2-IN3	74	PATTERN 3
14	COMMAND G-PLANE B	45	VIDEO:WINDOW2-IN4	75	PATTERN 4
15	COMMAND H-PLANE A	46	VIDEO:WINDOW2-IN5	76	PATTERN 5
16	COMMAND H-PLANE B	47	VIDEO:WINDOW2-IN6	77	PATTERN 6
17	COMMAND I-PLANE A	48	VIDEO:WINDOW2-IN7	78	PATTERN 7
18	COMMAND I-PLANE B	49	VIDEO:WINDOW2-IN8	79	PATTERN 8
19	POWER ON	50	VIDEO:WINDOW2-IN9	80	PATTERN 9
20	DISPLAY POWER ON	51	VIDEO:WINDOW2-OFF	81	PATTERN 10
21	DISPLAY POWER OFF	52	VIDEO:WINDOW3-IN1	82	PATTERN 11
22	VIDEO:WINDOW1-IN1	53	VIDEO:WINDOW3-IN2	83	PATTERN 12
23	VIDEO:WINDOW1-IN2	54	VIDEO:WINDOW3-IN3	84	PATTERN 13
24	VIDEO:WINDOW1-IN3	55	VIDEO:WINDOW3-IN4	85	PATTERN 14
25	VIDEO:WINDOW1-IN4	56	VIDEO:WINDOW3-IN5	86	PATTERN 15
26	VIDEO:WINDOW1-IN5	57	VIDEO:WINDOW3-IN6	87	PATTERN 16
27	VIDEO:WINDOW1-IN6	58	VIDEO:WINDOW3-IN7	88	PATTERN 17
28	VIDEO:WINDOW1-IN7	59	VIDEO:WINDOW3-IN8	89	PATTERN 18
29	VIDEO:WINDOW1-IN8	60	VIDEO:WINDOW3-IN9	90	PATTERN 19
30	VIDEO:WINDOW1-IN9	61	VIDEO:WINDOW3-OFF	91	PATTERN 20
31	VIDEO:WINDOW1-OFF				

@STG	制御コマンド 関連付けのトグル動作設定	
コマンド書式	@STG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
返り値書式	@STG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I ----- toggle_1-9 : トグル動作 0 = トグル動作しない, 1 = トグル動作する	
実行例	送   @STG,1,1  受   @STG,1,1 	COMMAND A はトグル動作する。 正常終了。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け	

@GTG	制御コマンド 関連付けのトグル動作取得	
コマンド書式	@GTG, event_1 (, event_2···) 	
返り値書式	@GTG, event_1, toggle_1 (, event_2, toggle_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I ----- toggle_1-9 : トグル動作 0 = トグル動作しない, 1 = トグル動作する	
実行例	送   @GTG,1  受   @GTG,1,1 	COMMAND A のトグル動作を取得。 COMMAND A はトグル動作する。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け	

@SUP	制御コマンド 電源 ON 時実行面設定	
コマンド書式	@SUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2···) 	
返り値書式	@SUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2···) 	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 0 = 全制御コマンド, 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I ----- plane_1-9 : 電源 ON 時の実行面 0 = AUTO, 1 = PLANE A, 2 = PLANE B	
実行例	送   @SUP,1,1  受   @SUP,1,1 	COMMAND A は電源投入時に PLANE A を実行する。 正常終了。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け	

<b>@GUP</b>	<b>制御コマンド 電源 ON 時実行面取得</b>	
コマンド書式	@GUP, event_1 (, event_2···)	
返り値書式	@GUP, event_1, plane_1 (, event_2, plane_2···)	
パラメータ	event_1-9 : コマンド実行条件 1 = COMMAND A ~ 9 = COMMAND I ----- plane_1-9 : 電源 ON 時の実行面 0 = AUTO, 1 = PLANE A, 2 = PLANE B	
実行例	送 @GUP,1 受 @GUP,1,1	COMMAND A の電源投入時の実行面を取得。 COMMAND A は電源投入時に PLANE A を実行する。
関連項目	7.13.3 制御コマンド 関連付け	

<b>@SIT</b>	<b>制御コマンド実行時の操作無効時間設定</b>	
コマンド書式	@SIT, time	
返り値書式	@SIT, time	
パラメータ	time : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @SIT,2000 受 @SIT,2000	制御コマンド実行時の操作無効時間を 2000ms(2 秒)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.13.5 制御コマンド実行時の操作無効時間	

<b>@GIT</b>	<b>制御コマンド実行時の操作無効時間取得</b>	
コマンド書式	@GIT	
返り値書式	@GIT, time	
パラメータ	time : 操作無効時間 0 ~ 999999 ※初期値 0	
実行例	送 @GIT 受 @GIT,2000	制御コマンド実行時の操作無効時間を取得。 制御コマンド実行中または制御コマンド開始後 2000ms(2 秒)経過するまでは操作無効。
関連項目	7.13.5 制御コマンド実行時の操作無効時間	

<b>@DEC</b>	<b>登録したコマンドおよび関連付けの消去</b>	
コマンド書式	@DEC, no_1 (, no_2, no_3···)	
返り値書式	@DEC, no_1 (, no_2, no_3···)	
パラメータ	no_1-32 : 消去するコマンドまたは関連付け 1 ~ 32 = 制御コマンド 1 ~ 32 101 ~ 132 = 返信コマンド 1 ~ 32 201 ~ 291 = 関連付け 関連付けの設定値は表 3.3.14b(P.104)をご覧ください。	
実行例	送 @DEC,201 受 @DEC,201	COMMAND A-PLANE A の関連付けを消去する。 正常終了。
関連項目	7.13.6 登録したコマンドおよび関連付けの消去	

[表 3.3.14b] 制御コマンドの関連付け削除パラメータ

no	実行条件	no	実行条件	no	実行条件
201	COMMAND A-PLANE A	232	AUDIO:WINDOW1-IN1	262	VIDEO:WINDOW4-IN1
202	COMMAND A-PLANE B	233	AUDIO:WINDOW1-IN2	263	VIDEO:WINDOW4-IN2
203	COMMAND B-PLANE A	234	AUDIO:WINDOW1-IN3	264	VIDEO:WINDOW4-IN3
204	COMMAND B-PLANE B	235	AUDIO:WINDOW1-IN4	265	VIDEO:WINDOW4-IN4
205	COMMAND C-PLANE A	236	AUDIO:WINDOW1-IN5	266	VIDEO:WINDOW4-IN5
206	COMMAND C-PLANE B	237	AUDIO:WINDOW1-IN6	267	VIDEO:WINDOW4-IN6
207	COMMAND D-PLANE A	238	AUDIO:WINDOW1-IN7	268	VIDEO:WINDOW4-IN7
208	COMMAND D-PLANE B	239	AUDIO:WINDOW1-IN8	269	VIDEO:WINDOW4-IN8
209	COMMAND E-PLANE A	240	AUDIO:WINDOW1-IN9	270	VIDEO:WINDOW4-IN9
210	COMMAND E-PLANE B	241	AUDIO:WINDOW1-OFF	271	VIDEO:WINDOW4-OFF
211	COMMAND F-PLANE A	242	VIDEO:WINDOW2-IN1	272	PATTERN 1
212	COMMAND F-PLANE B	243	VIDEO:WINDOW2-IN2	273	PATTERN 2
213	COMMAND G-PLANE A	244	VIDEO:WINDOW2-IN3	274	PATTERN 3
214	COMMAND G-PLANE B	245	VIDEO:WINDOW2-IN4	275	PATTERN 4
215	COMMAND H-PLANE A	246	VIDEO:WINDOW2-IN5	276	PATTERN 5
216	COMMAND H-PLANE B	247	VIDEO:WINDOW2-IN6	277	PATTERN 6
217	COMMAND I-PLANE A	248	VIDEO:WINDOW2-IN7	278	PATTERN 7
218	COMMAND I-PLANE B	249	VIDEO:WINDOW2-IN8	279	PATTERN 8
219	POWER ON	250	VIDEO:WINDOW2-IN9	280	PATTERN 9
220	DISPLAY POWER ON	251	VIDEO:WINDOW2-OFF	281	PATTERN 10
221	DISPLAY POWER OFF	252	VIDEO:WINDOW3-IN1	282	PATTERN 11
222	VIDEO:WINDOW1-IN1	253	VIDEO:WINDOW3-IN2	283	PATTERN 12
223	VIDEO:WINDOW1-IN2	254	VIDEO:WINDOW3-IN3	284	PATTERN 13
224	VIDEO:WINDOW1-IN3	255	VIDEO:WINDOW3-IN4	285	PATTERN 14
225	VIDEO:WINDOW1-IN4	256	VIDEO:WINDOW3-IN5	286	PATTERN 15
226	VIDEO:WINDOW1-IN5	257	VIDEO:WINDOW3-IN6	287	PATTERN 16
227	VIDEO:WINDOW1-IN6	258	VIDEO:WINDOW3-IN7	288	PATTERN 17
228	VIDEO:WINDOW1-IN7	259	VIDEO:WINDOW3-IN8	289	PATTERN 18
229	VIDEO:WINDOW1-IN8	260	VIDEO:WINDOW3-IN9	290	PATTERN 19
230	VIDEO:WINDOW1-IN9	261	VIDEO:WINDOW3-OFF	291	PATTERN 20
231	VIDEO:WINDOW1-OFF				

<b>@STL</b>	<b>制御コマンド実行キー 点灯条件設定</b>	
コマンド書式	@STL, switch_1, led_1 (, switch_2, led_2···)	
返り値書式	@STL, switch_1, led_1 (, switch_2, led_2···)	
パラメータ	switch_1-5 : コマンド実行キー 0 = 全コマンド実行キー, 1 = COMMAND A ~ 5 = COMMAND E ----- led_1-5 : 点灯条件 0 = 制御コマンドが登録されている場合に点灯 ※初期値, 1 = 制御コマンド実行中に点灯	
実行例	送 @STL,2,1 受 @STL,2,1	COMMAND B は、制御コマンド実行中に点灯する。 正常終了。
関連項目	7.13.7 制御コマンド実行キー 点灯条件	

<b>@GTL</b>	<b>制御コマンド実行キー 点灯条件取得</b>	
コマンド書式	@GTL, switch_1 (, switch_2···)	
返り値書式	@GTL, switch_1, led_1 (, switch_2, led_2···)	
パラメータ	switch_1-5 : コマンド実行キー 0 = 全コマンド実行キー, 1 = COMMAND A ~ 5 = COMMAND E ----- led_1-5 : 点灯条件 0 = 制御コマンドが登録されている場合に点灯 ※初期値, 1 = 制御コマンド実行中に点灯	
実行例	送 @GTL,5 受 @GTL,5,0	COMMAND E の点灯条件を取得。 制御コマンドが登録されている場合に点灯。
関連項目	7.13.7 制御コマンド実行キー 点灯条件	

<b>@STF</b>	<b>制御コマンド実行キー&amp;表示機器電源スイッチ 点滅時間設定</b>	
コマンド書式	@STF, switch_1, flash_1 (, switch_2, flash_2···)	
返り値書式	@STF, switch_1, flash_1 (, switch_2, flash_2···)	
パラメータ	switch_1-6 : キー種別 0 = 全キー, 1 = COMMAND A ~ 5 = COMMAND E, 6 = DISPLAY POWER ----- flash_1-6 : 点滅時間 -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない, 1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅 ※初期値 COMMAND A~E の場合 0(点滅しない), DISPLAY POWER の場合 -1(制御コマンド実行中に点滅)	
実行例	送 @STF,4,5 受 @STF,4,5	COMMAND D は、制御コマンド実行開始後 5 秒間点滅する。 正常終了。
関連項目	7.13.8 制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間	

@GTF	制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間取得		
コマンド書式	@GTF, <i>switch_1</i> (, <i>switch_2</i> ····) 		
返り値書式	@GTF, <i>switch_1</i> , <i>flash_1</i> (, <i>switch_2</i> , <i>flash_2</i> ····) 		
パラメータ	<p><i>switch_1-6</i> : キー種別  0 = 全キー, 1 = COMMAND A ~ 5 = COMMAND E,  6 = DISPLAY POWER</p> <hr/> <p><i>flash_1-6</i>: 点滅時間  -1 = 制御コマンド実行中に点滅, 0 = 点滅しない,  1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅  ※初期値 COMMAND A~E の場合 0(点滅しない),  DISPLAY POWER の場合 -1(制御コマンド実行中に点滅)</p>		
実行例	送	@GTF,6 	DISPLAY POWER の点滅時間を取得。
	受	@GTF,6,-1 	制御コマンド実行中に点滅。
関連項目	7.13.8 制御コマンド実行キー&表示機器電源スイッチ 点滅時間		

## 3.3.15 パターンメモリ

<b>@RCM</b>	クロスポイントメモリから映像・音声チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCM, <i>memory</i> [↵]	
返り値書式	@RCM, <i>memory</i> [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9	
実行例	送 @RCM,1[↵] 受 @RCM,1[↵]	クロスポイントメモリ 1 の映像・音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
関連項目	7.14.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCM</b>	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を上書き保存する	
コマンド書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SCM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9 ----- <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに クロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像・音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。	
	送 @SCM,2[↵] 受 @SCM,2[↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCM,2,PATTERN2[↵] 受 @SCM,2,PATTERN2[↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存	

<b>@SEM</b>	クロスポイントメモリへ映像・音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する	
コマンド書式	@SEM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
返り値書式	@SEM, <i>memory</i> (, <i>name</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9 ----- <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに クロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像・音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。ただし、チ ャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。	
	送 @SEM,2[↵] 受 @SEM,2[↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SEM,2,PATTERN2[↵] 受 @SEM,2,PATTERN2[↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存	

@ECM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定編集	
コマンド書式	@ECM, memory, video_1, audio_1, video_2, video_3, video_4 [↓]	
返り値書式	@ECM, memory, video_1, audio_1, video_2, video_3, video_4 [↓]	
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <hr/> <p>video_1-4 : 映像出力 audio_1 : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9</p>	
実行例	送 @ECM,2,1,1,2,3,-1 [↓] 受 @ECM,2,1,1,2,3,-1 [↓]	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、WINDOW1 ~ 3 は IN1~3 と 1:1 に設定し、WINDOW4 は制御しない。
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集	

@GCM	クロスポイントメモリの映像・音声チャンネル設定を取得する	
コマンド書式	@GCM, memory [↓]	
返り値書式	@GCM, memory, video_1, audio_1, video_2, video_3, video_4, name [↓]	
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <hr/> <p>video_1-4 : 映像出力 audio_1 : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9</p> <p>工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ(@SCV)または音声のみ(@SCA)を保存した場合、保存していない音声または映像は「制御しない」が返信されます。</p> <hr/> <p>name : メモリ名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで</p>	
実行例	送 @GCM,2 [↓] 受 @GCM,2,3,3,1, 2,-1,PATTERN2 [↓]	クロスポイントメモリ 2 の映像・音声チャンネルを取得。「PATTERN2」という名前でも、映像・音声ともに WINDOW1 は IN3、WINDOW2 は IN1、WINDOW3 は IN2、WINDOW4 は制御しない設定が保存されている。
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集	

@RCV	クロスポイントメモリから映像チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCV, memory [↓]	
返り値書式	@RCV, memory [↓]	
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p>	
実行例	送 @RCV,1 [↓] 受 @RCV,1 [↓]	クロスポイントメモリ 1 の映像チャンネルを読み出す。正常終了。
関連項目	7.14.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCV</b>	<b>クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を上書き保存する</b>	
コマンド書式	@SCV, memory (, name) [↵]	
返り値書式	@SCV, memory (, name) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9 ----- <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに クロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。 送 @SCV,2[↵] [メモリ名を省略した場合] 受 @SCV,2[↵] 送 @SCV,2,PATTERN2[↵] [メモリ名を指定した場合] 受 @SCV,2,PATTERN2[↵]	
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存	

<b>@SEV</b>	<b>クロスポイントメモリへ映像チャンネル設定を引き継ぎ保存する</b>	
コマンド書式	@SEV, memory (, name) [↵]	
返り値書式	@SEV, memory (, name) [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9 ----- <i>name</i> : メモリ名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに クロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	現在の映像チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。ただし、チャンネル 制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。 送 @SEV,2[↵] [メモリ名を省略した場合] 受 @SEV,2[↵] 送 @SEV,2,PATTERN2[↵] [メモリ名を指定した場合] 受 @SEV,2,PATTERN2[↵]	
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存	

<b>@ECV</b>	<b>クロスポイントメモリの映像チャンネル設定編集</b>	
コマンド書式	@ECV, memory, video_1, video_2, video_3, video_4 [↵]	
返り値書式	@ECV, memory, video_1, video_2, video_3, video_4 [↵]	
パラメータ	<i>memory</i> : クロスポイントメモリ 1 ~ 9 ----- <i>video_1-4</i> : 映像出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9	
実行例	送 @ECV,2,1,2,3,-1[↵] クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、WINDOW1~3 受 @ECV,2,1,2,3,-1[↵] は IN1~3 と 1:1 に設定し、WINDOW4 は制御しない。	
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集	

<b>@GCV</b>	クロスポイントメモリの映像チャンネル設定を取得する	
コマンド書式	@GCV, memory [↵]	
返り値書式	@GCV, memory, video_1, video_2, video_3, video_4, name [↵]	
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <p>video_1-4 : 映像出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、音声のみ(@SCA)を保存した場合、保存していない映像は「制御しない」が返信されます。</p> <p>name : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで</p>	
実行例	送 @GCV,2[↵] 受 @GCV,2,3,1,2,4, PATTERN2[↵]	クロスポイントメモリ2の映像チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、WINDOW1はIN3、 WINDOW2はIN1、WINDOW3はIN2、WINDOW4はIN4 が保存されている。
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集	

<b>@RCA</b>	クロスポイントメモリから音声チャンネル設定を読み出す	
コマンド書式	@RCA, memory [↵]	
返り値書式	@RCA, memory [↵]	
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9	
実行例	送 @RCA,1[↵] 受 @RCA,1[↵]	クロスポイントメモリ1の音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
関連項目	7.14.1 クロスポイントの読み出し	

<b>@SCA</b>	クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を上書き保存する	
コマンド書式	@SCA, memory (, name) [↵]	
返り値書式	@SCA, memory (, name) [↵]	
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <p>name : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに クロスポイントの設定のみ保存します。</p>	
実行例	現在の音声チャンネルをクロスポイントメモリ2に保存する。	
	送 @SCA,2[↵] 受 @SCA,2[↵]	[メモリ名を省略した場合]
	送 @SCA,2,PATTERN2[↵] 受 @SCA,2,PATTERN2[↵]	[メモリ名を指定した場合]
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存	

<b>@SEA</b>	<b>クロスポイントメモリへ音声チャンネル設定を引き継ぎ保存する</b>													
コマンド書式	@SEA, memory (, name) <input type="checkbox"/>													
返り値書式	@SEA, memory (, name) <input type="checkbox"/>													
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <hr/> <p>name : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。</p>													
実行例	<p>現在の音声チャンネルをクロスポイントメモリ 2 に保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。</p> <table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@SEA,2<input type="checkbox"/></td> <td>[メモリ名を省略した場合]</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@SEA,2<input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>送</td> <td>@SEA,2,PATTERN2<input type="checkbox"/></td> <td>[メモリ名を指定した場合]</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@SEA,2,PATTERN2<input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table>		送	@SEA,2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を省略した場合]	受	@SEA,2 <input type="checkbox"/>		送	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を指定した場合]	受	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	
送	@SEA,2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を省略した場合]												
受	@SEA,2 <input type="checkbox"/>													
送	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	[メモリ名を指定した場合]												
受	@SEA,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>													
関連項目	7.14.2 クロスポイントの保存													

<b>@ECA</b>	<b>クロスポイントメモリの音声チャンネル設定編集</b>							
コマンド書式	@ECA, memory, audio <input type="checkbox"/>							
返り値書式	@ECA, memory, audio <input type="checkbox"/>							
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <hr/> <p>audio : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9</p>							
実行例	<table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@ECA,2,1<input type="checkbox"/></td> <td>クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、音声出力は</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@ECA,2,1<input type="checkbox"/></td> <td>IN1 に設定される。</td> </tr> </table>	送	@ECA,2,1 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、音声出力は	受	@ECA,2,1 <input type="checkbox"/>	IN1 に設定される。	
送	@ECA,2,1 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、音声出力は						
受	@ECA,2,1 <input type="checkbox"/>	IN1 に設定される。						
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集							

<b>@GCA</b>	<b>クロスポイントメモリの音声チャンネル設定を取得する</b>							
コマンド書式	@GCA, memory <input type="checkbox"/>							
返り値書式	@GCA, memory, audio, name <input type="checkbox"/>							
パラメータ	<p>memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 9</p> <hr/> <p>audio : 音声出力 -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 9 = IN9 工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、「制御しない」状態になります。 はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ(@SCV)を保存した場合、保存していない音声は「制御しない」が返信されます。</p> <hr/> <p>name : メモリ名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで</p>							
実行例	<table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@GCA,2<input type="checkbox"/></td> <td>クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@GCA,2,3,PATTERN2<input type="checkbox"/></td> <td>「PATTERN2」という名前、IN3 が保存されている。</td> </tr> </table>	送	@GCA,2 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。	受	@GCA,2,3,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	「PATTERN2」という名前、IN3 が保存されている。	
送	@GCA,2 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。						
受	@GCA,2,3,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	「PATTERN2」という名前、IN3 が保存されている。						
関連項目	7.14.3 クロスポイントの編集							

@SCH	クロスポイントの関連付け設定	
コマンド書式	@SCH, pattern_1, memory_1 (, pattern_2, memory_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SCH, pattern_1, memory_1 (, pattern_2, memory_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>pattern_1-20 : ウインドウパターン 1 ~ 20</p> <hr/> <p>memory_1-20 : クロスポイントメモリ 0 = OFF ※初期値, 1 = CROSSPOINT1 ~ 9 = CROSSPOINT9</p>	
実行例	送 @SCH,3,2 <input type="checkbox"/> 受 @SCH,3,2 <input type="checkbox"/>	ウインドウパターン3はクロスポイント2を読み出す。 正常終了。
関連項目	7.14.4 クロスポイントの関連付け	

@GCH	クロスポイントの関連付け取得	
コマンド書式	@GCH <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GCH, pattern_1, pattern_2, pattern_3 ··· pattern_20 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>pattern_1-20 : ウインドウパターン 0 = OFF ※初期値, 1 = CROSSPOINT1 ~ 9 = CROSSPOINT9</p>	
実行例	送 @GCH <input type="checkbox"/> 受 @GCH,0,0,2,0,0,3, 0,0,0,0,0,0,0,0,0, 0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	クロスポイントの関連付けを取得。 ウインドウパターン3はクロスポイント2を、 ウインドウパターン6はクロスポイント3を読み出す。 それ以外はウインドウパターンに登録された入力チャ ンネルを読み出す。
関連項目	7.14.4 クロスポイントの関連付け	

@RPM	パターンメモリを読み出す	
コマンド書式	@RPM, pattern <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@RPM, pattern <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<p>pattern : ウインドウパターン 1 ~ 20</p>	
実行例	送 @RPM,3 <input type="checkbox"/> 受 @RPM,3 <input type="checkbox"/> 送 @RPM,7 <input type="checkbox"/> 受 @ERR,3 <input type="checkbox"/>	ウインドウパターン3を読み出す。 正常終了。 データが登録されていないウインドウパターンは読み 出すことができません。
関連項目	7.14.5 ウインドウパターンの読み出し	
注意事項	この操作を行うと、一部の環境設定を除く、映像および音声の入出力に関する設定が更新されます。操作には十分にご注意ください。	

<b>@SPM</b>	<b>パターンメモリを保存する</b>													
コマンド書式	@SPM, pattern (, name) [↵]													
返り値書式	@SPM, pattern (, name) [↵]													
パラメータ	<p>pattern : ウインドウパターン 1 ~ 20</p> <hr/> <p>name : パターン名 ASCIIコード(P.10)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字まで パターン名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに各種設定のみ保存します。</p>													
実行例	<p>現在の設定をウインドウパターン2に保存する。</p> <table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@SPM,2[↵]</td> <td>[パターン名を省略した場合]</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@SPM,2[↵]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送</td> <td>@SPM,2,MEMORY2[↵]</td> <td>[パターン名を指定した場合]</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@SPM,2,MEMORY2[↵]</td> <td></td> </tr> </table>		送	@SPM,2[↵]	[パターン名を省略した場合]	受	@SPM,2[↵]		送	@SPM,2,MEMORY2[↵]	[パターン名を指定した場合]	受	@SPM,2,MEMORY2[↵]	
送	@SPM,2[↵]	[パターン名を省略した場合]												
受	@SPM,2[↵]													
送	@SPM,2,MEMORY2[↵]	[パターン名を指定した場合]												
受	@SPM,2,MEMORY2[↵]													
関連項目	7.14.6 パターンメモリの保存													

<b>@GMN</b>	<b>選択中のウインドウパターンを取得する</b>							
コマンド書式	@GMN [↵]							
返り値書式	@GMN, pattern [↵]							
パラメータ	<p>pattern : ウインドウパターン 0 = 未選択, 1 ~ 20</p>							
実行例	<table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@GMN[↵]</td> <td>選択中のウインドウパターンを取得。</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@GMN,3[↵]</td> <td>ウインドウパターン3を選択している。</td> </tr> </table>	送	@GMN[↵]	選択中のウインドウパターンを取得。	受	@GMN,3[↵]	ウインドウパターン3を選択している。	
送	@GMN[↵]	選択中のウインドウパターンを取得。						
受	@GMN,3[↵]	ウインドウパターン3を選択している。						
関連項目	7.14.5 パターンメモリの読み出し							

<b>@DPM</b>	<b>パターンメモリの削除</b>													
コマンド書式	@DPM, pattern [↵]													
返り値書式	@DPM, pattern [↵]													
パラメータ	<p>pattern : ウインドウパターン 1 ~ 20</p>													
実行例	<table border="1"> <tr> <td>送</td> <td>@DPM,3[↵]</td> <td>ウインドウパターン3を削除する。</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@DPM,3[↵]</td> <td>正常終了。</td> </tr> <tr> <td>送</td> <td>@DPM,7[↵]</td> <td>データが登録されていないウインドウパターンは</td> </tr> <tr> <td>受</td> <td>@ERR,3[↵]</td> <td>削除することができません。</td> </tr> </table>	送	@DPM,3[↵]	ウインドウパターン3を削除する。	受	@DPM,3[↵]	正常終了。	送	@DPM,7[↵]	データが登録されていないウインドウパターンは	受	@ERR,3[↵]	削除することができません。	
送	@DPM,3[↵]	ウインドウパターン3を削除する。												
受	@DPM,3[↵]	正常終了。												
送	@DPM,7[↵]	データが登録されていないウインドウパターンは												
受	@ERR,3[↵]	削除することができません。												
関連項目	7.14.7 パターンメモリの削除													
注意事項	この操作を行うと、パターンメモリに保存されている設定は全て削除されます。操作には十分にご注意ください。													

@SIN	入力チャンネルの名前設定	
コマンド書式	@SIN, input, name <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SIN, input, name <input type="checkbox"/>	
パラメータ	input : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- name : 入力チャンネル名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで	
実行例	送 @SIN,1,IN1 <input type="checkbox"/>	IN1 の名前を IN1 に設定する。
	受 @SIN,1,IN1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.14.8 入力チャンネルの名前設定	

@GIN	入力チャンネルの名前取得	
コマンド書式	@GIN, input <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIN, input, name <input type="checkbox"/>	
パラメータ	input : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 9 = IN9 ----- name : 入力チャンネル名 ASCII コード(P.10)の、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで	
実行例	送 @GIN,1 <input type="checkbox"/>	IN1 の名前設定を取得する。
	受 @GIN,1,IN1 <input type="checkbox"/>	IN1 の名前設定は IN1。
関連項目	7.14.8 入力チャンネルの名前設定	

@SMU	電源投入時の状態設定	
コマンド書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 9 = クロスポイントメモリ 1 ~ 9, 10 = チャンネル OFF, 11 = ラストチャンネル ※初期値, 12 ~ 31 = ウィンドウパターン 1 ~ 20	
実行例	送 @SMU,3 <input type="checkbox"/>	電源投入時のチャンネル設定をクロスポイントメモリ 3 に設定する。
	受 @SMU,3 <input type="checkbox"/>	正常終了。
関連項目	7.14.9 電源投入時の設定	

@GMU	電源投入時の状態取得	
コマンド書式	@GMU <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 9 = クロスポイントメモリ 1 ~ 9, 10 = チャンネル OFF, 11 = ラストチャンネル ※初期値, 12 ~ 31 = ウィンドウパターン 1 ~ 20	
実行例	送 @GMU <input type="checkbox"/>	電源投入時の状態を取得。
	受 @GMU,3 <input type="checkbox"/>	電源投入時はウィンドウパターン 3 に保存されたチャンネル設定で起動する。
関連項目	7.14.9 電源投入時の設定	

## 3.3.16 ビットマップ設定

@SBM	ビットマップ画像の出力設定	
コマンド書式	@SBM, <i>ch</i> , <i>out</i> [↵]	
返り値書式	@SBM, <i>ch</i> , <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
実行例	送 @SBM,1,1[↵] 受 @SBM,1,1[↵]	通常の映像の代わりにビットマップ 1 の画像を出力する。 正常終了。
関連項目	7.15.2 ビットマップ画像の出力	

@GBM	ビットマップ画像の出力取得	
コマンド書式	@GBM [↵]	
返り値書式	@GBM, <i>out</i> [↵]	
パラメータ	<i>out</i> : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON	
実行例	送 @GBM[↵] 受 @GBM,1[↵]	出力されている映像を取得。 ビットマップ 1 の画像を出力している。
関連項目	7.15.2 ビットマップ画像の出力	

@SBB	ビットマップ バックカラー設定	
コマンド書式	@SBB, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SBB, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>red_1</i> , <i>green_1</i> , <i>blue_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>red_2</i> , <i>green_2</i> , <i>blue_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 <hr/> <i>bitmap_1-4</i> : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。 <hr/> <i>red_1-4</i> : バックカラー(赤) <i>green_1-4</i> : バックカラー(緑) <i>blue_1-4</i> : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 255	
実行例	送 @SBB,1,1,255,255,255[↵] 受 @SBB,1,1,255,255,255[↵]	ビットマップ 1 を出力する場合のバックカラーを RGB とともに 255(白色)に設定する。 正常終了。
関連項目	7.15.3 バックカラー	

@GBB	ビットマップ バックカラー取得	
コマンド書式	@GBB, ch [ ]	
返り値書式	@GBB, ch, red_1, green_1, blue_1 (, red_2, green_2, blue_2...) [ ]	
パラメータ	<p>ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。</p> <hr/> <p>red_1-4 : 各ビットマップのバックカラー(赤) green_1-4 : 各ビットマップのバックカラー(緑) blue_1-4 : 各ビットマップのバックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 255 ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します。</p>	
実行例	送 @GBB,1[ ] 受 @GBB,1,255,0,0[ ] 送 @GBB,1[ ] 受 @GBB,1,255,0,0,0,255,0[ ]	<p>バックカラーを取得。 Rが255、GとBが0(赤色)。</p> <hr/> <p>ビットマップが2個登録されている場合に、バックカラーを取得。 ビットマップ1はRが255、GとBが0(赤色)、ビットマップ2はGが255、RとBが0(緑色)。</p>
関連項目	7.15.3 バックカラー	

@SBT	ビットマップ アスペクト比設定	
コマンド書式	@SBT, ch_1, bitmap_1, aspect_1 (, ch_2, bitmap_2, aspect_2...) [ ]	
返り値書式	@SBT, ch_1, bitmap_1, aspect_1 (, ch_2, bitmap_2, aspect_2...) [ ]	
パラメータ	<p>ch_1-4 : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。</p> <hr/> <p>bitmap_1-4 : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ1, 2 = ビットマップ2, 3 = ビットマップ3, 4 = ビットマップ4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p> <hr/> <p>aspect_1-4 : アスペクト比 0 = AUTO ※初期値, 1 = FULL, 2 = THROUGH</p>	
実行例	送 @SBT,1,1,1[ ] 受 @SBT,1,1,1[ ]	<p>ビットマップ1を出力する場合のアスペクト比をFULLに設定する。 正常終了。</p>
関連項目	7.15.4 アスペクト比	

@GBT	ビットマップ アスペクト比取得	
コマンド書式	@GBT, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GBT, <i>ch</i> , <i>aspect_1</i> ( <i>, aspect_2...</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>aspect_1-4</i> : 各ビットマップのアスペクト比 0 = AUTO ※初期値, 1 = FULL, 2 = THROUGH ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します。	
実行例	送 @GBT,1[↵]	アスペクト比を取得。
	受 @GBT,1,1[↵]	FULL 画面表示する。
	送 @GBT,1[↵]	ビットマップが2個登録されている場合に、アスペクト比を取得。
	受 @GBT,1,1,0[↵]	ビットマップ1はFULL画面表示、ビットマップ2はAUTO表示。
関連項目	7.15.4 アスペクト比	

@SZP	ビットマップ 表示位置設定	
コマンド書式	@SZP, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>position_1</i> ( <i>, ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>position_2...</i> ) [↵]	
返り値書式	@SZP, <i>ch_1</i> , <i>bitmap_1</i> , <i>position_1</i> ( <i>, ch_2</i> , <i>bitmap_2</i> , <i>position_2...</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>bitmap_1-4</i> : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ1, 2 = ビットマップ2, 3 = ビットマップ3, 4 = ビットマップ4 ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。 ----- <i>position_1-4</i> : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT	
実行例	送 @SZP,1,1,1[↵]	ビットマップ1を出力する場合は左上に表示する。
	受 @SZP,1,1,1[↵]	正常終了。
関連項目	7.15.5 表示位置	

@GZP	ビットマップ 表示位置取得	
コマンド書式	@GZP, <i>ch</i> [↵]	
返り値書式	@GZP, <i>ch</i> , <i>position_1</i> ( <i>, position_2...</i> ) [↵]	
パラメータ	<i>ch</i> : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。 ----- <i>position_1-4</i> : 各ビットマップの表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT ※登録されているビットマップの設定を順番に送信します。	
実行例	送 @GZP,1[↵]	表示位置を取得。
	受 @GZP,1,1[↵]	左上に表示する。
	送 @GZP,1[↵]	ビットマップが2個登録されている場合に、表示位置を取得。
	受 @GZP,1,1,0[↵]	ビットマップ1は左上に表示、ビットマップ2は中央に表示する。
関連項目	7.15.5 表示位置	

@SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力設定	
コマンド書式	@SPB, ch, out ☐	
返り値書式	@SPB, ch, out ☐	
パラメータ	<p>ch : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。</p> <hr/> <p>out : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ※ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。</p>	
実行例	送 @SPB,1,0☐ 受 @SPB,1,0☐	電源投入時にビットマップ画像を出力しない。 正常終了。
関連項目	7.15.6 電源投入時のビットマップ画像の出力	

@GPB	電源投入時のビットマップ画像の出力取得	
コマンド書式	@GPB ☐	
返り値書式	@GPB, out ☐	
パラメータ	<p>out : ビットマップ画像出力設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON</p>	
実行例	送 @GPB☐ 受 @GPB,1☐	電源投入時のビットマップ画像出力を取得。 ビットマップ 1 の画像を出力する。
関連項目	7.15.6 電源投入時のビットマップ画像の出力	

@SBD	ビットマップ用メモリの分割設定	
コマンド書式	@SBD, num, mode (, size_1, size_2...) [ ]	
返り値書式	@SBD, num, mode, block_1 (, block_2...) [ ]	
パラメータ	<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <hr/> <p>mode : 分割モード 0 = 自動モード, 1 = リサイズモード, 2 = 強制モード, 3 = サイズ指定モード ※サイズ指定モードを選択した場合は、size_1-4 を指定します。</p> <hr/> <p>size_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128 ※1 ブロックは 65,536 バイトで、全ビットマップの合計サイズが 128 ブロック (8,388,608 バイト以下になるように設定します) mode が “3” の場合のみ指定します。</p> <hr/> <p>block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※正常にメモリが分割できた場合は、分割後のブロックサイズを送信します。</p>	
実行例	送 @SBD,2,1 [ ] 受 @SBD,2,1,64,64 [ ]	ビットマップ用メモリをリサイズモードで2分割する。 ビットマップ 1 およびビットマップ 2 は、それぞれ 64 ブロック(4,194,304 バイト)のメモリを確保した。
	送 @SBD,2,3,96,36 [ ] 受 @ERR,1 [ ]	ビットマップ用メモリをサイズ指定モードで 96 ブロッ クと 36 ブロックに 2 分割する。 合計のブロックサイズが 132 になるため、分割できな かった。
関連項目	7.15.7 メモリエリアの分割	

@GBD	ビットマップ用メモリの分割設定取得	
コマンド書式	@GBD [ ]	
返り値書式	@GBD, num, block_1 (, block_2...) [ ]	
パラメータ	<p>num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1</p> <hr/> <p>block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128</p>	
実行例	送 @SBD [ ] 受 @SBD,2,64,64 [ ]	ビットマップ用メモリの分割設定を取得。 ビットマップ 1 およびビットマップ 2 は、それぞれ 64 ブロック(4,194,304 バイト)のメモリが確保されている。
関連項目	7.15.7 メモリエリアの分割	

@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態取得	
コマンド書式	@GBV [↵]	
返り値書式	@GBV, num, block_1 (, block_2···) [↵]	
パラメータ	num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1 ----- block_1-4 : 実際に使用されている各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 12	
実行例	送 @GBV[↵] 受 @GBV,2,32,0[↵]	ビットマップ用メモリの実際の使用状態を取得。 ビットマップ 1 は 32 セクタ(2,097,152 バイト)が使用され、 ビットマップ 2 は登録されていない。
関連項目	7.15.7 メモリエリアの分割	

@SBN	登録するビットマップ番号設定	
コマンド書式	@SBN, bitmap [↵]	
返り値書式	@SBN, bitmap [↵]	
パラメータ	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1 ※初期値, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です。 ※ターミナルソフト等でビットマップを書き込む場合は、先に書き込むビット マップ番号を指定してください。	
実行例	送 @SBN,2[↵] 受 @SBN,2[↵]	ビットマップ 2 に画像を登録する。(次に送信されたビット マップファイルはビットマップ 2 に登録されます) 正常終了。
関連項目	7.15.1 ビットマップファイルの送信	

@GBN	登録するビットマップ番号取得	
コマンド書式	@GBN [↵]	
返り値書式	@GBN, bitmap [↵]	
パラメータ	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1 ※初期値, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4	
実行例	送 @GBN[↵] 受 @GBN,2[↵]	登録するビットマップ番号を取得。 ビットマップ 2。
関連項目	7.15.1 ビットマップファイルの送信	

@SFZ	フリーズ設定	
コマンド書式	@SFZ, <i>ch_1</i> , <i>freeze_1</i> ( <i>, ch_2, freeze_2...</i> ) 	
返り値書式	@SFZ, <i>ch_1</i> , <i>freeze_1</i> ( <i>, ch_2, freeze_2...</i> ) 	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力ウインドウ 0 = 全 WINDOW, 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>freeze_1-4</i> : フリーズ設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @SFZ,1,1  受 @SFZ,1,1 	WINDOW1 の映像をフリーズ(静止)する。 正常終了。
関連項目	7.15.8 入力映像のキャプチャ	
注意事項	フリーズは一時的なものです。入力チャンネルを切り換えた場合や、入力信号が変化した場合は、自動的にフリーズが解除され、入力映像が通常どおり出力されます。	

@GFZ	フリーズ設定取得	
コマンド書式	@GFZ 	
返り値書式	@GFZ, <i>window_1</i> , <i>window_2</i> , <i>window_3</i> , <i>window_4</i> 	
パラメータ	<i>window_1-4</i> : 各ウインドウのフリーズ設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
実行例	送 @GFZ  受 @GFZ,1,0,0,0 	フリーズの状態を取得。 WINDOW1 は入力映像をフリーズ(静止)して出力し、その他のウインドウは通常どおり映像を出力している。
関連項目	7.15.8 入力映像のキャプチャ	

@CAP	入力映像のキャプチャ	
コマンド書式	@CAP, <i>window</i> , <i>bitmap</i> 	
返り値書式	@CAP, <i>window</i> , <i>bitmap</i> 	
パラメータ	<i>window</i> : 出力ウインドウ 1 = WINDOW1 ~ 4 = WINDOW4 <hr/> <i>bitmap</i> : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ※ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です。	
実行例	送 @CAP,1,2  受 @CAP,1,2 	WINDOW1 の入力映像をビットマップ 2 に登録する。 正常終了。
関連項目	7.15.8 入力映像のキャプチャ	

## 3.3.17 その他設定

<b>@SLS</b>	<b>キーロック設定/解除</b>	
コマンド書式	@SLS, lock <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLS, lock <input type="checkbox"/>	
パラメータ	lock : キーロック設定 0 = キーロック解除 ※初期値, 1 = キーロック, 2 = 現在の設定を逆にする	
実行例	送 @SLS,1 <input type="checkbox"/> 受 @SLS,1 <input type="checkbox"/>	フロントパネルをロックする。 正常終了。
関連項目	6.7 キーロック設定/解除の操作	

<b>@GLS</b>	<b>キーロック状態取得</b>	
コマンド書式	@GLS <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GLS, lock <input type="checkbox"/>	
パラメータ	lock : キーロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効	
実行例	送 @GLS <input type="checkbox"/> 受 @GLS,1 <input type="checkbox"/>	キーロック状態を取得。 フロントパネルはキーロック中。
関連項目	6.7 キーロック設定/解除の操作	

<b>@SLM</b>	<b>フロントパネル キーロック対象の設定</b>	
コマンド書式	@SLM, channel, channel_mode, pattern, menu, command, power <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLM, channel, channel_mode, pattern, menu, command, power <input type="checkbox"/>	
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー channel_mode : チャンネル切換モード選択キー pattern : ウィンドウパターン選択キー menu : メニュー操作キー command : 制御コマンド実行キー power : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送 @SLM,1,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/> 受 @SLM,1,0,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル選択キーのみをキーロック対象にする。 正常終了。
関連項目	7.17.1 キーロック対象の設定	

@GLM	フロントパネル キーロック対象の取得	
コマンド書式	@GLM [↵]	
返り値書式	@GLM, channel, channel_mode, pattern, menu, command, power [↵]	
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー channel_mode : チャンネル切換モード選択キー pattern : ウィンドウパターン選択キー menu : メニュー操作キー command : 制御コマンド実行キー power : 表示機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	送   @GLM[↵]	キーロック設定の状態を取得する。
	受   @GLM,1,0,0,0,0,0[↵]	入力チャンネル選択キーのみがキーロック対象。
関連項目	7.17.1 キーロック対象の設定	

@SBZ	ブザー音設定	
コマンド書式	@SBZ, bz [↵]	
返り値書式	@SBZ, bz [↵]	
パラメータ	bz : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送   @SBZ,1[↵]	ブザー音を ON に設定する。
	受   @SBZ,1[↵]	正常終了。
関連項目	7.17.2 ブザー音	

@GBZ	ブザー音設定取得	
コマンド書式	@GBZ [↵]	
返り値書式	@GBZ, bz [↵]	
パラメータ	bz : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	送   @GBZ[↵]	ブザー音の状態を取得。
	受   @GBZ,1[↵]	ブザー音は ON に設定されている。
関連項目	7.17.2 ブザー音	

@GSS	入出力ステータス取得																												
コマンド書式	@GSS, channel, mode ☐																												
返り値書式	@GSS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3···) ☐																												
パラメータ	<p>channel : 入出力端子  1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 6 = IN6, 7 = IN7,  8 = IN8, 9 = IN9, 11 = OUT</p> <hr/> <p>mode : 取得するステータス  channel = 1~5(デジタル入力端子)の場合  0 = 1~4 の全て, 1 = 入力信号の種類,  2 = 映像入力信号のフォーマット,  3 = 音声入力信号のフォーマット, 4 = HDCP 入力の有無  channel = 6~9(アナログ入力端子)の場合  0 = 1~2 の全て, 1 = 入力信号の種類,  2 = 映像入力信号のフォーマット,  channel = 11 (出力端子)の場合  0 = 1~3 の全て, 1 = HDCP の認証状態, 2 = 出力信号の種類,  3 = エラーコード</p> <hr/> <p>status_1-4 : ステータスの詳細</p> <p>[入力信号の種類]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>R</td> <td>アナログ RGB 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>アナログ YPbPr 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>アナログ S ビデオ信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>[映像入力信号のフォーマット]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600 60.00Hz</td> <td>RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NTSC</td> <td>アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。</td> </tr> <tr> <td>56.83kHz 60.02Hz</td> <td>本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。	D	DVI 信号が入力されています。	R	アナログ RGB 信号が入力されています。	Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。	V	アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。	S	アナログ S ビデオ信号が入力されています。	N	信号が入力されていません。	返信例	映像入力信号のフォーマット	1080i 59.94Hz	SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。	NTSC	アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。	56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。
返信	入力信号の種類																												
Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。																												
D	DVI 信号が入力されています。																												
R	アナログ RGB 信号が入力されています。																												
Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。																												
V	アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。																												
S	アナログ S ビデオ信号が入力されています。																												
N	信号が入力されていません。																												
返信例	映像入力信号のフォーマット																												
1080i 59.94Hz	SDTV/HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。																												
800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。																												
NTSC	アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。																												
56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。																												
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。																												

## [音声入力信号のフォーマット]

返信例	音声入力信号のフォーマット
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています。
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号(Dolby Digital、DTS 等)が入力されています(本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)。
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。

## [HDCP の認証状態]

返信例	HDCP の認証状態
HDCP SUPPORT	HDCP に対応した表示機器が接続されています。
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していない表示機器が接続されています。
HDCP ERROR	HDCP に対応した表示機器が接続されていますが、認証に失敗しました。
HDCP CHECK NOW	表示機器の接続状態が変わった場合などに表示され、表示機器の状態を確認中です。
UNCONNECTED	表示機器が接続されていません。

## [出力信号の種類]

返信	出力信号の種類
Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。
D	DVI 信号を出力しています。
C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません。
N	表示機器が接続されていません。

## [エラーコード]

HDMI 出力コネクタへの映像出力(WINDOW1~WINDOW4)、HDMI 出力コネクタへの音声出力、音声出力コネクタへの音声出力の順でエラーコードを返信します。

エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態
0	正常に映像または音声が出力されています※ <sup>1</sup> 。	
1	—	@SAM 音声出力ミュート設定 (P.71)が「ON」に設定されています。
2	デジタル入力の場合のみ返信され、DDC 電源が入力されていません (入力機器が接続されていない場合は、通常この状態になります)。	
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。
4	デジタル入力の場合のみ返信され、ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。	
5	デジタル入力の場合のみ返信され、HDCP の付加された信号が入力されているが、表示機器が HDCP に対応していません(HDCP の認証処理中にも返信されることがあります)。	
6	デジタル入力の場合のみ返信され、映像または音声の出力に必要な情報(パケット)をソース機器が出力していません。	
7	本機が対応していない信号(サンプリングクロックが範囲外)が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。本機は圧縮音声に対応していません。
8	—	@SDO 音声出力コネクタ設定 (P.75)が「OFF」に設定されています。
9	—	@SDM 出力モード設定(P.62)が「DVI MODE」に設定されているか、音声に対応していない表示機器が接続されています※ <sup>2</sup> 。
A	入力チャンネルが OFF に設定されています。	
B	表示機器が接続されていません※ <sup>2</sup> 。	
C	HDCP の認証中です※ <sup>2</sup> 。	
D	HDCP の認証に失敗しました※ <sup>2</sup> 。	

※<sup>1</sup> アナログ音声信号の入力状態は検出できないため、「0」が返信される場合でも、アナログ入力を選択されているときは音声が出力されないことがあります。

※<sup>2</sup> HDMI 出力コネクタのみの状態になります。

実行例	送 受	@GSS,1,0 @GSS,1,0,H30,1080P 60Hz, LINEAR PCM 48kHz, HDCP ON	IN1 の全ステータスを取得。 ・入力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号 : 1080P 60Hz ・音声入力信号 : LINEAR PCM 48kHz ・HDCP : ON
	送 受	@GSS,8,2 @GSS,8,2,1024x 768 60.00Hz	IN8 の映像入力信号のフォーマットを取得。 ・映像入力信号 : 1024x 768 60.00Hz
	送 受	@GSS,4,3 @GSS,4,3,NO SIGNAL	IN4 の音声入力信号のフォーマットを取得。 ・音声入力信号 : 入力信号なし
	送 受	@GSS,11,0 @GSS,11,0,HDCP SUPPORT,H30,000000	OUT の全ステータスを取得。 ・HDCP の認証状態 : 正常終了 ・出力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・エラーコード : 映像、音声ともに正常
	送 受	@GSS,11,1 @GSS,11,1,UNCONNECTED	OUT の HDCP の認証状態を取得。 ・HDCP の認証状態 : 未接続
	送 受	@GSS,11,3 @GSS,11,3,300000	OUT のエラーコードを取得。 ・エラーコード : WINDOW1 は映像信号 が入力されておらず、 音声信号は正常
関連項目	7.17.7 表示機器状態表示		

@GES	モニタ EDID 情報取得	
コマンド書式	@GES, channel, mode [ ]	
返り値書式	@GES, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3···) [ ]	
パラメータ	<p>channel : 出力 出力には必ず“1”を指定してください。</p> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~4 の全て, 1 = モニタ名, 2 = 解像度とピクセルクロック, 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度, 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数, ビット長, チャンネル数および 圧縮音声の対応状況</p> <p>status_1-4 : ステータスの詳細</p> <p>[HDMI 対応状況] HDMI に対応していない表示機器の場合「DVI」と返信します。 HDMI に対応している表示機器の場合「HDMI」と返信し、続けて対応しているサンプリング構造(RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを/で区切って返信)-対応している色深度(24, 30, 36 のうち対応しているものを/で区切って返信)の順で返信します。</p> <p>[音声の対応状況] 音声に対応していない表示機器の場合「AUDIO NOT SUPPORT」と返信します。 音声に対応している表示機器の場合「LINEAR PCM」と返信し、続けて対応しているサンプリング周波数(32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを/で区切って返信)-ビット長(16, 20, 24 のうち対応しているものを/で区切って返信)-チャンネル数(1~8のいずれか)-圧縮音声に対応していれば「COMPRESSED AUDIO SUPPORT」の順で返信します。</p>	
実行例	送 受	<p>@GES,1,0 [ ]</p> <p>@GES,1,0,ICP-9401, 1920x1200 154.00MHz, HDMI-RGB/YCbCr422/ YCbCr444-24 BIT COLOR, LINEAR PCM-32/44.1/ 48kHz-16/20/24BIT-2 CHANNEL [ ]</p> <p>接続された表示機器の EDID 情報を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタ名 : ICP-9401</li> <li>・ 解像度 : 1920x1200</li> <li>・ ピクセルクロック : 154.00MHz</li> <li>・ HDMI : 対応</li> <li>・ サンプリング構造 : RGB/YCbCr 4:2:2/ YCbCr 4:4:4</li> <li>・ 色深度 : 24BIT COLOR</li> <li>・ 音声 : 対応</li> <li>・ サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz</li> <li>・ ビット長 : 16/20/24BIT</li> <li>・ チャンネル数 : 2CHANNEL</li> <li>・ 圧縮音声 : 非対応</li> </ul>
関連項目	7.17.8 表示機器の EDID 情報表示	

@GIV	バージョン情報取得	
コマンド書式	@GIV [ ]	
返り値書式	@GIV, <i>id</i> , <i>ver</i> [ ]	
パラメータ	<i>id</i> : 製品型番	
	<i>ver</i> : ファームウェアバージョン	
実行例	送 @GIV [ ]	製品の情報を取得。
	受 @GIV,ICP-9401,1.00 [ ]	製品型番とファームウェアバージョンを返信。
関連項目	7.17.9 バージョン情報表示	

ICP-9401 取扱説明書 <コマンドガイド>

Ver.1.3.0

発行日 2016年12月26日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**Eメールアドレス** info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>